

2025 年度

大学院 学生 便覧

茨城大学大学院

人文社会科学研究科

2025年度茨城大学大学院人文社会科学研究科学年曆

事 項	月 日
学年開始	4月 1日 (火)
入学式・ガイダンス	4月 4日 (金)
前学期・第1クォーター授業開始	4月10日 (木)
創立記念日	5月31日 (土)
第1クォーター授業終了	6月 4日 (水)
第2クォーター授業開始	6月 5日 (木)
前学期・第2クォーター授業終了	7月31日 (木)
夏季休業	8月12日 (火)～9月20日 (土)
学位記授与式 (9月期)	9月18日 (木)
後学期開始	9月21日 (日)
後学期・第3クォーター授業開始	9月29日 (月)
第3クォーター授業終了	11月21日 (金)
第4クォーター授業開始	11月25日 (火)
冬季休業	12月27日 (土)～1月5日 (月)
授業開始	1月 6日 (火)
後学期・第4クォーター授業終了	2月 3日 (火)
春季休業	2月24日 (火)～3月31日 (火)
卒業式	3月24日 (火)
学年終了	3月31日 (火)

2025年度振替授業

5月 8日 (木) は、「振替火曜日」として <u>火曜日の時間割</u> で授業実施
5月 9日 (金) は、「振替月曜日」として <u>月曜日の時間割</u> で授業実施
11月 4日 (火) は、「振替月曜日」として <u>月曜日の時間割</u> で授業実施
12月24日 (水) は、「振替月曜日」として <u>月曜日の時間割</u> で授業実施

履修登録手続	手 続 期 間
履修登録期間 (教務情報ポータルシステム)	<ul style="list-style-type: none"> ・4/3 (木)～16 (水)：通年・前学期・第1Q・第2Q開講科目 ※修正期間：4/17 (木)～23 (水) ・6/5 (木)～11 (水)：第2Q開講科目 ・9/24 (水)～10/3 (金)：後学期・第3Q・第4Q開講科目 ※修正期間：10/4 (土)～10 (金) ・11/25 (火)～12/1 (月)：第4Q開講科目
申請書による 修正・削除期間	<ul style="list-style-type: none"> ・4/24 (木)～7/1 (火)：通年・前学期・第2Q開講科目追加削除期間 第1Q開講科目削除期間 ・5/7 (水)：前学期開講科目追加削除期限、第1Q開講科目削除期限 ・7/1 (火)：通年・第2Q開講科目追加削除期限 ・10/11 (土)～12/26 (金)：後学期・第4Q開講科目追加削除期間、 第3Q開講科目削除期間 ・10/24 (金)：後学期開講科目追加削除期限・第3Q開講科目削除期限 ・12/26 (金)：第4Q開講科目削除期限

※Qはクォーターを表す

目 次

I 茨城大学大学院のポリシー

大学院修士課程・博士前期課程のポリシー	1
大学院人文社会科学研究科（修士課程）のポリシー	3
大学院人文社会科学研究科人文科学専攻のポリシー	6
大学院人文社会科学研究科社会科学専攻のポリシー	9

II 履修上の注意

履修上の注意	1 2
大学院成績評価に関する問い合わせに対する対応	3 1
学位論文の審査及び最終試験実施要項	3 2
学位論文審査基準・最終試験実施要領	3 3
「特定の課題についての研究の成果の審査」について	3 4
教育職員免許について	3 6

III 授業科目

大学院共通科目	3 7
共通科目	4 3
人文科学専攻	4 8
社会科学専攻	5 4
履修モデル（25LM以降入学者対象）	6 0
履修モデル（24LM以前入学者対象）	1 0 8

IV 教育プログラム

ダイバーシティ地域共創教育プログラムの履修について	1 3 4
サステナビリティ学教育プログラムの履修について	1 3 8
地域志向科目について	1 4 1

V 教育訓練給付制度（一般教育訓練）

VI オフィスアワー

VII 教室・演習室等配置図

VIII 単位互換制度

IX 諸規則等

茨城大学大学院人文社会科学研究科規程	1 5 4
茨城大学科目ナンバリング運用要項	1 5 7

I 茨城大学大学院のポリシー

大学院 修士課程・博士前期課程のポリシー

ディプロマ・ポリシー

茨城大学大学院（修士課程・博士前期課程）の教育目標は、21 世紀における社会の激しい変化に主体的に対応し、自らの将来を切り拓くことができる総合的な力を育成することである。よって、茨城大学大学院では、以下の 5 つの知識、能力及び姿勢を身に付けることをもって、修士の学位を授与する。

1. 専門分野の学力・研究遂行能力

各専門分野で求められる高度専門職業人としての知識、技能及び自立的に課題を発見・解決しうる研究遂行能力

2. 世界の俯瞰的理解

人間社会とそれを取り巻く自然環境に対する幅広い知識と理解力

3. 国際的コミュニケーション能力

人間社会のグローバル化に対応し、文化的に多様な人々と協働して課題解決をしていくための高度な思考力・判断力・表現力及びコミュニケーション能力

4. 社会人としての姿勢

社会の持続的な発展に貢献できる高度専門職業人としての意欲と倫理観、主体性

5. 地域活性化志向

茨城県をはじめとして地域の活性化に、専門性を活かして主体的・積極的に取り組む姿勢

カリキュラム・ポリシー

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す教育目標を満たすため、大学院（修士課程・博士前期課程）におけるカリキュラム・ポリシーを以下の 5 項目に示す。

教育課程の実施にあたっては、学修時間の確保と厳格な成績評価による大学院教育の実質化を行う。

1. 教育課程の編成

ディプロマ・ポリシーで定めた 5 つの知識、能力及び姿勢を育成するため、共通科目と専門科目を含むカリキュラムマップ等に基づく、横断的かつ体系的な教育課程を編成する。

2. 課題発見・解決能力の育成

主体的に課題を発見し、高度専門職業人としての知識、技能及び研究遂行能力を育成するため、研究科の特性を活かした高度な専門科目を配置し、複数教員による研究指導を行う。

3. 俯瞰的理解の育成

大学院教育を限られた専門分野にとどめず、俯瞰的な視野とコミュニケーション能力、創造性と想像力、職業的素養、倫理観を養成するため、全学及び研究科又は専攻単位の共

通科目を配置する。

4. 地域活性・グローバル化に取り組む姿勢を育成する教育

共通科目及び専門科目で、それぞれ、幅広い知識と高い専門性を活かして地域志向の視野と国際的な視野を育み社会貢献できる能力を育成する科目を配置する。

5. 教育の質の保証

各授業科目の到達目標及び明確な成績評価基準に基づく厳格な成績評価を行うとともに、各研究科の定める明確な学位論文審査基準及び最終試験実施要項に基づく厳格な学位論文審査及び最終試験結果の評価を行う。単位の実質化と学修成果の可視化を図り、教職員と学生の相互協力と点検により不断の教育改善を推進する。

アドミッション・ポリシー

茨城大学大学院（修士課程・博士前期課程）では、以下の知識、技能、能力及び意欲を有する学生を求める。

1. 研究分野に応じて必要とされる学士課程卒業レベルの知識、技能及び研究分野への深い関心と意欲。なお、各研究分野に固有の知識、技能及び意欲については、各研究科で定めるアドミッション・ポリシーに示す。
2. ディプロマ・ポリシーに示す、（専門分野の学力・研究遂行能力）（世界の俯瞰的理解）（国際的コミュニケーション能力）（社会人としての姿勢）及び（地域活性化志向）を身に付ける意欲

大学院人文社会科学研究科（修士課程）のポリシー

ディプロマ・ポリシー

茨城大学人文社会科学研究科は、以下の 5 つの知識、能力及び姿勢を、学際的な専門分野の学修によって身につけることで、修士（学術）の学位を授与する。

1. 専門分野の学力・研究遂行能力

人文科学又は社会科学の各分野に関する高度専門職業人として、専門性の深化と幅広い視野の涵養を目指しながら、調査・研究できる力と自ら学び続ける能力

2. 世界の俯瞰的理解

予測困難で変化の激しい社会において、人間の文化又は現代社会が直面する学術的・実践的諸課題の解明に向けた幅広い知識と理解力

3. 多様化する社会におけるコミュニケーション能力

多様化する社会の意味を自ら考え、様々な人々と協働して課題解決をしていくための高度な思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力

4. 社会人としての姿勢

変化の激しい社会において、社会の持続的な発展を先導し、それに貢献できる意欲と主体性及び倫理観

5. 地域活性化志向

茨城県をはじめとする国内外の地域・社会の抱える諸課題への解決と活性化について、高度専門職業人として自らの専門性を活かしつつ、主体的、積極的に取り組もうとする志向と意欲

カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーで定めた 5 つの知識、能力及び姿勢を育成するよう、共通科目（大学院共通科目・研究科共通科目・キャリア支援科目）を配置し、コース制による体系化されたカリキュラムを編成する。文理横断専門分野を包含し、広い視野を涵養する共通科目、専門分野の深化を目指すコア専門科目、他コース・他専攻等のコア専門科目で構成され、幅広い視野を涵養する拡充専門科目、及び研究指導科目を学修することにより、学際的な専門性を育成する。ディプロマ・ポリシーを修了時に身につけられるよう、1 年次及び 2 年次を通して履修計画書による履修指導を行う。

1. 専門分野の学力・研究遂行能力の涵養

専門分野の学力・研究遂行能力を涵養するため、共通科目、専門科目、及び研究指導科目を配置する。専門科目では、専門深化をめざすコア専門科目に、幅広い視野を涵養する拡充専門科目を組み合わせ、学生が主体的に自らの専門分野の能力を体系的にデザインする。研究指導科目では、複数教員による多角的な研究指導を行う。

2. 世界の俯瞰的理解の涵養

世界の俯瞰的理解を涵養するため、研究科共通科目に科学技術の進展と人文社会との関係について学ぶ必修科目を配置し、専門科目に国際にかかわる多様な科目を配置する。併せて、グローバル化のなかで持続可能な循環型社会を実践的に学修するプログラムを開講する。

3. 多様化する社会におけるコミュニケーション能力の涵養

高度な思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力を涵養するため、アクティブ・ラーニングを取り入れた共通科目及び専門科目を配置するとともに、問題設定・調査・分析・成果発表等を行う研究指導科目を配置する。

4. 社会人としての姿勢の涵養

社会の持続的な発展を先導し、それに貢献できる意欲と主体性及び倫理観を涵養するため、実社会に即した就業能力の修得に寄与するキャリア支援科目及び研究指導科目の研究法を配置し、社会人としての姿勢を身につける専門科目を開講する。

5. 地域活性化志向の涵養

グローバル化する地域の活性化に、幅広い知識と高い専門性をもって、主体的、積極的に取り組む思考や意欲を涵養するため、インターンシップ科目及び、地域政策研究（社会人）コースの科目など地域活性化を意識した多様な専門科目を配置する。

6. 教育の質の保証

単位の実質化を図り、各授業科目の到達目標及び明確な成績評価基準に基づく厳格な成績評価を行うとともに、明確な学位論文審査基準及び最終試験実施要項に基づく厳格な学位論文審査及び最終試験結果の評価を行う。学修成果の可視化を図り、教職員と学生の相互協力と点検により不断の教育改善を推進する。

アドミッション・ポリシー

人文社会科学研究科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身につけることができる者を選抜するため、以下の能力・資質を有する者を求め、入学者選抜において、その能力・成果を評価する。

入学者に求める能力・資質

1. 人文科学又は社会科学分野の高度専門職業人を目指し、人文科学又は社会科学分野における学士課程レベルの十分な知識・技能を有し、計画的・主体的に学び続ける姿勢を持つ者
2. 専門分野に関連する学士課程レベルの総合的な学力及び教養を有する者
3. 他者と協働して研究を遂行できるコミュニケーション能力を高めようとする意欲を有する者
4. 社会の持続的な発展を先導し、それに貢献しようとする意欲を有する者
5. 深い専門性と幅広い視野を活かし、グローバル化する地域の活性化に取り組もうとする思考や意欲を有する者

入学者選抜において評価する能力・成果

【一般専門教育選抜】

上記の能力・資質を確認するため、専門科目・小論文において専門分野の学力を評価し、面接試験において幅広い知識、コミュニケーション能力、社会人としての姿勢及び地域活性化志向を評価する選抜試験を行う。

【リカレント専門教育選抜】

上記の能力・資質を確認するため、専門科目・小論文において専門分野の学力を評価し、面接試験において幅広い知識、コミュニケーション能力、社会人としての姿勢及び地域活性化志向を評価する選抜試験を行う。

【留学生専門教育選抜】

上記の能力・資質を確認するため、専門科目・小論文において専門分野の学力を評価し、面接試験において幅広い知識、コミュニケーション能力、社会人としての姿勢及び地域活性化志向を評価する選抜試験を行う。

大学院人文社会科学研究科人文科学専攻のポリシー

ディプロマ・ポリシー

茨城大学人文社会科学研究科人文科学専攻は、以下の 5 つの知識、能力及び姿勢を、学際的な専門分野の学修によって身につけることで、修士（学術）の学位を授与する。

1. 専門分野の学力・研究遂行能力

人文科学の各分野に関する高度専門職業人として、専門性の深化と幅広い視野の涵養を目指しながら、調査・研究できる力と自ら学び続ける能力

2. 世界の俯瞰的理解

予測困難で変化の激しい社会において、人間の文化又は現代社会が直面する学術的・実践的諸課題の解明に向けた幅広い知識と理解力

3. 多様化する社会におけるコミュニケーション能力

多様化する社会の意味を自ら考え、様々な人々と協働して課題解決をしていくための高度な思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力

4. 社会人としての姿勢

変化の激しい社会において、社会の持続的な発展を先導し、それに貢献できる意欲と主体性及び倫理観

5. 地域活性化志向

茨城県をはじめとする国内外の地域・社会の抱える諸課題への解決と活性化について、高度専門職業人として自らの専門性を活かしつつ、主体的、積極的に取り組もうとする志向と意欲

カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーで定めた 5 つの知識、能力及び姿勢を育成するよう、共通科目（大学院共通科目・研究科共通科目・キャリア支援科目）を配置し、コース制による体系化されたカリキュラムを編成する。文理横断専門分野を包含し、広い視野を涵養する共通科目、専門分野の深化を目指すコア専門科目、他コース・他専攻等のコア専門科目で構成され、幅広い視野を涵養する拡充専門科目、及び研究指導科目を学修することにより、学際的な専門性を育成する。ディプロマ・ポリシーを修了時に身につけられるよう、1 年次及び 2 年次を通して履修計画書による履修指導を行う。

1. 専門分野の学力・研究遂行能力の涵養

専門分野の学力・研究遂行能力を涵養するため、共通科目、専門科目、及び研究指導科目を配置する。専門科目では、専門深化をめざすコア専門科目に、幅広い視野を涵養する拡充専門科目を組み合わせ、学生が主体的に自らの専門分野の能力を体系的にデザインする。研究指導科目では、複数教員による多角的な研究指導を行う。

2. 世界の俯瞰的理解の涵養

世界の俯瞰的理解を涵養するため、研究科共通科目に科学技術の進展と人文社会との関係について学ぶ必修科目を配置し、専門科目に国際にかかわる多様な科目を配置する。併せて、グローバル化のなかで持続可能な循環型社会を実践的に学修するプログラムを開講する。

3. 多様化する社会におけるコミュニケーション能力の涵養

高度な思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力を涵養するため、アクティブ・ラーニングを取り入れた共通科目及び専門科目を配置するとともに、問題設定・調査・分析・成果発表等を行う研究指導科目を配置する。

4. 社会人としての姿勢の涵養

社会の持続的な発展を先導し、それに貢献できる意欲と主体性及び倫理観を涵養するため、実社会に即した就業能力の修得に寄与するキャリア支援科目及び研究指導科目の研究法を配置し、社会人としての姿勢を身につける専門科目を開講する。

5. 地域活性化志向の涵養

グローバル化する地域の活性化に、幅広い知識と高い専門性をもって、主体的、積極的に取り組む思考や意欲を涵養するため、インターンシップ科目及び、地域政策研究（社会人）コースの科目など地域活性化を意識した多様な専門科目を配置する。

6. 教育の質の保証

単位の実質化を図り、各授業科目の到達目標及び明確な成績評価基準に基づく厳格な成績評価を行うとともに、明確な学位論文審査基準及び最終試験実施要項に基づく厳格な学位論文審査及び最終試験結果の評価を行う。学修成果の可視化を図り、教職員と学生の相互協力と点検により不断の教育改善を推進する。

アドミッション・ポリシー

人文科学専攻では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身につけることができる者を選抜するため、以下の能力・資質を有する者を求め、入学者選抜において、その能力・成果を評価する。

入学者に求める能力・資質

1. 人文科学分野の高度専門職業人を目指し、人文科学分野における学士課程レベルの十分な知識・技能を有し、計画的・主体的に学び続ける姿勢を持つ者
2. 専門分野に関連する学士課程レベルの総合的な学力及び教養を有する者
3. 他者と協働して研究を遂行できるコミュニケーション能力を高めようとする意欲を有する者
4. 社会の持続的な発展を先導し、それに貢献しようとする意欲を有する者
5. 深い専門性と幅広い視野を活かし、グローバル化する地域の活性化に取り組もうとする思考や意欲を有する者

入学者選抜において評価する能力・成果

【一般専門教育選抜】

上記の能力・資質を確認するため、専門科目・小論文において専門分野の学力を評価し、面接試験において幅広い知識、コミュニケーション能力、社会人としての姿勢及び地域活性化志向を評価する選抜試験を行う。

【リカレント専門教育選抜】

上記の能力・資質を確認するため、専門科目・小論文において専門分野の学力を評価し、面接試験において幅広い知識、コミュニケーション能力、社会人としての姿勢及び地域活性化志向を評価する選抜試験を行う。

【留学生専門教育選抜】

上記の能力・資質を確認するため、専門科目・小論文において専門分野の学力を評価し、面接試験において幅広い知識、コミュニケーション能力、社会人としての姿勢及び地域活性化志向を評価する選抜試験を行う。

大学院人文社会科学研究科社会科学専攻のポリシー

ディプロマ・ポリシー

茨城大学人文社会科学研究科社会科学専攻は、以下の 5 つの知識、能力及び姿勢を、学際的な専門分野の学修によって身につけることで、修士（学術）の学位を授与する。

1. 専門分野の学力・研究遂行能力

社会科学の各分野に関する高度専門職業人として、専門性の深化と幅広い視野の涵養を目指しながら、調査・研究できる力と自ら学び続ける能力

2. 世界の俯瞰的理解

予測困難で変化の激しい社会において、人間の文化又は現代社会が直面する学術的・実践的諸課題の解明に向けた幅広い知識と理解力

3. 多様化する社会におけるコミュニケーション能力

多様化する社会の意味を自ら考え、様々な人々と協働して課題解決をしていくための高度な思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力

4. 社会人としての姿勢

変化の激しい社会において、社会の持続的な発展を先導し、それに貢献できる意欲と主体性及び倫理観

5. 地域活性化志向

茨城県をはじめとする国内外の地域・社会の抱える諸課題への解決と活性化について、高度専門職業人として自らの専門性を活かしつつ、主体的、積極的に取り組もうとする志向と意欲

カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーで定めた 5 つの知識、能力及び姿勢を育成するよう、共通科目（大学院共通科目・研究科共通科目・キャリア支援科目）を配置し、コース制による体系化されたカリキュラムを編成する。文理横断専門分野を包含し、広い視野を涵養する共通科目、専門分野の深化を目指すコア専門科目、他コース・他専攻等のコア専門科目で構成され、幅広い視野を涵養する拡充専門科目、及び研究指導科目を学修することにより、学際的な専門性を育成する。ディプロマ・ポリシーを修了時に身につけられるよう、1 年次及び 2 年次を通して履修計画書による履修指導を行う。

1. 専門分野の学力・研究遂行能力の涵養

専門分野の学力・研究遂行能力を涵養するため、共通科目、専門科目、及び研究指導科目を配置する。専門科目では、専門深化をめざすコア専門科目に、幅広い視野を涵養する拡充専門科目を組み合わせ、学生が主体的に自らの専門分野の能力を体系的にデザインする。研究指導科目では、複数教員による多角的な研究指導を行う。

2. 世界の俯瞰的理解の涵養

世界の俯瞰的理解を涵養するため、研究科共通科目に科学技術の進展と人文社会との関係について学ぶ必修科目を配置し、専門科目に国際にかかわる多様な科目を配置する。併せて、グローバル化のなかで持続可能な循環型社会を実践的に学修するプログラムを開講する。

3. 多様化する社会におけるコミュニケーション能力の涵養

高度な思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力を涵養するため、アクティブ・ラーニングを取り入れた共通科目及び専門科目を配置するとともに、問題設定・調査・分析・成果発表等を行う研究指導科目を配置する。

4. 社会人としての姿勢の涵養

社会の持続的な発展を先導し、それに貢献できる意欲と主体性及び倫理観を涵養するため、実社会に即した就業能力の修得に寄与するキャリア支援科目及び研究指導科目の研究法を配置し、社会人としての姿勢を身につける専門科目を開講する。

5. 地域活性化志向の涵養

グローバル化する地域の活性化に、幅広い知識と高い専門性をもって、主体的、積極的に取り組む思考や意欲を涵養するため、インターンシップ科目及び、地域政策研究（社会人）コースの科目など地域活性化を意識した多様な専門科目を配置する。

6. 教育の質の保証

単位の実質化を図り、各授業科目の到達目標及び明確な成績評価基準に基づく厳格な成績評価を行うとともに、明確な学位論文審査基準及び最終試験実施要項に基づく厳格な学位論文審査及び最終試験結果の評価を行う。学修成果の可視化を図り、教職員と学生の相互協力と点検により不断の教育改善を推進する。

アドミッション・ポリシー

社会科学専攻では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身につけることができる者を選抜するため、以下の能力・資質を有する者を求め、入学者選抜において、その能力・成果を評価する。

入学者に求める能力・資質

1. 社会科学分野の高度専門職業人を目指し、社会科学分野における学士課程レベルの十分な知識・技能を有し、計画的・主体的に学び続ける姿勢を持つ者
2. 専門分野に関連する学士課程レベルの総合的な学力及び教養を有する者
3. 他者と協働して研究を遂行できるコミュニケーション能力を高めようとする意欲を有する者
4. 社会の持続的な発展を先導し、それに貢献しようとする意欲を有する者
5. 深い専門性と幅広い視野を活かし、グローバル化する地域の活性化に取り組もうとする思考や意欲を有する者

入学者選抜において評価する能力・成果

【一般専門教育選抜】

上記の能力・資質を確認するため、専門科目・小論文において専門分野の学力を評価し、面接試験において幅広い知識、コミュニケーション能力、社会人としての姿勢及び地域活性化志向を評価する選抜試験を行う。

【リカレント専門教育選抜】

上記の能力・資質を確認するため、専門科目・小論文において専門分野の学力を評価し、面接試験において幅広い知識、コミュニケーション能力、社会人としての姿勢及び地域活性化志向を評価する選抜試験を行う。

【留学生専門教育選抜】

上記の能力・資質を確認するため、専門科目・小論文において専門分野の学力を評価し、面接試験において幅広い知識、コミュニケーション能力、社会人としての姿勢及び地域活性化志向を評価する選抜試験を行う。

Ⅱ 履修上の注意

履修上の注意

1. 授業科目の履修登録について

- (1) 授業科目を履修するにあたっては、当該授業の始めに担当教員の承認を得たうえで、所定の期間内に、教務情報ポータルシステムにおいて履修登録をする必要があります。
- (2) 履修する授業科目の決定に際しては、正研究指導教員の指導を受けてください。
- (3) 集中講義の開講時期及び履修登録時期は、決定次第掲示で案内されますので、掲示に注意してください。また、指定された期間内に、教務情報ポータルシステムにおいて履修登録をする必要があります。
- (4) 教務情報ポータルシステムにおいて履修登録をしなかった授業科目の単位は与えられません。

2. 成績評価基準

区分	評点基準	評価の内容
A+	90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A	80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B	70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C	60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

注) 区分A+, A, B及びCを合格とし、所定の単位を与え、Dは不合格とし、単位は認められない。

3. 履修指導、及び研究指導

- (1) 正副研究指導教員
入学試験の際の学生の志望、その際提出された研究計画概要に基づき、専攻分野の教員の協議によって決定します。
- (2) 履修計画書と研究指導計画書の提出
各年次の開始時に、ディプロマ・ポリシーと履修科目との関連が明記された「履修計画書」を正研究指導教員と相談の上で作成し、正指導教員が作成した「研究指導計画書」とともに、各年次の5月に学務グループを通じて大学院専門委員会に提出します。
- (3) 学位論文題目の申告
学位論文題目は、論文題目届により、研究指導教員の承認を得て修了する年次の所定の期間に、学務グループを通じて人文社会科学研究科長に提出します。

なお、論文題目を変更する場合には、研究指導教員の承認を得て届出なければなりません。

(4) 学位論文の提出

「学位論文の審査及び最終試験実施要項」(32ページ参照)に従って提出してください。

【研究指導科目等のスケジュールと個別の研究指導の内容の目安】

学年	時期	研究指導科目等	個別の研究指導内容
1年次	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・専門基礎科目 ・人文(社会)科学研究法 (研究倫理を含め、専門分野の研究手法、トピック等を実践的に学ぶ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・履修計画書の作成指導 ・研究指導計画書の提示 ・履修計画、研究指導計画の共有
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・履修計画書及び研究指導計画書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマについて、学生自身が研究方法や方向性を定めるように指導
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・専門基礎演習 (研究テーマに必要な手法等を学ぶ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文の基礎となる各自の研究テーマを固めるように指導 ・調査に着手するように指導
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文構想発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文の研究テーマを固めた上で、今後の方向性について展望するように指導 ・修士論文の構想を練るように指導
	3月		<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導報告書提出
2年次	4月～5月	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究演習Ⅰ (修士論文作成に必要な手法等を学ぶ) ・論文題目届の提出 ・履修計画書及び研究指導計画書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査を継続し、分析を行い、修士論文の執筆に着手するように指導 ・履修計画書の作成指導 ・研究指導計画書の提示 ・履修計画、研究指導計画の共有 ・修士論文の題目を指導
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・中間発表 (研究成果と進捗状況、今後の課題を発表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究成果と進捗状況を整理し、今後の課題を明らかにするように指導
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究演習Ⅱ (修士論文作成に必要な手法等を学ぶ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果の分析を行い、修士論文を完成させるように指導
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文を期限内に提出するように指導
	12月～1月	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文発表会 口頭試問・最終試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の成果の発表を指導 ・口頭試問・最終試験の実施
	1月		<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導報告書提出

4. 授業時間について

1日の授業時間は、下記表のとおり6つの時間帯に分けられています。

講時	開始時刻～終了時刻
第1講時	8:40 ～ 10:25
第2講時	10:35 ～ 12:20
(昼休み / 12:20 ～ 13:10)	
第3講時	13:10 ～ 14:55
第4講時	15:05 ～ 16:50
第5講時	17:00 ～ 18:45
第6講時	18:55 ～ 20:40

5. GPA (Grade Point Average) について

GPA (Grade Point Average) とは、履修科目の成績評価 (Grade) に応じて評点 (Point) を付与し、単位の重み付けをした平均 (Average) のことで、数値で示されます (最大値 4.50 点)。GPA は、学習成果を示す一つの指標です。成績通知表には、学期 GPA・通算 GPA が記載され、成績証明書には通算 GPA のみが記載されます。GPA は、成績評価 (100 点満点) を GPA の基礎的数値として、以下の算定式により算出します。

$$GP \text{ (Grade Point)} = (100 \text{ 点満点の得点} - 55) / 10 \quad (\text{ただし } GP=0.5 \text{ 未満は } 0.0)$$

$$GPA = \Sigma (GP \times \text{当該履修科目の単位数}) / \Sigma (\text{履修科目の単位数})$$

※100 点法で成績が出せない科目や修了要件外の科目は、GPA の対象となりません。

6. 履修登録単位数の上限について (CAP 制)

1 年間の履修登録単位数の上限は原則 30 単位 (公認心理師コースは 38 単位) とする。

ただし、修了要件外科目は除きます。

なお、2023 年度以降の入学者で、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、申請により CAP 制限を緩和し、年間最大 8 単位の追加単位修得を認めます。

【CAP 緩和の申請基準】

- ① 申請時点の直近の学期 GPA が 3.0 以上であること。
- ② 正指導教員の明示的な許可を得ていること。

※人文社会科学部学務グループまで申し出てください。

7. 授業の欠席

総授業時間数の 3 分の 2 以上の出席 をもって、期末試験の受験資格及び単位認定 (成績評価) の要件を満たすことができます。

表 II - 4. 単位認定に必要な授業出席回数

学 期	総授業回数	3 分の 2 以上	備 考
セメスター科目	13 回	9 回以上	
クォーター科目	6.5 回	4.5 回以上	0.5 については最終授業回にカウント

授業を欠席することが事前に分かっている場合は、授業時などに授業担当教員にその旨直接連絡してください。「やむを得ない事情」により授業を欠席した場合には、願い出を行うことで、補講の受講または学修課題の機会が与えられることにより、当該授業を出席したと取り扱われます。

学生は、「やむを得ない事情」により授業を欠席する場合は、一週間以内に各授業担当教員へその旨を連絡すると共に、学務グループに連絡し根拠資料 (原本) を提出してください。また、複写した同根拠資料を各授業担当教員に提出してください。

ただし、集中講義など特定の授業において、補講または学修課題等を課すことが困難な場合には、シラバス等で明示します。

「やむを得ない事情」とは、次のような場合です。

- ① 学校保健安全法施行規則（昭和 33 年文部省令第 18 号）第 18 条に規定する感染症に罹患した場合（注 1）（注 2）
 - ② 忌引き（注 3）
 - ③ 裁判員制度
 - ④ 公共交通機関の運行停止
- これ以外の事情がある場合は、授業担当教員の判断によります。

表Ⅱ－５．学校保健安全法施行規則 18 条に規定する感染症（注 1）

種類	感染症
第 1 種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MER S コロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症
第 2 種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症を除く。）、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和 2 年 1 月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
第 3 種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

表Ⅱ－６．学校保健安全法施行規則 19 条に規定する出席停止の期間の基準（注 2）

種類	出席停止の期間の基準
第 1 種	第 1 種の感染症にかかった者については、治癒するまで。
第 2 種	第 2 種の感染症（結核及び髄膜炎菌性髄膜炎を除く。）にかかった者については、次の期間。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでない。 イ）インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）にあつては、発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで。 ロ）百日咳にあつては、特有の咳が消失するまでまたは 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。 ハ）麻しんにあつては、解熱した後 3 日を経過するまで。 ニ）流行性耳下腺炎にあつては、耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。 ホ）風しんにあつては、発しんが消失するまで。 ヘ）水痘にあつては、すべての発しんが痂皮化するまで。 ト）咽頭結膜熱にあつては、主要症状が消退した後 2 日を経過するまで。 チ）新型コロナウイルス感染症にあつては、発症した後 5 日を経過し、かつ、症状が軽快した後 1 日を経過するまで。 リ）結核及び髄膜炎菌性髄膜炎にあつては、病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで。
第 3 種	第 3 種の感染症に罹患した者については、病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで。

忌引き（注 3）

学生の親族が死亡した場合に学生が葬儀、服喪その他の親族の死亡に伴い必要と認められる行事のため授業を欠席する場合は、親族に応じ下表の日数欄に掲げる連続する日数(葬

儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数)の範囲内を忌引きの期間とします。

表Ⅱ－7. 忌引きの期間

親 族	日 数
配偶者・父母	7日
子	5日
祖父母	3日(学生が代襲相続し、かつ、祭具等の承継を受ける場合にあっては7日)
孫	1日
兄弟姉妹	3日

8-1.授業区分と修了要件
【25LM以降入学生対象】

8-1. 授業科目区分と修了要件（25LM以降入学生対象）

（1）修了要件

専攻の修了には、当該課程に2年以上在学し、必修科目の「テクノロジーと人間社会」1単位と研究指導科目8単位を含め30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することを修了要件とします。なお、公認心理師コースにおいては38単位を修得する必要があります。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

また、修了に必要な単位の修得要件が教育タイプごとに異なりますので、注意をしてください。

（2）授業科目の区分

【大学院共通科目】

本学の大学院（修士課程・博士前期課程）で共通に開設される科目群で、広い俯瞰的な視野とコミュニケーション力、創造性と想像力を育成するため、世界の俯瞰的理解や文系理系にまたがる幅広く学術分野を越えた専門性をもった科目。

【研究科共通科目】

本研究科で共通に開設する専門性をもった科目群で、人文・社会系の専門分野の視点から社会の変化に関する俯瞰的な視野や創造性と想像力を涵養するための科目。特に、「テクノロジーと人間社会」は本研究科の全学生の必修科目です。また、講義と演習形式を併用する「専門基礎科目」は、専門分野の基礎知識を固めて研究テーマの方向性を定めるとともに、そのテーマに沿った研究・分析方法を構想することを目的とした科目です。（ただし、正研究指導教員が開講する科目に限る）。

【キャリア支援科目】

高度専門職業人としての資質向上及び実践的コミュニケーション能力や社会人としての姿勢・能力を養成するための科目。「実践的キャリアデザイン論」のキャリア関係の科目やグローバルなコミュニケーション能力を育む英語科目などを含みます。留学生専門教育タイプを対象とする「日本語表現法」は修了要件外の自由科目です。

【コア専門科目】

高度専門職業人に求められる専門性の深化を図るため、各コースの専門性に応じた科目。地域政策(社会人)コースにおいては、社会科学専攻内の他コースのコア専門科目を自コースのコア専門科目として振り替えることができます。

【研究指導科目】

各専門分野に特化した研究手法や研究倫理を学び、共通科目やコア専門科目で修得した内容を体系化し、修士論文作成や特定課題研究に必要な手法等を修得するための必修科目。1年次前期に所属する専攻が開講する「研究法」、1年次後期及び2年次に正研究指導教員が開講する「専門基礎演習」、「課題研究演習Ⅰ」、「課題研究演習Ⅱ」を履修します。地域政策(社会人)コースにおいては、「課題研究演習Ⅰ」及び「課題研究演習Ⅱ」に代えて、「政策特定課題研究演習」及び「政策プレゼン研究演習」を履修します。

【拡充専門科目】

広い視野を持ちながら、自ら専門性を深化・拡張し多彩な学問的アプローチができる力を醸成するため、他コース・他専攻のコア専門科目や他研究科・他大学院の専門科目を正研究指導教員による履修指導の後に、学生の学修の希望やニーズに応じて選択履修します。

(3) 履修タイプと最低修得単位

入試区分、学生の学びの特性に応じて、以下の3つの履修タイプ、

- ・一般専門教育タイプ（一般専門教育選抜に対応）
- ・リカレント専門教育タイプ（リカレント専門教育選抜に対応）
- ・留学生専門教育タイプ（留学生専門教育選抜に対応）

に分けます。各履修タイプ別の最低取得単位は以下のとおりです。

・一般専門教育タイプ

区 分		最低修得単位	備 考
大学院共通科目		2	
研究科共通科目		2～3	・テクノロジーと人間社会は必修。
キャリア支援科目	外国語	2	・公認心理師コースは0単位。 「日本語表現法」は修了要件外の自由科目で、留学生のみ受講可
	インターンシップ		
	高度情報処理		
コア専門科目		10～14	・公認心理師コースは24単位。
研究指導科目	研究法（*1）	2	
	専門基礎演習	2	
	課題研究演習Ⅰ	2	
	課題研究演習Ⅱ	2	
拡充専門科目	他コース 他専攻 他研究科 （他大学院を含む） の専門科目	1～6	
合 計		30	・公認心理師コースは38単位。

（*1）は所属する専攻に開講される科目を履修すること。

注1：研究科共通科目、コア専門科目と拡充専門科目を合わせて18単位以上修得すること。

注2：同一の科目を2回以上履修（重複履修）することはできません。

・リカレント専門教育タイプ

区 分		最低修得単位	備 考
大学院共通科目		0～4	
研究科共通科目		2～4	・テクノロジーと人間社会は必修
キャリア支援科目	外国語	0～2	
	インターンシップ		
	高度情報処理		
コア専門科目		8～16	・公認心理師コースは24単位。
研究指導科目	研究法（*1）	2	
	専門基礎演習	2	
	課題研究演習Ⅰ	2	・地域政策研究（社会人）コースは「政策特定課題演習」を履修する。
	課題研究演習Ⅱ	2	・地域政策研究（社会人）コースは「政策プレゼン研究演習」を履修する。
拡充専門科目	他コース 他専攻 他研究科 （他大学院を含む） の専門科目	1～8	
合 計		30	・公認心理師コースは38単位。

（*1）は所属する専攻に開講される科目を履修すること。

注1：研究科共通科目、コア専門科目と拡充専門科目を合わせて22単位以上修得すること。

注2：同一の科目を2回以上履修（重複履修）することはできません。

注3：リカレント選抜により入学した学生のうち、「長期履修制度」の適用を希望し、研究科委員会において承認された者には、修業年限を3年または4年とすることができる。

注4：「研究課題・研究計画書」をもとに、指導教員と学生が相談し、適宜、授業を平日の6講時（18：55～20：40）や土・日に開講することができる。また、他教員の授業についても、学生の勤務形態に応じて開講時間を調整することを希望する場合は、担当教員に調整が可能か否かを問い合わせること。

・留学生専門教育タイプ

区 分		最低修得単位	備 考
大学院共通科目		2	
研究科共通科目		2～4	・テクノロジーと人間社会は必修
キャリア支援科目	外国語	2～4	「日本語表現法」は修了要件外の自由科目で、留学生のみ受講可
	インターンシップ		
	高度情報処理		
コア専門科目		8～12	
研究指導科目	研究法（*1）	2	
	専門基礎演習	2	
	課題研究演習Ⅰ	2	
	課題研究演習Ⅱ	2	
拡充専門科目	他コース 他専攻 他研究科 （他大学院を含む） の専門科目	1～6	
合 計		30	

（*1）は所属する専攻に開講される科目を履修すること。

注1：研究科共通科目、キャリア支援科目、コア専門科目と拡充専門科目を合わせて20単位以上修得すること

注2：同一の科目を2回以上履修（重複履修）することはできません。

8-2.授業区分と修了要件
【24LM以前入学生対象】

8-2. 授業科目区分と修了要件 (24LM 以前入学生対象)

(1) 修了要件

専攻の修了には、当該課程に2年以上在学し、必修科目の「テクノロジーと人間社会Ⅰ」1単位と研究指導科目8単位を含め30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することを修了要件とします。なお、公認心理師コースにおいては38単位を修得する必要があります。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

また、修了に必要な単位の修得要件が教育タイプごとに異なりますので、注意をしてください。

(2) 授業科目の区分

【大学院共通科目】

本学の大学院（修士課程・博士前期課程）で共通に開設される科目群で、広い俯瞰的な視野とコミュニケーション力、創造性と想像力を育成するため、世界の俯瞰的理解や文系理系にまたがる幅広く学術分野を越えた専門性をもった科目。

【研究科共通科目】

本研究科で共通に開設する専門性をもった科目群で、人文・社会系の専門分野の視点から社会の変化に関する俯瞰的な視野や創造性と想像力を涵養するための科目。特に、「テクノロジーと人間社会Ⅰ」は本研究科の全学生の必修科目です。また、講義と演習形式を併用する「専門基礎科目」は、専門分野の基礎知識を固めて研究テーマの方向性を定めるとともに、そのテーマに沿った研究・分析方法を構想することを目的とした科目です。この科目はリカレント専門教育タイプ及び留学生専門教育タイプの学生のみが選択・履修できます（ただし、正研究指導教員が開講する科目に限る）。

【キャリア支援科目】

高度専門職業人としての資質向上及び実践的コミュニケーション能力や社会人としての姿勢・能力を養成するための科目。「実践的キャリアデザイン論」のキャリア関係の科目やグローバルなコミュニケーション能力を育む英語科目などを含みます。留学生専門教育タイプを対象とする「日本語表現法」は修了要件外の自由科目です。

【コア専門科目】

高度専門職業人に求められる専門性の深化を図るため、各コースの専門性に応じた科目。地域政策(社会人)コースにおいては、社会科学専攻内の他コースのコア専門科目を自コースのコア専門科目として振り替えることができます。

【研究指導科目】

各専門分野に特化した研究手法や研究倫理を学び、共通科目やコア専門科目で修得した内容を体系化し、修士論文作成や特定課題研究に必要な手法等を修得するための必修科目。1年次前期に所属する専攻が開講する「研究法」、1年次後期及び2年次に正研究指導教員が開講する「専門基礎演習」、「課題研究演習Ⅰ」、「課題研究演習Ⅱ」を履修します。地域

政策(社会人)コースにおいては、「課題研究演習Ⅰ」及び「課題研究演習Ⅱ」に代えて、「政策特定課題研究演習」及び「政策プレゼン研究演習」を履修します。

【拡充専門科目】

広い視野を持ちながら、自ら専門性を深化・拡張し多彩な学問的アプローチができる力を醸成するため、他コース・他専攻のコア専門科目や他研究科・他大学院の専門科目を正研究指導教員による履修指導の後に、学生の学修の希望やニーズに応じて選択履修します。

(3) 履修タイプと最低修得単位

入試区分、学生の学びの特性に応じて、以下の3つの履修タイプ、

- ・一般専門教育タイプ（一般専門教育選抜に対応）
- ・リカレント専門教育タイプ（リカレント専門教育選抜に対応）
- ・留学生専門教育タイプ（留学生専門教育選抜に対応）

に分けます。各履修タイプ別の最低取得単位は以下のとおりです。

・一般専門教育タイプ

区 分		最低修得単位	備 考
大学院共通科目		2	
研究科共通科目		2	・テクノロジーと人間社会 I は必修。
キャリア支援科目	外国語	2	・公認心理師コースは0単位。 「日本語表現法」は修了要件外の自由科目で、留学生のみ受講可
	インターンシップ		
	高度情報処理		
コア専門科目		10～14	・公認心理師コースは24単位。
研究指導科目	研究法（*1）	2	
	専門基礎演習	2	
	課題研究演習 I	2	
	課題研究演習 II	2	
拡充専門科目	他コース 他専攻 他研究科 （他大学院を含む） の専門科目	2～6	
合 計		30	・公認心理師コースは38単位。

（*1）は所属する専攻に開講される科目を履修すること。

注1：コア専門科目と拡充専門科目を合わせて16単位以上を履修すること。

注2：同一の科目を2回以上履修（重複履修）することはできません。

・リカレント専門教育タイプ

区 分		最低修得単位	備 考
大学院共通科目		0～4	
研究科共通科目		2	・テクノロジーと人間社会 I は必修
キャリア支援科目	外国語	0	
	インターンシップ		
	高度情報処理		
コア専門科目		8～16	・公認心理師コースは24単位。
研究指導科目	研究法 (*1)	2	
	専門基礎演習	2	
	課題研究演習 I	2	・地域政策研究 (社会人) コースは「政策特定課題演習」を履修する。
	課題研究演習 II	2	・地域政策研究 (社会人) コースは「政策プレゼン研究演習」を履修する。
拡充専門科目	他コース 他専攻 他研究科 (他大学院を含む) の専門科目	4～8	
合 計		30	・公認心理師コースは38単位。

(*1) は所属する専攻に開講される科目を履修すること。

注1：コア専門科目と拡充専門科目を合わせて20単位以上を履修すること。

注2：同一の科目を2回以上履修（重複履修）することはできません。

注3：リカレント選抜により入学した学生のうち、「長期履修制度」の適用を希望し、研究科委員会において承認された者には、修業年限を3年または4年とすることができる。

注4：「研究課題・研究計画書」をもとに、指導教員と学生が相談し、適宜、授業を平日の7講時（19：10～20：40）や土・日に開講することができる。また、他教員の授業についても、学生の勤務形態に応じて開講時間を調整することを希望する場合は、担当教員に調整が可能か否かを問い合わせること。

・留学生専門教育タイプ

区 分		最低修得単位	備 考
大学院共通科目		2	
研究科共通科目		2	・テクノロジーと人間社会 I は必修
キャリア支援科目	外国語	2～4	「日本語表現法」は修了要件外の自由科目で、留学生のみ受講可
	インターンシップ		
	高度情報処理		
コア専門科目		8～12	
研究指導科目	研究法（*1）	2	
	専門基礎演習	2	
	課題研究演習 I	2	
	課題研究演習 II	2	
拡充専門科目	他コース 他専攻 他研究科 （他大学院を含む） の専門科目	2～6	
合 計		30	

（*1）は所属する専攻に開講される科目を履修すること。

注1：コア専門科目、拡充専門科目とキャリア支援科目を合わせて18単位以上を履修すること。

注2：同一の科目を2回以上履修（重複履修）することはできません。

地域政策研究（社会人）コース専門科目履修ガイドライン（学生用）

1. 目的

このガイドラインは、茨城大学大学院人文社会科学研究科社会科学専攻「地域政策研究（社会人）コース」（以下、本コースと呼ぶ）における履修内容を示し、本コース設置の目的に沿った教育と人材育成を確保するためのものです。

2. 基本的考え方

（1）本コースで育成する人材像

幅広い教養に基づき経済社会状況の変化を的確に認識する能力と高度な専門性を持ち、地域が直面する課題に真摯に取り組み、自律的で持続可能な地域社会をつくるための政策立案能力の向上をはかることによって地域創生を推進する自治体幹部職員と地方議員等。

（2）本コースの修了について

本コースの修了は、主に次の3つのうちいずれかの方法で可能です。

- ・ 平日の昼夜間および休日開講される授業を受講し1年間で修了（短期履修）
- ・ 標準修業年限の2年間で修了
- ・ 2年より長期にわたる履修（長期履修制度）で修了

本ガイドラインでは、特に学生が1年間で意図した人材として修了する可能性を確保することに留意して、専門科目等の履修について定めます。

3. 内容

表1：授業科目の区分と最低修得単位（※本コース学生向けの科目）

区分		最低修得単位	モデル修得単位数
大学院共通科目		0～4	0
研究科共通科目		2～4	2
キャリア支援科目	外国語、インターンシップ、高度情報処理	0～2	0
コア専門科目	特定テーマ演習※	2	2
	地域資源活用研究法※	2	2
	社会科学専攻内の他コースのコア専門科目	4～12	12
	地域連携創生研究演習※		
研究指導科目	社会科学研究法	2	2
	専門基礎演習	2	2
	政策特定課題研究演習※	2	2
	政策プレゼン研究演習※	2	2
拡充専門科目	他コース、他専攻、他研究科（他大学を含む）の専門科目	1～8	4
合計		30	30

注1：本コースにおいては、社会科学専攻内の他コースのコア専門科目を本コースのコア専門科目として履修することができます。

本コース学生が履修する主な専門科目は、表2に示したように、法学研究、政策過程研究、市民社会研究、統計学研究、社会調査法研究の科目群に分類されます。本コース学生は、育成する人材像に近づくため、全ての科目群から最低2単位を体系的に選択し、表2に示したモデル修得単位数10単位以上を取得することを強く推奨します。

表2：専門科目の科目群

科目群	モデル修得単位数	科目名
法学研究	2	比較法研究Ⅰ・Ⅱ
	2	労働法研究Ⅰ・Ⅱ
	2	社会保障法研究Ⅰ・Ⅱ
	2	行政法研究Ⅰ・Ⅱ
政策過程研究	2	行政学研究Ⅰ・Ⅱ
	2	公共政策論研究Ⅰ・Ⅱ
	2	財政学研究Ⅰ・Ⅱ
	2	経済政策研究Ⅰ・Ⅱ
市民社会研究	2	金融論研究Ⅰ・Ⅱ
	2	公共哲学研究Ⅰ・Ⅱ
	2	地誌学研究Ⅰ・Ⅱ
	2	生活保障論研究Ⅰ・Ⅱ
統計学研究	2	経済統計研究Ⅰ・Ⅱ
	2	経済地理学研究Ⅰ・Ⅱ
社会調査法研究	2	社会調査法研究
	2	社会意識論研究
	2	地方政治論研究Ⅰ・Ⅱ

4. 留意事項

(1) 本コース学生は、入学後速やかに指導教員などによる履修指導を受け、計画的に履修科目を確定します。

(2) 各科目群に含まれる科目のうち1科目以上が希望に応じて夜間休日に開講されます。夜間はクォーター制(2コマ連続)、休日は集中講義が原則となります。

(3) 本コース学生はその希望により上記一覧にない科目を選択することは可能です。ただし、その場合には夜間休日開講ができないことがあります。

(4) 専門科目の各科目群に含まれる科目は、年度毎に微調整される可能性があります。

大学院成績評価に関する問い合わせに対する対応

(1) 成績評価に関する問合せ

人文社会科学研究科の成績評価について疑義がある場合は、「成績評価に関する確認書」に必要事項を記入し、人文社会科学部学務グループに提出してください。

学生からの問い合わせに対して担当授業教員は原則として 5 日以内（土日、祝日を除く。）に「成績評価に関する確認書」に必要事項を記入し、大学院専門委員長（人文社会科学部学務グループ宛）に提出してもらうことになっています。大学院専門委員長が担当授業教員の場合には人文社会科学研究科長へ提出してください。回答の提出を受けた大学院専門委員長等は、原則として問合せのあった日から 10 日以内（土日、祝日を除く。）に、その内容を確認の上、「成績評価に関する確認書」に必要事項を記入し、開講学部等を通じてこれを学生に回送しなければならない。この場合において、大学院専門委員長等は、授業担当教員の回答に変更の必要があると認めるときは、授業担当教員と協議の上、授業担当教員が再記入した回答を回送するものとする。

上記の問合せの期限は、当該授業科目が開講された学期の次の学期開始後 20 日以内（土日、祝日を除く。）です。休学または留学のため問合せを行うことができない場合は、復学または帰国後 20 日以内（土日、祝日を除く。）が問合せの期限となります。

ただし、最終年次の問合せの期限は、後学期期末試験期間最終日の翌々日（当日が休日の場合は、次の最初の平日とする。）です。

なお、当該授業が開講された学期中に成績報告がされていない授業の問合せ期限は、成績評価が公開された日から 20 日以内（土日、祝日を除く。）です。

(2) 成績評価に対する異議申立て

上記（1）の成績評価に対する問合せをした学生は、次の①～③のいずれかに該当する場合に限り、成績評価に対する異議を申し立てることができます。

- ① 授業担当教員の成績評価の誤記入等が疑われる場合
- ② シラバスに記載された到達目標、成績評価基準及び成績の評価方法に照らして、評価に疑義がある場合
- ③ 授業担当教員の不誠実等対応により上記（1）の期限までに回答がない場合

成績評価に対する異議申立てをする学生は、人文社会科学部学務グループに申し出てください。

成績評価に対する異議申立ての期限は、上記（1）の問合せに対する授業担当教員からの説明または回答を受けた日から 10 日以内（土日、祝日を除く。）です。ただし、③の場合には、上記（1）の問合せをしてから 15 日以内（土日、祝日を除く。）です。

成績評価に対する異議申立てがなされた場合、人文社会科学研究科大学院専門委員会において学生及び授業担当教員の双方から事情及び意見等を聴取するとともに、根拠資料の提出を求めます。その上で、どちらの主張に妥当性があるかを判断します。

学位論文の審査及び最終試験実施要項

平成 3 年 4 月 4 日 人文科学研究科委員会 決定
平成 24 年 5 月 16 日 人文科学研究科委員会 改訂

1. 趣 旨

修士（学術）の学位授与に関しては、茨城大学大学院学則、茨城大学学位規則（以下「学位規則」という。）及び茨城大学大学院人文社会科学研究科規定（以下「人文社会科学研究科規定」という。）に定めるもののほか、この要項の定めるところによる。

2. 学位論文

1) 論文の提出資格

修士課程修了見込みの者。

2) 論文の提出期限

12月20日（9月修了予定の者については、7月20日）の16時00分までとする。
なお、当日が休日に当たる場合には、その日以降の最初の平日とする。

3) 論文の提出部数

1篇3部とする。（正本1部、副本2部）

4) 論文の提出方法

論文は完成原稿を論文要旨（2,000字以内）とともに製本し、論文審査願を添付し、正研究指導教員の承認を得て、学務係を通じて人文社会科学研究科長に提出する。

5) 論文審査会

学位規則第12条の規定に基づき、正研究指導教員を主査とし、学位論文の内容に特に関係のある本研究科担当教員のうちから2名を副査として審査会を構成し、論文の審査に当たる。

ただし、特段の事情があるときは、上記3名の他に本学の他の研究科等又は他大学等の大学院若しくは研究所等の教員等を副査として審査会に加えることができる。

6) 論文の取り下げ

一旦受理した論文の取り下げは、認めないものとする。

3. 最終試験

最終試験は、学位規則第14条の規定に基づき、実施するものとする。

4. 学位論文の審査及び最終試験の期日

論文の審査及び最終試験は、2月20日（9月修了者については8月末日）までに終了し、審査会は、その結果を「学位論文審査及び最終試験結果報告」をもって人文社会科学研究科委員会に報告しなければならない。

5. 学位論文の保管

論文の正本は人文社会科学研究科長が保管する。

6. その他

この要項によりがたいときは、その都度、人文社会科学研究科委員会において決定する。

学位論文審査基準・最終試験実施要領

平成 19 年 1 月 17 日研究科委員会承認

平成 24 年 6 月 20 日研究科委員会改訂

(1) 【学位論文審査基準】

- ①先行研究の整理と問題設定は適切になされているか。
- ②章立てを含めた論述の流れは適切であるか。
- ③研究方法の選択・実行は適切になされているか。
- ④注や図表処理等も含めて、論述が的確でかつ分量的にも適切であるか。
- ⑤設定した問題の解明は的確・適切になされているか。

上記①～⑤それぞれについて、

十分満たされている	=2 点
ある程度満たされている	=1 点
満たされていない	=0 点

合計 10 点満点で、

8 点以上（優れた修士論文である）	=A
7～6 点（おおむね良好な修士論文である）	=B
5 点（いくつかの問題はあるが、修士論文として認定しうる）	=C
4 点以下（修士論文としての水準に達していない）	=D
但し、上記①～⑤のいずれかが 0 点	=D

(2) 【最終試験実施要領】

- ①提出された修士論文の内容についての質疑応答。
- ②論文作成にあたってどのような研究を行ったかについての質疑応答。
- ③研究成果のさらなる発展可能性についての質疑応答。

上記①～③を踏まえ、以下のように総合的に 10 点満点で判定する。

- ・優れた研究が行われ、独力でのさらなる研究の発展が期待できる
=A（8 点以上）
- ・おおむね良好な研究が行われたと認められる
=B（7～6 点）
- ・不十分な点があるが、一定程度の研究が行われたと認められる
=C（5 点）
- ・適切な研究が行われたとはいえない
=D（4 点以下）

論文審査と最終試験のいずれかまたは両者が D であれば、不合格とする。

「特定の課題についての研究の成果の審査」について

全コース（ただし、地域政策研究（社会人）コースを除く）対象

令和3年6月16日人文社会科学研究科委員会決定

茨城大学大学院人文社会科学研究科規程第12条第3項に定める「特定の課題についての研究の成果の審査」については、以下のように定める。

1. 「特定の課題についての研究の成果」は以下のいずれかとする。
 - ①映像作品
 - ②ソフトウェアの開発
 - ③行政機関または地域社会との協同企画ないし共同研究
 - ④その他、大学院専門委員会が認めるもの
2. 「特定の課題についての研究の成果」を学位論文に代えて提出する場合には、あらかじめ当該年度の4月末日（9月修了の場合も同様に修了年度の4月末日）までに申請者は学務グループから「特定の課題についての研究の成果提出 申告票」を受け取り、指導教員の署名をもらって、専攻長に提出をする。その後、専攻長が文書によって大学院専門委員会へその旨を届け出て、同委員会の承認を得る。学生は、「特定の課題についての研究の成果」を12月20日（9月修了予定の者については、7月20日）までに学務グループを通じて人文社会科学研究科長に提出する。
3. 学生は「特定の課題についての研究の成果」と併せて、その目的・方法・分担・プロセス・結果等を明確かつ詳細に記した報告書を提出する。
4. 「特定の課題についての研究の成果の審査」は、上記1「特定の課題についての研究の成果」および上記3の報告書を基に行う。
5. 「特定の課題についての研究の成果の審査」は、人文社会科学研究科学位論文審査基準に準じて行う。ただし、「先行研究の整理」が適切になされているかどうかは問わない。代わって以下の点を重視する。
 - ①「特定の課題についての研究の成果」の独自性
 - ②報告書の内容が的確な考察に基づいていること
6. 最終試験は、人文社会科学研究科最終試験実施要領に準じて行う。

附則

この決定は、令和3年度入学生より適用する。

「特定の課題についての研究の成果の審査」について

社会科学専攻地域政策研究（社会人）コース対象

令和3年6月16日人文社会科学研究科委員会決定

茨城大学大学院人文社会科学研究科規程第12条第3項に定める「特定の課題についての研究の成果の審査」については、以下のように定める。

1. 「特定の課題についての研究の成果」は以下のいずれかとする。
 - ①映像作品
 - ②ソフトウェアの開発
 - ③行政機関または地域社会との協同企画ないし共同研究
 - ④その他、大学院専門委員会が認めるもの
2. 「特定の課題についての研究の成果」を学位論文に代えて提出する場合には、あらかじめ当該年度の9月末日（9月修了予定の者については、4月末日）までに、申請者は学務グループから「特定の課題についての研究の成果提出 申告票」を受け取り、指導教員の署名をもらって、専攻長に提出をする。その後、専攻長が文書によって大学院専門委員会へその旨を届け出て、同委員会の承認を得る。学生は、「特定の課題についての研究の成果」を1月末日（9月修了予定の者については、7月20日）までに学務グループを通じて人文社会科学研究科長に提出する。
3. 学生は「特定の課題についての研究の成果」と併せて、その目的・方法・分担・プロセス・結果等を明確かつ詳細に記した報告書を提出する。
4. 「特定の課題についての研究の成果の審査」は、上記1「特定の課題についての研究の成果」および上記3の報告書を基に行う。
5. 「特定の課題についての研究の成果の審査」は、人文社会科学研究科学位論文審査基準に準じて行う。ただし、「先行研究の整理」が適切になされているかどうかは問わない。代わって以下の点を重視する。
 - ①「特定の課題についての研究の成果」の独自性
 - ②報告書の内容が的確な考察に基づいていること
6. 最終試験は、人文社会科学研究科最終試験実施要領に準じて行う。

附則

この決定は、令和3年度入学生より適用する。

教育職員免許について

本研究科において、修了資格を得た者で、免許教科に応じた「教科に関する科目」から24単位以上修得した者は、以下の専修免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を得ることができる。ただし、専修免許状の授与資格を得ることができる者は、すでに当該免許の一種免許状を授与されている者（授与資格を得ている者を含む。）に限られる。

専攻	免許状の種類	免許教科
人文科学	中学校教諭専修免許状	社会
	高等学校教諭専修免許状	地理歴史
		公民
	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	国語
		英語
社会科学	中学校教諭専修免許状	社会
	高等学校教諭専修免許状	公民

※免許の履修モデルについては、本便覧の諸規則をご確認ください。

Ⅲ 授 業 科 目

大 学 院 共 通 科 目

【大学院共通科目】

開講学期	開講時期	授業科目名		担当教員名	単位	開講曜日・講時等	開講担当研究科	開講キャンパス	※開講(受講)教室等	摘要	
		令和2年度以降入学者	令和元年度以前入学者								
前学期	1 Q	I	アカデミックプレゼンテーション (KM-ENG-6)	学術英会話 I ※1 (MK121)	若松 弘子(非)	1	金2	人文	水戸	人文	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施 他キャンパス学生も受講可
		I	国際コミュニケーション基礎A (KM-COM-6)	国際コミュニケーション基礎A ※1	田嶋 美砂子	1	月2	理工(日立)	日立	E1棟41番	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施 ・教務情報ポータルシステムでの履修登録不可 ・履修希望者は別途申請が必要
		I	国際コミュニケーション基礎A (KM-COM-6)	国際コミュニケーション基礎A ※1	田嶋 美砂子	1	水2	理工(日立)	日立	E1棟24番	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施 ・教務情報ポータルシステムでの履修登録不可 ・履修希望者は別途申請が必要
		I	国際コミュニケーション基礎A (KM-COM-6)	国際コミュニケーション基礎A ※1	柿原 敦子(非)	1	月2	理工(日立)	日立	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施 ・教務情報ポータルシステムでの履修登録不可 ・履修希望者は別途申請が必要
		I	実践国際コミュニケーションA (KM-COM-6)	実践国際コミュニケーションA ※1	フィダルゴ・ジーナ(非)	1	水4	理工(日立)	日立	E1棟44番	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施 ・教務情報ポータルシステムでの履修登録不可 ・履修希望者は別途申請が必要
		II	地球環境システム論 I (KM-INS-6-SEP)	地球環境システム論 I	横木 裕宗 北 和之	1	月1	理工(日立)	水戸	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施
		II	持続社会システム論 I (KM-MUL-6-SEP)	持続社会システム論 II (MK222)	田村 誠 小寺 昭彦	1	金1	人文	水戸	GLEC講義室	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施
	2 Q	I	アカデミックディスカッション (KM-ENG-6)	学術英会話 II ※1 (MK122)	若松 弘子(非)	1	金2	人文	水戸	人文	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施 他キャンパス学生も受講可
		I	国際コミュニケーション基礎B (KM-COM-6)	国際コミュニケーション基礎B ※1	田嶋 美砂子	1	月2	理工(日立)	日立	E1棟41番	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施 ・教務情報ポータルシステムでの履修登録不可 ・履修希望者は別途申請が必要
		I	国際コミュニケーション基礎B (KM-COM-6)	国際コミュニケーション基礎B ※1	田嶋 美砂子	1	水2	理工(日立)	日立	E1棟42番	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施 ・教務情報ポータルシステムでの履修登録不可 ・履修希望者は別途申請が必要
		I	国際コミュニケーション基礎B (KM-COM-6)	国際コミュニケーション基礎B ※1	柿原 敦子(非)	1	月2	理工(日立)	日立	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施 ・教務情報ポータルシステムでの履修登録不可 ・履修希望者は別途申請が必要
		I	実践国際コミュニケーションB (KM-COM-6)	実践国際コミュニケーションB ※1	フィダルゴ・ジーナ(非)	1	水4	理工(日立)	日立	E1棟44番	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施 ・教務情報ポータルシステムでの履修登録不可 ・履修希望者は別途申請が必要
		II	人間システム基礎論 II (KM-INS-6-SEP)	人間システム基礎論 II	佐藤 邦政	1	月1	教育	水戸	GLEC講義室	対面授業
	夏季集中	I	学術情報リテラシー (KM-FOI-6)	学術情報リテラシー	羽瀨 裕真	1	集中	理工(日立)	水戸	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施
未定	I	科学と倫理 (KM-SHS-6)	科学と倫理	近江谷 克裕(非)	2	集中	理工(水戸)	水戸	理学	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施予定 →担当者変更により変更の可能性あり	
夏季集中	I	原子科学と倫理 (KM-ETH-6)	原子科学と倫理	田中 伸厚(非) 関東 康祐(非) 大場 恭子(非) 二川 正敏(非) 濱田 一弥(非)	1	集中	理工(日立)	日立	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施	
	I	バイオテクノロジーと社会 (KM-INS-6)	バイオテクノロジーと社会	中平 洋一 古谷 綾子	1	集中	農	阿見	GLEC講義室	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施 Teamsコードについては教務情報ポータルシステムの講義資料を参照 初回授業を後半の53分のみ実施し、最終回を105分授業とする	

【大学院共通科目】

開講学期	開講時期	科目群	授業科目名		担当教員名	単位	開講曜日・講時等	開講担当研究科	開講キャンパス	※開講(受講)教室等	摘要
			令和2年度以降入学者	令和元年度以前入学者							
後学期	3Q	I	環境情報センシング特論 (KM-HUI-6)	環境情報センシング特論 ※2	湊 淳	1	水2	理工(日立)	日立	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施
	未定	II	地球環境システム論II (KM-SED-6-SEP)	地球環境システム論II	岡田 誠 都築 洋一	1	未定	理工(水戸)	水戸	GLEC講義室	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施予定 →担当者変更により変更の可能性あり
	3Q	II	人間システム基礎論I (KM-MUL-6-SEP)	人間システム基礎論I	伊藤 哲司 富江 直子 葉 侑瑋 井上 淳生	1	水1	人文	水戸	GLEC講義室	Microsoft Teamsを用いた遠隔授業を実施
		II	持続社会システム論II (KM-SED-6-SEP)	持続社会システム論I (MK221)	内田 晋 北嶋 康樹 長澤 一浩 伊丹 島田 敏(非)	1	月1	農	阿見	GLEC講義室	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施
		I	知的所有権特論(日本弁理士会関東会寄附講座「特別大学支援プログラム」)(KM-INS-6)	知的所有権特論(日本弁理士会関東会寄附講座「特別大学支援プログラム」)	百武 幸子(非) 酒井 宗寿	1	火4	理工(日立)	日立	E1棟41番	Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施
後学期集中	I	Science of Food ~ Function, Processing, Safety~ (食品の科学 ~機能、加工、安全~) (KM-AGC-6)		白岩 雅和 長南 茂 上妻 由章 鈴木 穂高 中村 彰宏 宮口 右二	1	集中	農	阿見	203	・英語開講 ・Microsoft Teamsを用いて遠隔授業を実施。Teamsコードについては教務情報ポータルシステムの講義資料を参照	
	II	地域サステナビリティ農学概論 (KM-BOA-6)	地域サステナビリティ農学概論	小松崎 将一 成澤 才彦 未定(非)	1	集中	農	阿見	GLEC講義室	英語開講 遠隔授業	

科目群欄に「I」とあるものは、横断型基礎科目を、「II」とあるものは、「地域・サステナビリティ科目」を意味する。

※ナンバリングコードにSEPが付されている科目は大学院サステナビリティ学教育プログラムのコア科目

※令和2年度以降入学者は、「令和2年度以降入学者」欄に記載の授業科目を、令和元年度以前入学者は、「令和元年度以前入学者」欄の授業科目を履修登録すること。

令和2年度以降入学者と令和元年度以前入学者で授業科目名が異なる場合のみ、「令和元年度以前入学者」欄に(MK〇〇〇)が記載されているので、令和元年度以前入学者はそのコードの付された授業科目を履修登録すること。(MK〇〇〇)の記載のない科目については、シラバスコード欄記載のコードの付された授業科目を履修登録すること。

※1...令和元年度以前入学者は、アカデミックプレゼンテーションは「学術英会話Ⅰ」で、アカデミックディスカッションは「学術英会話Ⅱ」で履修登録すること。

※水戸地区開講場所:
GLEC講義室:環境リサーチラボ1F 棟1F室
MM1:理学部5棟1Fマルチメディア教室
人文:人文A棟2階219教室
教育:教育B棟312番教室
理学:理G棟1階8番講義室
イノベーション:理K棟1階イノベーション
日立地区開講場所: 情報戦略機構情報処理研修室
阿見地区開講場所: 講義棟203番教室

科目群について:大学院共通科目は、以下の科目群及び授業科目により構成する

I:横断型基礎科目
専門性を究め、活用するに当たり身につけておくべき論理性や批判的思考力、コミュニケーション能力といった普遍的なスキル、リテラシー、基礎知識を身につける。学会発表やディスカッションのための英語科目、研究倫理、知的財産、AI、データサイエンス等の高度専門職業人として有すべき幅広い教養を涵養する科目を配置する。

II:地域・サステナビリティ科目
多様化する社会や環境において、地域及びグローバルな視点を育みつつ、自ら課題を発見し、幅広い知見により検証、仮説を構築し、それを応用できる力を備え、広い視野のもと持続可能な社会づくりを先導する力を培う。地球環境や地域変動、人間社会、またSDGsやSociety5.0といった持続可能な社会形成等に関わる分野横断的な科目(サステナビリティ教育プログラムに関する科目を含む。)を配置する。

【大学院共通重点科目】

開講学期	開講時期	プログラム名	授業科目名	担当教員名	単位	開講曜日・講時等	開講担当研究科	開講キャンパス	※開講(受講)教室等	摘要
未定	未定	サステイナビリティ学教育プログラム	Climate change and sustainability science(KM-INS-6-SEP)	三村 信男(非) 安原 一哉(非)	1	未定	理工(日立) GLEC	水戸	未定	Japan Virtual Campus(JV-Campus)を用いて遠隔授業を実施
未定	未定	サステイナビリティ学教育プログラム	Changing atmosphere and climate change(KM-INS-6-SEP)	北 和之 若月 泰孝	1	未定	理工(水戸)	水戸	未定	Japan Virtual Campus(JV-Campus)を用いて遠隔授業を実施
未定	未定	サステイナビリティ学教育プログラム	Mitigation strategy for climate change(KM-INS-6-SEP)	田中 光太郎 田村 誠 古關 憲一 他	1	未定	理工(日立) GLEC CRERC	水戸	未定	Japan Virtual Campus(JV-Campus)を用いて遠隔授業を実施
未定	未定	サステイナビリティ学教育プログラム	Adaptation strategy to climate change(KM-INS-6-SEP)	田村 誠 小寺 昭彦 横木 裕宗	1	未定	理工(日立) 農 GLEC	水戸	未定	Japan Virtual Campus(JV-Campus)を用いて遠隔授業を実施
未定	未定	サステイナビリティ学教育プログラム	Climate policy, SDGs and social resilience(KM-INS-6-SEP)	蓮井 誠一郎 伊藤 哲司	1	未定	人文	水戸	未定	Japan Virtual Campus(JV-Campus)を用いて遠隔授業を実施

【大学院共通教育プログラム】

開講学期	開講時期	プログラム名	授業科目名	担当教員名	単位	開講曜日・講時等	開講担当研究科	開講キャンパス	※開講(受講)教室等	摘要
前学期	前学期	サステナビリティ学教育プログラム	サステナビリティ学最前線 (KM-INS-6-SEP)	田村誠 小寺昭彦 森下哲(非)	2	集中	GLEC	水戸	GLEC講義室	SSC共同教育プログラム必修科目 Zoomを用いて遠隔授業を実施
		サステナビリティ学教育プログラム	ファンリテーション能力開発演習 I (KM-INS-6-SEP)	伊藤哲司 他	1	集中	GLEC	水戸	未定	対面授業
		サステナビリティ学教育プログラム	ファンリテーション能力開発演習 II (KM-INS-6-SEP)		1	休講	GLEC			
	夏季集中	サステナビリティ学教育プログラム	国内実践教育演習 (KM-INS-6-SEP)	小寺昭彦 田村誠 伊藤哲司 蓮井誠一郎	2	集中	GLEC	水戸	……	対面授業
通年	通年	サステナビリティ学教育プログラム	国際実践教育演習 (KM-INS-6-SEP)	田村誠 小寺昭彦 蓮井誠一郎	2	集中	GLEC	水戸	……	対面授業

※水戸地区開講場所：GLEC講義室：環境リサーチラボラトリー棟1F室

※20LM以前及び24LM以降の学生は、プログラム対象科目となるが、大学院共通科目には含まれない。

※21LM、22LM、23LMの学生は、プログラム対象かつ大学院共通科目に含まれる。

Ⅲ 授 業 科 目

共通科目

【研究科共通科目】

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科目 は担当教員の 研究室	ディプロマ・ポリシー					教育プログラム		教科に關 する科目 (中学)	教科に關す る科目 (高校)
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創	サステイナ ビリティ		
研究科共通科目															
L MUL 6	テクノロジーと人間社会	専門委員	1	1 Q	水・3	人文14	◎	○	○	△	-			-----	-----
L MUL 6	ダイバーシティ地域共創概論	長田華子 他	1	1 Q	水・2	人文27	◎	○	○	◎	◎	コア科目		-----	-----
L MUL 6	ダイバーシティ地域共創最前線	笹野 美佐恵 他	1	2 Q	水・2	人文27	◎	○	○	◎	◎	コア科目		-----	-----
研究科共通科目															
L SMI 6	専門基礎科目	伊藤 聡	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	田原 彰太郎	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	櫻井 豪人	1	前期隔週	水・2		◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	堀口 育男	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	谷口 基	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	井澤 耕一	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	西野 由希子	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	藤原 貞朗	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	岡崎 正男	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	西山 國雄	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	田中 裕	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	鈴木 敦	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	高橋 修	1	2 Q	金・1		◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	添田 仁	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	澁谷 浩一	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	山田 桂子	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	中田 潤	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	森下 嘉之	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	宮崎 章夫	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	本山 宏希	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	石井 宏典	1	前期隔週	火・2		◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	松本 光太郎	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	青山 和夫	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	井上 淳生	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	野口 康彦	1	2 Q	月・5		◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	金丸 隆太	1	2 Q	月・3		◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	大島 聖美	1	2 Q	火・5		◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	地井 和也	1	2 Q	金・2		◎	-	-	○	-			-----	-----

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科目 は担当教員の 研究室	ディプロマ・ポリシー					教育プログラム		教科に関 する科目 (中学)	教科に関す る科目 (高校)
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創	サステイナ ビリティ		
							◎	-	-	○	-				
L SMI 6	専門基礎科目	齋藤 義彦	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	猪俣 紀子	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	菅谷 克行	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	高野 光平	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	鈴木 栄幸	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	加藤 篤志	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	林 延哉	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	横溝 環	1	前期隔週	水・5		◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	野田 真里	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	伊藤 哲司	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	加藤 敏弘	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	蓮井 誠一郎	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	馬渡 剛	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	葉 侑瑋	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	松尾 卓磨	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	星 純子	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	原口 弥生	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	富江 直子	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	寺地 幹人	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	小原 規宏	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	笹野 美佐恵	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	田村 誠	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	伊藤 純子	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	高橋 大輔	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	福田 智子	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	陶山 二郎	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	荒木 雅也	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	松井 良和	1	前期	火・1		◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	土屋 和子	1	前期隔週	金・3		◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	今川 奈緒	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	古屋 等	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	付 月	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	井上 拓也	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	上田 悠久	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	田中 泉	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	後藤 玲子	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	掛貝 祐太	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	内田 聡	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	清山 玲	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	今村 一真	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	田原 静	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	太田 啓文	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	長田 華子	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----
L SMI 6	専門基礎科目	宮崎 忠恒	1	休講			◎	-	-	○	-			-----	-----

【キャリア支援科目】

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※定簿の科目 は担当教員の 研究室	ディプロマ・ポリシー					教育プログラム		教科に關 する科目 (中学)	教科に關す る科目(高 校)
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創	サステイナ ビリティ		
外国語															
L ENG 6	英語講読Ⅰ	岩本 浩樹	2	後期	火・5		○	○	◎	-	-			英語	英語
L ENG 6	英語講読Ⅱ	岡崎 正男	2	休講			○	○	◎	-	-			英語	英語
L ENG 6	英文修辭法Ⅰ	中山 大輝	2	休講			○	○	◎	-	-			英語	英語
L ENG 6	英文修辭法Ⅱ	岩本 浩樹	2	休講			○	○	◎	-	-			英語	英語
L ENG 6	英語音声表現演習Ⅰ	岡崎 正男	2	前期	水・1		○	○	◎	-	-			英語	英語
L ENG 6	英語音声表現演習Ⅱ	中山 大輝	2	前期	木・4		○	○	◎	-	-			英語	英語
日本語															
L JPN 6	日本語表現法 ※修了要件外	安 龍洙	2	前期	月・2	共通210	○	-	◎	-	-			-----	-----
インターンシップ															
L SMI 9	実践演習Ⅰ	宮崎 忠恒 他	2	通年	集中		◎	○	○	◎	◎	コア科目		-----	-----
L SMI 9	実践演習Ⅱ	原口 弥生 他	2	通年	集中		◎	○	◎	◎	◎	コア科目		-----	-----
L SMI 9	実践演習Ⅲ	宮崎 忠恒 他	2	通年	集中		◎	○	○	◎	◎	コア科目		-----	-----
L MUL 1	実践的キャリアデザイン論	松島 明美	2	前期	月・2		○	-	-	◎	◎			-----	-----
高度情報処理															
L ICT 1	高度情報処理	細谷 幸男	2	前期	金・4	A219	○	-	-	-	-			-----	-----

専攻科目（人文科学専攻）

※注：①～③は、ダイバーシティ地域共創教育プログラムのプログラム指定科目（専門科目）の各系統を表しています。

①：ダイバーシティ&インクルージョン系、②：地域経済と価値共創系、③：メディア戦略とコミュニケーション系

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科目は担当教員の研究室	ディプロマ・ポリシー					教育プログラム		教科に関する科目（中学）	教科に関する科目（高校）
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ		
研究指導科目															
L SMI 7	専門基礎演習	伊藤 聡	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		田原 彰太郎	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		櫻井 豪人	2	後期	水・1		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		堀口 育男	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		谷口 基	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		井澤 耕一	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		西野 由希子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		藤原 貞朗	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		岡崎 正男	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		西山 國雄	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		田中 裕	2	後期	未定		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		高橋 修	2	後期	未定		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		添田 仁	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		澁谷 浩一	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		山田 桂子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		中田 潤	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		森下 嘉之	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		宮崎 章夫	2	後期	未定		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		本山 宏希	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		石井 宏典	2	後期	木・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		松本 光太郎	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		青山 和夫	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		井上 淳生	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		野口 康彦	2	後期	月・5		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		金丸 隆太	2	後期	月・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		大島 聖美	2	後期	火・5		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		地井 和也	2	後期	金・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
研究指導科目															
研究法															
L RES 7	人文科学研究法	専門委員	2	前期	水・4	人文14	◎	-	-	-	-			-----	-----

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科 目は担当教 員の研究室	ディプロマ・ ポリシー					教育プログラム		教科に關す る科目(中 学)	教科に關 する科目 (高校)
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ		
コア専門科目	【文芸・思想コース】														
L RES 7	日本思想史研究 I	伊藤 聡	2	前期	火・4		◎	◎	-	-	-	①		社会	公民
L RES 7	日本思想史研究 II	伊藤 聡	2	休講			◎	◎	-	-	-			社会	公民
L SMI 7	日本思想史演習 I	伊藤 聡	2	後期	火・4		◎	◎	-	-	-	①		社会	公民
L SMI 7	日本思想史演習 II	伊藤 聡	2	休講			◎	◎	-	-	-			社会	公民
L RES 7	実践哲学研究 I	田原 彰太郎	2	休講			◎	◎	○	-	-			社会	公民
L RES 7	実践哲学研究 II	田原 彰太郎	2	前期	金・2		◎	◎	○	-	-			社会	公民
L RES 7	実践哲学演習 I	田原 彰太郎	2	休講			◎	◎	○	-	-			社会	公民
L RES 7	実践哲学演習 II	田原 彰太郎	2	後期	金・2		◎	◎	○	-	-			社会	公民
L RES 7	日本古典・近代語研究 I	櫻井 豪人	2	後期	月・5		◎	◎	-	-	-			国語	国語
L RES 7	日本古典・近代語研究 II	櫻井 豪人	2	休講			◎	◎	-	-	-			国語	国語
L RES 7	日本古典・近代語演習 I	櫻井 豪人	2	後期	月・2		◎	◎	-	-	-			国語	国語
L RES 7	日本古典・近代語演習 II	櫻井 豪人	2	休講			◎	◎	-	-	-			国語	国語
L RES 7	日本古典文学研究 I	堀口 育男	2	前期	月・4	A212	◎	◎	-	○	-	①		国語	国語
L RES 7	日本古典文学研究 II	堀口 育男	2	休講			◎	◎	-	○	-	①		国語	国語
L RES 7	日本古典文学演習 I	堀口 育男	2	後期	月・4	A212	◎	◎	-	○	-			国語	国語
L RES 7	日本古典文学演習 II	堀口 育男	2	休講			◎	◎	-	○	-			国語	国語
L RES 7	日本近代文学研究 I	谷口 基	2	前期	木・3		◎	-	-	◎	-			国語	国語
L RES 7	日本近代文学研究 II	谷口 基	2	休講			◎	-	-	◎	-			国語	国語
L RES 7	日本近代文学演習 I	谷口 基	2	後期	金・5		◎	-	-	◎	-			国語	国語
L RES 7	日本近代文学演習 II	谷口 基	2	休講			◎	-	-	◎	-			国語	国語
L RES 7	中国思想史研究 I	井澤 耕一	2	前期	火・4		◎	◎	-	-	-			国語	国語
L RES 7	中国思想史研究 II	井澤 耕一	2	休講			◎	◎	-	-	-			国語	国語
L SMI 7	中国思想史演習 I	井澤 耕一	2	休講			◎	◎	-	-	-			国語	国語
L SMI 7	中国思想史演習 II	井澤 耕一	2	後期	火・4		◎	◎	-	-	-			国語	国語
L RES 7	中国近現代文学研究 I	西野 由希子	2	後期	木・4		◎	◎	○	-	-			国語	国語
L RES 7	中国近現代文学研究 II	西野 由希子	2	休講			◎	◎	○	-	-			国語	国語
L SMI 7	中国近現代文学演習 I	西野 由希子	2	休講			◎	◎	○	-	-	①		国語	国語
L SMI 7	中国近現代文学演習 II	西野 由希子	2	前期	木・4	A205	◎	◎	○	-	-	①		国語	国語
L RES 7	フランス文学研究 I	未定	2	休講			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L RES 7	フランス文学研究 II	未定	2	休講			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L SMI 7	フランス文学演習 I	未定	2	休講			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L SMI 7	フランス文学演習 II	未定	2	休講			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L SMI 7	美術史学研究 I	藤原 貞朗	2	休講			◎	◎	-	-	○			-----	-----
L SMI 7	美術史学研究 II	藤原 貞朗	2	前期	火・5		◎	◎	-	-	○			-----	-----
L SMI 7	フランス美術史研究 I	藤原 貞朗	2	休講			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L SMI 7	フランス美術史研究 II	藤原 貞朗	2	後期	火・5		◎	◎	○	-	-			-----	-----
L SMI 7	英語学研究 I	岡崎 正男	2	後期	火・3		◎	◎	-	-	-			英語	英語
L SMI 7	英語学研究 II	岡崎 正男	2	休講			◎	◎	-	-	-			英語	英語
L SMI 7	英語学演習 I	岡崎 正男	2	前期	木・3		◎	◎	-	-	-			英語	英語
L SMI 7	英語学演習 II	岡崎 正男	2	後期	木・3		◎	◎	-	-	-			英語	英語
L SMI 7	イギリス文学研究 I	岩本 浩樹	2	前期	火・4		◎	◎	○	○	-			英語	英語
L SMI 7	イギリス文学研究 II	岩本 浩樹	2	休講			◎	◎	○	○	-			英語	英語
L SMI 7	イギリス文学演習 I	岩本 浩樹	2	前期	木・5		◎	◎	○	○	-			英語	英語
L SMI 7	イギリス文学演習 II	岩本 浩樹	2	後期	木・5		◎	◎	○	○	-			英語	英語
L RES 7	アメリカ文学研究 I	中山 大輝	2	前期	水・5		◎	◎	-	-	-			英語	英語
L RES 7	アメリカ文学研究 II	中山 大輝	2	休講			◎	◎	-	-	-			英語	英語
L RES 7	アメリカ文学演習 I	中山 大輝	2	前期	月・5		◎	◎	○	-	-			英語	英語
L RES 7	アメリカ文学演習 II	中山 大輝	2	後期	月・5		◎	◎	○	-	-			英語	英語

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科 目は担当教 員の研究室	ディプロマ・ ポリシー					教育プログラム		教科に關す る科目(中 学)	教科に關 する科目 (高校)
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ		
							◎	○	△	○	◎				
L RES 7	応用言語学研究 I	未定	2	休講			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L RES 7	応用言語学研究 II	未定	2	休講			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L RES 7	応用言語学演習 I	未定	2	休講			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L RES 7	応用言語学演習 II	未定	2	休講			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L RES 7	言語文法論研究 I	西山 國雄	2	前期	月・3		◎	-	◎	-	-			-----	-----
L RES 7	言語文法論研究 II	西山 國雄	2	後期	月・3		◎	-	◎	-	-			-----	-----
L RES 7	言語文法論演習 I	西山 國雄	2	休講			◎	-	◎	-	-			-----	-----
L RES 7	言語文法論演習 II	西山 國雄	2	休講			◎	-	◎	-	-			-----	-----
L RES 7	社会言語学研究 I	未定	2	休講			◎	-	-	◎	-			-----	-----
L RES 7	社会言語学研究 II	未定	2	休講			◎	◎	-	○	-			-----	-----
L SMI 7	社会言語学演習 I	未定	2	休講			◎	-	-	○	◎			-----	-----
L SMI 7	社会言語学演習 II	未定	2	休講			◎	-	-	○	◎			-----	-----
	【歴史・考古学コース】														
L RES 7	考古学研究 I	田中 裕	2	前期	月・2		◎	○	○	○	◎			社会	地理歴史
L RES 7	考古学研究 II	田中 裕	2	後期	月・2		◎	○	○	○	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本考古学研究 I	田中 裕	2	休講			◎	◎	-	○	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本考古学研究 II	田中 裕	2	休講			◎	○	-	○	◎			社会	地理歴史
L RES 7	中国考古文化研究 I	未定	2	休講			◎	○	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	中国考古文化研究 II	未定	2	休講			◎	○	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	中国考古学研究 I	未定	2	休講			◎	○	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	中国考古学研究 II	未定	2	休講			◎	○	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	日本文化史研究 I	高橋 修	2	前期	金・5		◎	-	-	○	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本文化史研究 II	高橋 修	2	休講			◎	-	-	○	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本古代中世史研究 I	高橋 修	2	休講			◎	△	-	○	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本古代中世史研究 II	高橋 修	2	後期	月・3		◎	-	-	○	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本政治史研究 I	添田 仁	2	休講			◎	-	-	-	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本政治史研究 II	添田 仁	2	休講			◎	◎	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	日本近世史研究 I	添田 仁	2	休講			◎	-	-	-	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本近世史研究 II	添田 仁	2	休講			◎	-	-	-	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本社会史研究 I	未定	2	休講			◎	○	-	-	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本社会史研究 II	未定	2	休講			◎	○	-	-	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本近現代史研究 I	未定	2	休講			◎	○	-	-	◎			社会	地理歴史
L RES 7	日本近現代史研究 II	未定	2	休講			◎	○	-	-	◎			社会	地理歴史
L RES 7	ユーラシア歴史文化研究 I	澁谷 浩一	2	前期	水・1		◎	-	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	ユーラシア歴史文化研究 II	澁谷 浩一	2	後期	火・2		◎	-	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	ユーラシア歴史社会研究 I	澁谷 浩一	2	休講			◎	-	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	ユーラシア歴史社会研究 II	澁谷 浩一	2	休講			◎	-	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	アジア歴史文化研究 I	山田 桂子	2	後期	木・4		◎	-	-	-	-	①		社会	地理歴史
L RES 7	アジア歴史文化研究 II	山田 桂子	2	後期	木・5		◎	-	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	アジア歴史社会研究 I	山田 桂子	2	休講			◎	-	-	-	-	①		社会	地理歴史
L RES 7	アジア歴史社会研究 II	山田 桂子	2	休講			◎	-	-	-	-			社会	地理歴史
L RES 7	ヨーロッパ社会史研究 I	中田 潤	2	休講			◎	◎	-	-	○	①		社会	地理歴史
L RES 7	ヨーロッパ社会史研究 II	中田 潤	2	休講			◎	◎	-	-	○	①		社会	地理歴史
L RES 7	ヨーロッパ政治史研究 I	中田 潤	2	前期	火・4		◎	◎	-	-	○	①		社会	地理歴史
L RES 7	ヨーロッパ政治史研究 II	中田 潤	2	後期	木・4		◎	◎	-	-	○	①		社会	地理歴史
L RES 7	ヨーロッパ歴史文化研究 I	森下 嘉之	2	休講			◎	◎	-	○	-	①		社会	地理歴史
L RES 7	ヨーロッパ歴史文化研究 II	森下 嘉之	2	前期	金・4		◎	◎	-	○	-			社会	地理歴史
L RES 7	ヨーロッパ近現代史研究 II	森下 嘉之	2	後期	木・4		◎	◎	-	○	-	①		社会	地理歴史
L RES 7	ヨーロッパ近現代史研究 I	森下 嘉之	2	休講			◎	◎	-	○	-			社会	地理歴史

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科目は担当教員の研究室	ディプロマ・ポリシー					教育プログラム		教科に関する科目(中学)	教科に関する科目(高校)	
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ			
	【心理・人間科学コース】															
L RES 7	行動機構論研究 I	宮崎 章夫	2	休講			◎	○	-	-	◎		①		-----	公民
L RES 7	行動機構論研究 II	宮崎 章夫	2	前期	月・1		◎	○	-	-	◎		①		-----	公民
L RES 7	行動機構論演習 I	宮崎 章夫	2	休講			◎	○	-	-	◎				-----	公民
L RES 7	行動機構論演習 II	宮崎 章夫	2	後期	月・1		◎	○	-	-	◎				-----	公民
L RES 7	認知行動論研究 I	本山 宏希	2	休講	木・2		◎	○	○	-	-				-----	公民
L RES 7	認知行動論研究 II	本山 宏希	2	前期	木・2		◎	○	○	-	-				-----	公民
L RES 7	認知行動論演習 I	本山 宏希	2	休講	木・2		◎	○	○	-	-				-----	公民
L RES 7	認知行動論演習 II	本山 宏希	2	後期	木・2		◎	○	○	-	-				-----	公民
L RES 7	家族心理論研究	野口 康彦	2	後期	木・4		◎	-	-	○	-				-----	公民
L RES 7	行動文化論研究 I	石井 宏典	2	前期	水・2		◎	○	-	-	◎		①		-----	公民
L RES 7	行動文化論研究 II	石井 宏典	2	休講			◎	-	-	-	-		①		-----	公民
L RES 7	行動文化論演習 I	石井 宏典	2	後期	水・2		◎	○	-	-	◎				-----	公民
L RES 7	行動文化論演習 II	石井 宏典	2	休講			◎	-	-	-	-				-----	公民
L RES 7	生涯発達論研究 I	松本 光太郎	2	前期	火・3		◎	○	-	◎	-				-----	公民
L RES 7	生涯発達論研究 II	松本 光太郎	2	休講			◎	○	-	◎	-				-----	公民
L RES 7	生涯発達論演習 I	松本 光太郎	2	後期	火・3		◎	○	-	◎	-				-----	公民
L RES 7	生涯発達論演習 II	松本 光太郎	2	休講			◎	○	-	◎	-				-----	公民
L RES 7	文化人類学研究 I	青山 和夫	2	前期	木・1		◎	◎	○	-	-				-----	-----
L RES 7	文化人類学研究 II	青山 和夫	2	休講			◎	◎	○	-	-				-----	-----
L RES 7	文化人類学演習 I	青山 和夫	2	後期	木・1		◎	◎	○	-	-				-----	-----
L RES 7	文化人類学演習 II	青山 和夫	2	休講			◎	◎	○	-	-				-----	-----
L RES 7	比較文化論研究 I	井上 淳生	2	休講			◎	○	○	-	○		①		-----	-----
L RES 7	比較文化論研究 II	井上 淳生	2	前期	火・1		◎	○	○	-	○		①		-----	-----
L RES 7	比較文化論演習 I	井上 淳生	2	休講			◎	○	○	-	○		①		-----	-----
L RES 7	比較文化論演習 II	井上 淳生	2	後期	火・1		◎	○	○	-	○		①		-----	-----
	【公認心理師コース】															
L RES 7	福祉分野に関する理論と支援の展開	野口 康彦	2	前期	火・5		◎	-	-	△	○		①		-----	公民
L RES 7	教育分野に関する理論と支援の展開	金丸 隆太	2	後期	火・3		◎	-	-	○	○				-----	-----
L RES 7	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	芦澤 政子	2	後期	集中		◎	-	-	○	-				-----	-----
L RES 7	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	松本 桂樹	2	通年	集中		◎	-	-	-	◎				-----	-----
L RES 7	心理的アセスメントに関する理論と実践	金丸・地井	2	前期	集中		◎	-	○	○	-				-----	-----
L RES 7	心理支援に関する理論と実践A	野口・金丸	2	前期	木・4		◎	-	-	-	-				-----	-----
L RES 7	心理支援に関する理論と実践B ※修了要件外	大島・地井	2	後期	火・2		◎	-	-	-	-				-----	-----
L RES 7	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	大島 聖美	2	前期	木・3		◎	-	-	-	○		①		-----	-----
L RES 7	心の健康教育に関する理論と実践	野口康彦 他	2	前期	木・1		◎	-	-	◎	○				-----	-----
L PRA 7	心理実践実習A	地井和也 他	1	前期	集中		◎	-	-	◎	○				-----	-----
L PRA 7	心理実践実習B	地井和也 他	1	後期	集中		◎	-	-	◎	○				-----	-----
L PRA 7	心理実践実習C	金丸隆太 他	1	前期	集中		◎	-	-	◎	○				-----	-----
L PRA 7	心理実践実習D	金丸隆太 他	1	後期	集中		◎	-	-	◎	○				-----	-----
L PRA 7	心理実践実習E	金丸隆太 他	1	前期	集中		◎	-	-	◎	○				-----	-----
L PRA 7	心理実践実習F	金丸隆太 他	1	後期	集中		◎	-	-	◎	○				-----	-----
L RES 7	保健医療分野に関する理論と支援の展開	布施 泰子	2	休講			◎	-	-	○	-				-----	-----
L RES 7	投映法特論 ※修了要件外	大島 聖美	2	通年	集中		◎	-	-	-	-				-----	-----
L RES 7	箱庭療法特論 ※修了要件外	地井 和也	2	通年	集中		◎	-	-	-	-				-----	-----

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科目は担当教員の研究室	ディプロマ・ポリシー					教育プログラム		教科に関する科目(中 学)	教科に関する科目 (高校)
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ		
研究指導科目	課題研究演習 I	伊藤 聡	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		田原 彰太郎	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		櫻井 豪人	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		堀口 育男	2	前期	月・3	A212	◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		谷口 基	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		井澤 耕一	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		西野 由希子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		藤原 貞朗	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		岡崎 正男	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		西山 國雄	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		田中 裕	2	前期	未定		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		高橋 修	2	前期	未定		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		添田 仁	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		澁谷 浩一	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		山田 桂子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		中田 潤	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		森下 嘉之	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		宮崎 章夫	2	前期	木・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		本山 宏希	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		石井 宏典	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		松本 光太郎	2	前期	木・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		青山 和夫	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		井上 淳生	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		野口 康彦	2	前期	木・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		金丸 隆太	2	前期	月・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		大島 聖美	2	前期	火・5		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7	地井 和也	2	前期	金・2		◎	-	-	-	-			-----	-----	

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科目は担当教員の研究室	ディプロマ・ポリシー					教育プログラム		教科に関する科目(中学)	教科に関する科目(高校)	
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ			
L RES 7	課題研究演習Ⅱ	伊藤 聡	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		田原 彰太郎	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		櫻井 豪人	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		堀口 育男	2	後期	月・3	A212		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		谷口 基	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		井澤 耕一	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		西野 由希子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		藤原 貞朗	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		岡崎 正男	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		西山 國雄	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		田中 裕	2	後期	未定			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		高橋 修	2	後期	未定			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		添田 仁	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		澁谷 浩一	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		山田 桂子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		中田 潤	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		森下 嘉之	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		宮崎 章夫	2	後期	火・2			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		本山 宏希	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		石井 宏典	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		松本 光太郎	2	後期	木・3			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		青山 和夫	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		井上 淳生	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		野口 康彦	2	後期	木・3			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		金丸 隆太	2	後期	月・3			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		大島 聖美	2	後期	火・5			◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7	地井 和也	2	後期	金・2			◎	-	-	-	-			-----	-----	

専攻科目（社会科学専攻）

※注：①～③は、ダイバーシティ地域共創教育プログラムのプログラム指定科目（専門科目）の各系統を表しています。

①：ダイバーシティ&インクルージョン系、②：地域経済と価値共創系、③：メディア戦略とコミュニケーション系

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科 目は担当教 員の研究室	ダイバーシ ティ・ホ リシー					教育プログラム		教科に関 する科目 (中学)	教科に関 する科目 (高校)
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ		
研究指導科目	専門基礎演習														
L SMI 7		齋藤 義彦	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		猪俣 紀子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		高野 光平	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		菅谷 克行	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		鈴木 栄幸	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		加藤 篤志	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		林 延哉	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		横溝 環	2	後期	水・5		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		野田 真里	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		伊藤 哲司	2	後期	火・4		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		加藤 敏弘	2	後期	火・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		蓮井 誠一郎	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		馬渡 剛	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		葉 倩璋	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		星 純子	2	後期	未定		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		原口 弥生	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		富江 直子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		寺地 幹人	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		小原 規宏	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		笹野 美佐恵	2	後期	木・5		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		田村 誠	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		伊藤 純子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		高橋 大輔	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		福田 智子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		陶山 二郎	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		荒木 雅也	2	後期	金・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		松井 良和	2	後期	火・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		土屋 和子	2	後期	金・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		今川 奈緒	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		古屋 等	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		付 月	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		井上 拓也	2	後期	未定		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		上田 悠久	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		田中 泉	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		後藤 玲子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		掛貝 祐太	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		内田 聡	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		清山 玲	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		今村 一真	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		田原 静	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		太田 啓文	2	後期	火・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		長田 華子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----
L SMI 7		宮崎 忠恒	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科 目は担当教 員の研究室	ディプロマ・ リシー					教育プログラム		教科に関 する科目 (中学)	教科に関 する科目 (高校)
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリディ		
研究指導科目															
研究法															
L RES 7	社会科学研究法	専門委員	2	前期	水・4	人文27	◎	-	-	-	-			-----	-----
コア専門科目	【メディア・情報社会コース】														
L RES 7	現代ジャーナリズム研究	齋藤 義彦	2	前期	水・2		◎	-	-	○	-			-----	-----
L RES 7	マスコミ研究	齋藤 義彦	2	後期	水・6		◎	-	-	○	-			-----	-----
L RES 7	ポピュラー文化研究	猪俣 紀子	2	後期	水・2		◎	-	-	○	-			-----	-----
L RES 7	映像メディア研究	未定	2	未定			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L RES 7	メディア文化研究	未定	2	未定			◎	◎	○	-	-			-----	-----
L RES 7	メディア教育論研究	菅谷 克行	2	前期	火・5		◎	○	-	-	-	③		-----	-----
L RES 7	電子メディア論研究	菅谷 克行	2	後期	火・5		◎	○	◎	-	-	③		-----	-----
L RES 7	近代日本メディア史研究	高野 光平	2	後期	木・1		◎	○	-	-	-			-----	-----
L RES 7	映像広告論研究	高野 光平	2	前期	火・1		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7	学習デザイン論研究	鈴木 栄幸	2	前期	火・6		◎	△	○	-	-	③		-----	-----
L RES 7	情報デザイン研究	鈴木 栄幸	2	後期	火・6		◎	○	-	-	-	③		-----	-----
L RES 7	コミュニケーションデータ分析研究	加藤 篤志	2	後期	金・2		◎	○	-	-	-	③		-----	-----
L RES 7	コミュニケーション社会学研究	加藤 篤志	2	前期	金・2		◎	○	-	-	-	③		-----	-----
L RES 7	地域メディア研究	未定	2	休講			◎	-	-	-	○			-----	-----
L RES 7	地域メディア調査研究	未定	2	休講			◎	-	-	-	○			-----	-----
L RES 7	社会臨床研究 I	林 延哉	2	前期	月・6		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7	社会臨床研究 II	林 延哉	2	後期	月・6		◎	-	-	-	-			-----	-----
	【国際・地域共創コース】														
L RES 7	多文化コミュニケーション論研究	横溝 環	2	後期	水・2		◎	○	◎	-	○	①	○	-----	-----
L RES 7	多文化関係学研究	横溝 環	2	前期	木・2		◎	◎	○	○	◎	①		-----	-----
L RES 7 SEP	グローバル化と地域開発研究	野田 真里	2	休講			◎	◎	○	○	◎	②	○	-----	-----
L RES 7 SEP	持続可能な開発とSDGs研究	野田 真里	2	休講			◎	○	○	○	◎	①	○	-----	-----
L RES 7 SEP	社会行動論研究 I	伊藤 哲司	2	休講			◎	○	-	-	○	①	○	-----	公民
L RES 7 SEP	社会行動論研究 II	伊藤 哲司	2	前期	月・4		◎	◎	-	-	-	①	○	-----	公民
L RES 7	社会行動論演習 I	伊藤 哲司	2	休講			◎	◎	○	○	-	①		-----	公民
L RES 7	社会行動論演習 II	伊藤 哲司	2	後期	月・4		◎	○	○	○	-	①		-----	公民
L RES 7	スポーツ社会研究 I	加藤 敏弘	2	前期	火・4		◎	-	-	○	○			-----	-----
L RES 7	スポーツ社会研究 II	加藤 敏弘	2	後期	火・5		◎	-	-	◎	○			-----	-----
L RES 7 SEP	国際政治学研究 I	蓮井 誠一郎	2	休講			◎	◎	○	△	△	①	○	社会	公民
L RES 7 SEP	国際政治学研究 II	蓮井 誠一郎	2	後期	木・4		◎	○	△	-	-	①	○	社会	公民
L RES 7	地方政治論研究 I	馬渡 剛	2	前期	金・2		◎	-	-	-	○	②		社会	-----
L RES 7	地方政治論研究 II	馬渡 剛	2	後期	金・2		◎	-	-	-	○	②		社会	-----
L RES 7	比較政治論研究 I	未定	2	休講			◎	○	-	-	-			-----	-----
L RES 7	比較政治論研究 II	未定	2	休講			◎	○	-	-	-			-----	-----
L RES 7 SEP	社会地理学研究 I	葉 倩瑋	2	前期	水・2		◎	◎	-	-	○	①	○	社会	-----
L RES 7 SEP	社会地理学研究 II	葉 倩瑋	2	休講			◎	◎	-	-	○	①	○	社会	-----
L RES 7	経済地理学研究 I	松尾 卓磨	2	前期	金・1		◎	-	-	-	◎	①		-----	-----
L RES 7	経済地理学研究 II	松尾 卓磨	2	後期	金・1		◎	-	-	-	◎	①		-----	-----
L RES 7	地域社会論研究 I	星 純子	2	前期	火・3		◎	◎	○	-	-	②		社会	公民
L RES 7	地域社会論研究 II	星 純子	2	後期	火・3		◎	◎	○	-	-	②		社会	公民
L RES 7 SEP	環境社会学研究 I	原口 弥生	2	休講			◎	○	-	-	-	②	○	社会	公民
L RES 7 SEP	環境社会学研究 II	原口 弥生	2	前期	火・2		◎	○	-	-	-	②	○	社会	公民

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科 目は担当教 員の研究室	ディプロマ・ リシー					教育プログラム		教科に関 する科目 (中学)	教科に関 する科目 (高校)
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ		
L RES 7	社会事業史研究 I	富江 直子	2	後期	水・2		◎	-	-	-	-	①		社会	-----
L RES 7	社会事業史研究 II	富江 直子	2	休講			◎	-	-	-	-	①		社会	-----
L RES 7	社会調査法研究	寺地 幹人	2	休講			◎	-	-	-	-	③		社会	公民
L RES 7	社会意識論研究	寺地 幹人	2	前期	集中	オンライン	◎	-	-	-	-			社会	公民
L RES 7SEP	地誌学研究 I	小原 規宏	2	前期	金・3		◎	◎	◎	○	◎	①	○	社会	-----
L RES 7SEP	地誌学研究 II	小原 規宏	2	休講			◎	◎	◎	○	◎	①	○	社会	-----
L RES 7SEP	家族社会学研究 I	笹野 美佐恵	2	前期	月・2		◎	-	-	-	◎	①	○	社会	公民
L RES 7SEP	家族社会学研究 II	笹野 美佐恵	2	休講			◎	-	-	-	◎	①	○	社会	公民
L RES 7SEP	環境政策・経済学研究 I	田村 誠	2	前期	金・3		◎	◎	-	-	○	②	○	-----	-----
L RES 7SEP	環境政策・経済学研究 II	田村 誠	2	後期	月・3		◎	◎	-	-	○	②	○	-----	-----
	【法学・行政学コース】														
L RES 7	憲法研究 I	伊藤 純子	2	前期	月・3		◎	-	-	-	-			社会	公民
L RES 7	憲法研究 II	伊藤 純子	2	後期	月・3		◎	-	-	-	-			社会	公民
L RES 7	民法研究 A I	高橋 大輔	2	前期	金・3		◎	-	-	-	-			社会	公民
L RES 7	民法研究 A II	高橋 大輔	2	後期	金・3		◎	-	-	-	-			社会	公民
L RES 7	民法研究 B I	福田 智子	2	前期	水・1		◎	-	-	◎	-			社会	公民
L RES 7	民法研究 B II	福田 智子	2	後期	水・1		◎	-	-	◎	-			社会	公民
L RES 7	刑法研究 I	陶山 二郎	2	前期	木・3		◎	-	-	-	-	①		社会	公民
L RES 7	刑法研究 II	陶山 二郎	2	後期	木・5		◎	-	-	-	-			社会	公民
L RES 7	商法・経済法研究 I	荒木 雅也	2	休講			◎	-	-	-	-	②		社会	公民
L RES 7	商法・経済法研究 II	荒木 雅也	2	休講			◎	△	-	-	-	②		社会	公民
L RES 7	労働法研究 I	松井 良和	2	前期	火・4		◎	○	-	◎	○			社会	公民
L RES 7	労働法研究 II	松井 良和	2	後期	火・4		◎	○	-	◎	○			社会	公民
L RES 7	社会保障法研究 I	土屋 和子	2	前期	金・4		◎	-	-	-	-	①		社会	公民
L RES 7	社会保障法研究 II	土屋 和子	2	後期	金・4		◎	-	-	-	-	①		社会	公民
L RES 7	行政法研究 I	今川 奈緒	2	前期	水・2		◎	-	-	-	-	①		社会	公民
L RES 7	行政法研究 II	今川 奈緒	2	後期	水・2		◎	-	-	-	-	①		社会	公民
L RES 7	比較法研究 I	古屋 等	2	前期	火・4		◎	○	-	-	-			社会	公民
L RES 7	比較法研究 II	古屋 等	2	後期	火・4		◎	○	-	-	-			社会	公民
L RES 7	国際法研究 I	付 月	2	休講			◎	◎	-	-	-	①		社会	公民
L RES 7	国際法研究 II	付 月	2	休講			◎	◎	-	-	-	①		社会	公民
L RES 7	行政学研究 I	未定	2	休講			◎	◎	-	-	○			社会	公民
L RES 7	行政学研究 II	未定	2	休講			◎	◎	-	-	○			社会	公民
L RES 7	公共政策論研究 I	井上 拓也	2	前期	火・4		◎	◎	-	○	◎			社会	-----
L RES 7	公共政策論研究 II	井上 拓也	2	後期	火・4		◎	◎	-	-	◎			社会	-----
L RES 7	公共哲学研究 I	上田 悠久	2	前期	火・3		◎	-	-	-	-			社会	公民
L RES 7	公共哲学研究 II	上田 悠久	2	後期	火・4		◎	-	-	-	-			社会	公民
	【経済学・経営学コース】														
L RES 7	理論経済学研究 I	未定	2	休講			◎	○	-	-	-			-----	-----
L RES 7	理論経済学研究 II	未定	2	休講			◎	◎	-	-	-			-----	-----
L RES 7	経済統計研究 I	田中 泉	2	前期	水・2		◎	-	-	-	◎			社会	公民
L RES 7	経済統計研究 II	田中 泉	2	後期	水・2		◎	-	-	-	◎			社会	公民
L RES 7	経済政策研究 I	後藤 玲子	2	休講			◎	-	-	-	-	②		社会	公民
L RES 7	経済政策研究 II	後藤 玲子	2	後期	水・2	A214	◎	-	-	-	◎	②		社会	公民
L RES 7	財政学研究 I	掛貝 祐太	2	前期	火・3		◎	○	-	-	-			社会	公民
L RES 7	財政学研究 II	掛貝 祐太	2	後期	火・2		◎	○	-	-	-			社会	公民
L RES 7	金融論研究 I	内田 聡	2	前期	木・2		◎	-	-	-	○	②		社会	公民
L RES 7	金融論研究 II	内田 聡	2	前期	木・3		◎	◎	-	-	◎	②		社会	公民

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科目は担当教員の研究室	ディプロマ・ポリシー					教育プログラム		教科に関する科目 (中学)	教科に関する科目 (高校)	
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ			
L RES 7	労働経済論研究 I	清山 玲	2	前期	火・2		◎	○	○	○	○		①		社会	公民
L RES 7	労働経済論研究 II	清山 玲	2	休講			◎	○	○	○	○		①		社会	公民
L RES 7	経営管理論研究 I	未定	2	休講			◎	-	-	-	-				社会	公民
L RES 7	経営管理論研究 II	未定	2	休講			◎	-	-	-	-				社会	公民
L RES 7	マーケティング論研究 I	今村 一真	2	前期	水・5		◎	-	-	-	-				社会	公民
L RES 7	マーケティング論研究 II	今村 一真	2	後期	金・5		◎	-	-	-	-				社会	公民
L RES 7	マーケティング・サイエンス研究	田原 静	2	前期	火・3		◎	-	-	-	-	②			社会	公民
L RES 7	消費者行動論研究	田原 静	2	後期	月・5		◎	-	-	-	-	②			社会	公民
L RES 7	管理会計論研究 I	豊崎 仁美	2	前期	水・2		◎	○	-	-	-				社会	公民
L RES 7	管理会計論研究 II	豊崎 仁美	2	後期	水・2		◎	○	-	-	-				社会	公民
L RES 7	監査論研究 I	未定	2	休講			◎	○	-	-					社会	公民
L RES 7	監査論研究 II	未定	2	休講			◎	○	-	-					社会	公民
L RES 7	経営戦略論研究 I	太田 啓文	2	前期	月・3		◎	○	-	-	-				社会	公民
L RES 7	経営戦略論研究 II	太田 啓文	2	後期	木・5		◎	○	-	-	-				社会	公民
L RES 7 SEP	アジア経済論研究 I	長田 華子	2	後期	月・2		◎	○	-	○	-	①	○	社会	-----	
L RES 7 SEP	アジア経済論研究 II	長田 華子	2	休講			◎	○	-	○	-	①	○	社会	-----	
L RES 7	日本経済史研究 I	宮崎 忠恒	2	休講			◎	○	-	-	-			社会	公民	
L RES 7	日本経済史研究 II	宮崎 忠恒	2	前期	火・3		◎	○	-	-	-			社会	公民	
L RES 7	経営組織論研究	非常勤講師	2	未定			◎	-	-	◎	○			-----	-----	
L RES 7	経営財務論研究	非常勤講師	2	休講			◎	-	-	◎	○			-----	-----	
L RES 7	財務会計論研究	非常勤講師	2	休講			◎	-	-	◎	○			-----	-----	
L RES 7	税務会計論研究	非常勤講師	2	未定			◎	-	-	◎	○			-----	-----	
【地域政策研究（社会人）コース】																
L RES 7	特定テーマ演習	馬渡 剛	2	前期	集中		◎	△	-	○	◎			-----	-----	
L RES 7	地域資源活用研究法	馬渡 剛	2	前期	集中		◎	△	-	○	◎			-----	-----	
L RES 7	地域連携創生研究演習	馬渡 剛 他	4	通年	集中		○	△	△	○	◎			-----	-----	

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科目は担当教員の研究室	ディプロマ・ポリシー					教育プログラム		教科に関する科目 (中学)	教科に関する科目 (高校)	
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ			
研究指導科目	課題研究演習 I	齋藤 義彦	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		猪俣 紀子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		高野 光平	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		菅谷 克行	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		鈴木 栄幸	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		加藤 篤志	2	前期		金・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		林 延哉	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		横溝 環	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		野田 真里	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		伊藤 哲司	2	前期		月・5		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		加藤 敏弘	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		蓮井 誠一郎	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		馬渡 剛	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		葉 侑瑋	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		星 純子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		原口 弥生	2	前期		月・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		富江 直子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		寺地 幹人	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		小原 規宏	2	前期		金・4		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		笹野 美佐恵	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		田村 誠	2	前期		金・4		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		伊藤 純子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		高橋 大輔	2	前期		水・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		福田 智子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		陶山 二郎	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		荒木 雅也	2	前期		金・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		松井 良和	2	前期		火・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		土屋 和子	2	前期		金・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		今川 奈緒	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		古屋 等	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		付 月	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		井上 拓也	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		上田 悠久	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		田中 泉	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		後藤 玲子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		掛貝 祐太	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		内田 聡	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		清山 玲	2	前期		水・5		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		今村 一真	2	前期		月・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		田原 静	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7	太田 啓文	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	長田 華子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	宮崎 忠恒	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	

科目の区分 科目ナンバリング	授業科目名	担当教員	単位	開講区分	曜日 講時	受講場所 ※空欄の科 目は担当教 員の研究室	ディプロマ・ ポリシー					教育プログラム		教科に関 する科目 (中学)	教科に関 する科目 (高校)	
							1	2	3	4	5	ダイバーシティ 地域共創※注	サステイナ ビリティ			
L RES 7	課題研究演習Ⅱ	齋藤 義彦	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		猪俣 紀子	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		高野 光平	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		菅谷 克行	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		鈴木 栄幸	2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7		加藤 篤志	2	後期		金・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		林 延哉	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		横溝 環	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		野田 真里	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		伊藤 哲司	2	後期		月・5		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		加藤 敏弘	2	前期		火・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		蓮井 誠一郎	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		馬渡 剛	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		葉 倩瑋	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		星 純子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		原口 弥生	2	後期		月・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		富江 直子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		寺地 幹人	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		小原 規宏	2	後期		金・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		笹野 美佐恵	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		田村 誠	2	後期		金・4		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		伊藤 純子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		高橋 大輔	2	後期		水・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		福田 智子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		陶山 二郎	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		荒木 雅也	2	後期		金・3		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		松井 良和	2	後期		火・2		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		土屋 和子	2	後期		水・1		◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		今川 奈緒	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		古屋 等	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		付 月	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		井上 拓也	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7		上田 悠久	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----
L RES 7	田中 泉	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	後藤 玲子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	掛貝 祐太	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	内田 聡	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	清山 玲	2	後期		水・5		◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	今村 一真	2	後期		水・5		◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	田原 静	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	太田 啓文	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	長田 華子	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	宮崎 忠恒	2	休講				◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	政策特定課題研究演習		2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	
L RES 7	政策プレゼン研究演習		2	休講			◎	-	-	-	-			-----	-----	

履修モデル

(25LM以降 入学者対象)

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:文芸・思想コース(一般専門教育タイプ)

履修例:日本思想史の研究を専門とする学生が、日本文学や日本文化史についても学び、多角的な観点から日本思想史を捉えることができる能力をもつ人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	日本思想史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本思想史演習Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古典文学研究Ⅰ
コア専門科目			2	日本古典文学演習Ⅰ	
コア専門科目			2	中国思想史研究Ⅰ	
コア専門科目			2	中国思想史演習Ⅱ	
拡充専門科目			2	日本文化史研究Ⅰ	
拡充専門科目			2	日本近世史研究Ⅱ	
2	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	17科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:文芸・思想コース(一般専門教育タイプ)

履修例:日本思想史を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、日本思想史を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習 I
2	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	日本思想史研究 I
		コア専門科目		2	日本思想史演習 I
		コア専門科目		2	日本古典文学研究 I
		コア専門科目		2	日本古典文学研究 II
		コア専門科目		2	中国思想史研究 I
		コア専門科目		2	中国思想史演習 II
		拡充専門科目		2	日本文化史研究 I
		拡充専門科目		2	地方政治論研究 I
		研究指導科目	2		課題研究演習 I
		研究指導科目	2		課題研究演習 II
	合計	18科目		31単位	内、1単位は修了要件外

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:文芸・思想コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例:日本思想史の研究を専門とする学生が、日本文学や中国思想史についても学び、多角的な観点から日本思想史を捉えることができる能力をもつ人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	日本思想史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本思想史演習Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古典文学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古典文学演習Ⅰ
		コア専門科目		2	中国思想史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	中国思想史演習Ⅱ
		コア専門科目		2	美術史研究Ⅱ
コア専門科目			2	実践哲学研究Ⅱ	
2	拡充専門科目		2	日本文化史研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	日本近世史研究Ⅱ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
合計	16科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 文芸・思想コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例: 日本思想史を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、日本思想史を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践演習 I
2	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	日本思想史研究 I
		コア専門科目		2	日本思想史演習 I
		コア専門科目		2	日本古典文学研究 I
		コア専門科目		2	日本古典文学研究 II
		コア専門科目		2	中国思想史研究 I
		コア専門科目		2	中国思想史演習 II
		拡充専門科目		2	日本文化史研究 I
		拡充専門科目		2	地方政治論研究 I
		研究指導科目	2		課題研究演習 I
研究指導科目	2		課題研究演習 II		
	合計	17科目	30単位		

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:文芸・思想コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:日本思想史の研究を専門とする学生が、日本文学や中国思想史についても学び、多角的な観点から日本思想史を捉えることができる能力をもつ人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	日本思想史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本思想史演習Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古典文学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古典文学演習Ⅰ
コア専門科目			2	中国思想史研究Ⅰ	
コア専門科目			2	中国思想史演習Ⅱ	
拡充専門科目			2	日本文化史研究Ⅰ	
拡充専門科目			2	日本近世史研究Ⅱ	
2	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	18科目	32単位	内、2単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:文芸・思想コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:日本思想史を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、日本思想史を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目	
			必修	選択		
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ	
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ	
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会	
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論	
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線	
		研究科共通科目		1	専門基礎科目	
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ	
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外	
			研究指導科目	2		人文科学研究法
			研究指導科目	2		専門基礎演習
2	専攻科目	コア専門科目		2	日本思想史研究Ⅰ	
		コア専門科目		2	日本思想史演習Ⅰ	
		コア専門科目		2	日本古典文学研究Ⅰ	
		コア専門科目		2	日本古典文学研究Ⅱ	
		コア専門科目		2	中国思想史研究Ⅰ	
		コア専門科目		2	中国思想史演習Ⅱ	
		拡充専門科目		2	地方政治論研究Ⅰ	
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
			合計	19科目		32単位

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル：歴史・考古学コース（一般専門教育タイプ）

履修例：史資料の読解、調査、取扱い技術の向上を意識し、高度な歴史的思考能力と専門的スキルを習得し、文化財分野等の専門職業人として活躍する人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	考古学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本考古学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古代中世史研究Ⅰ
コア専門科目			2	日本近世史研究Ⅰ	
コア専門科目			2	日本近現代史研究Ⅰ	
コア専門科目			2	アジア歴史文化研究Ⅰ	
2	拡充専門科目		2	文化人類学研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	17科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:歴史・考古学コース(一般専門教育タイプ)

履修例:歴史学・考古学を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、歴史学・考古学を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ
2	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	アジア歴史文化研究Ⅰ
		コア専門科目		2	アジア歴史社会研究Ⅰ
		コア専門科目		2	ヨーロッパ社会史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	ヨーロッパ歴史文化研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古代中世史研究Ⅰ□
		コア専門科目		2	日本近世史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本近現代史研究Ⅰ
		拡充専門科目		2	地域社会論研究Ⅰ
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ
	合計	18科目		31単位	内、1単位は修了要件外

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 歴史・考古学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例: 史資料の読解、調査、取扱い技術の向上を意識し、高度な歴史的思考能力と専門的スキルを習得し、文化財分野等の専門職業人として活躍する人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	考古学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本考古学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古代中世史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本近世史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本近現代史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	アジア歴史文化研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古代中世史研究Ⅱ
2	コア専門科目		2	日本近世史研究Ⅱ	
	拡充専門科目		2	文化人類学研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	16科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 歴史・考古学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例: 歴史学・考古学を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、歴史学・考古学を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践演習 I
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	アジア歴史文化研究 I
		コア専門科目		2	アジア歴史社会研究 I □
		コア専門科目		2	ヨーロッパ社会史研究 I
		コア専門科目		2	ヨーロッパ歴史文化研究 I
コア専門科目			2	日本古代中世史研究 I □	
2	コア専門科目		2	日本近世史研究 I	
	コア専門科目		2	日本近現代史研究 I	
	拡充専門科目		2	地域社会論研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	17科目		30単位	

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル：歴史・考古学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例：史資料の読解、調査、取扱い技術の向上を意識し、高度な歴史的思考能力と専門的スキルを習得し、文化財分野等の専門職業人として活躍する人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	考古学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本考古学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古代中世史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本近世史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本近現代史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	アジア歴史文化研究Ⅰ
2	拡充専門科目		2	文化人類学研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
合計	18科目	32単位		内、2単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 歴史・考古学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例: 歴史学・考古学を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、歴史学・考古学を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目	
			必修	選択		
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ	
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ	
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会	
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論	
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線	
		研究科共通科目		1	専門基礎科目	
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ	
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外	
	2	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
			研究指導科目	2		専門基礎演習
コア専門科目				2	アジア歴史文化研究Ⅰ	
コア専門科目				2	アジア歴史社会研究Ⅰ	
コア専門科目				2	ヨーロッパ社会史研究Ⅰ	
コア専門科目				2	ヨーロッパ歴史文化研究Ⅰ	
コア専門科目				2	日本近世史研究Ⅰ	
コア専門科目				2	日本近現代史研究Ⅰ	
拡充専門科目				2	地域社会論研究Ⅰ	
研究指導科目			2		課題研究演習Ⅰ	
研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ			
	合計	19科目	32単位		内、2単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:心理・人間科学コース(一般専門教育タイプ)

履修例:人間の心や社会・文化に関する資料読解、調査・研究技法を学び、専門的知識、調査・研究能力、さらに多角的思考を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	行動機構論研究 I
		コア専門科目		2	比較文化論研究 I
		コア専門科目		2	生涯発達論研究 I
コア専門科目			2	行動機構論研究 II	
コア専門科目			2	行動文化論研究 I	
コア専門科目			2	認知行動論研究 I	
2	拡充専門科目		2	行政学研究 I	
	拡充専門科目		2	行政法研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	17科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル：心理・人間科学コース（一般専門教育タイプ）

履修例：「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、人間の心や社会・文化に関する資料読解、調査・研究技法を学び、専門的知識、調査・研究能力、さらに多角的思考を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	行動機構論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	生涯発達論研究Ⅰ
コア専門科目			2	行動機構論研究Ⅱ	
コア専門科目			2	行動文化論研究Ⅰ	
コア専門科目			2	認知行動論研究Ⅰ	
拡充専門科目			2	学習デザイン論研究	
拡充専門科目			2	行政法研究Ⅰ	
2	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	18科目		31単位	内、1単位は修了要件外

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:心理・人間科学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例:人間の心や社会・文化に関する資料読解、調査・研究技法を学び、専門的知識、調査・研究能力、さらに多角的思考を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	行動機構論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	生涯発達論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	行動文化論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	認知行動論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	行動機構論研究Ⅱ
		コア専門科目		2	生涯発達論研究Ⅱ
2	コア専門科目		2	認知行動論研究Ⅱ	
	拡充専門科目		2	行政学研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	行政法研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	16科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル：心理・人間科学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、人間の心や社会・文化に関する資料読解、調査・研究技法を学び、専門的知識、調査・研究能力、さらに多角的思考を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践演習 I
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	行動機構論研究 I
		コア専門科目		2	比較文化論研究 I
		コア専門科目		2	生涯発達論研究 I
		コア専門科目		2	行動文化論研究 I
		コア専門科目		2	認知行動論研究 I
2	コア専門科目		2	行動機構論研究 II	
	コア専門科目		2	生涯発達論研究 II	
	拡充専門科目		2	学習デザイン論研究	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
合計	17科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:心理・人間科学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:人間の心や社会・文化に関する資料読解、調査・研究技法を学び、専門的知識、調査・研究能力、さらに多角的思考を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	行動機構論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	生涯発達論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	行動機構論研究Ⅱ
		コア専門科目		2	行動文化論研究Ⅰ
2	コア専門科目		2	認知行動論研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	行政学研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	行政法研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	18科目		32単位	内、2単位は修了要件外

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:心理・人間科学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、人間の心や社会・文化に関する資料読解、調査・研究技法を学び、専門的知識、調査・研究能力、さらに多角的思考を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目	
			必修	選択		
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ	
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ	
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会	
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論	
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線	
		研究科共通科目		1	専門基礎科目	
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ	
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外	
	2	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
			研究指導科目	2		専門基礎演習
コア専門科目				2	行動機構論研究Ⅰ	
コア専門科目				2	比較文化論研究Ⅰ	
コア専門科目				2	生涯発達論研究Ⅰ	
コア専門科目				2	行動機構論研究Ⅱ	
コア専門科目				2	行動文化論研究Ⅰ	
コア専門科目				2	認知行動論研究Ⅰ	
拡充専門科目				2	学習デザイン論研究	
研究指導科目			2		課題研究演習Ⅰ	
研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ			
合計	19科目		32単位	内、2単位は修了要件外		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:公認心理師コース(一般専門教育タイプ)

履修例:公認心理師資格取得を目指す学生向けの履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目			(0単位でもよい)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	保健医療分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	福祉分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	教育分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	産業・労働分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	心理的アセスメントに関する理論と実践
		コア専門科目		2	心理支援に関する理論と実践A
		コア専門科目		2	心理支援に関する理論と実践B ※修了要件外
		コア専門科目		2	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
		コア専門科目		2	心の健康教育に関する理論と実践
		コア専門科目		2	投映法特論 ※修了要件外
		コア専門科目		2	箱庭療法特論 ※修了要件外
		2	コア専門科目		各1
コア専門科目			各1	心理実践実習C～F	
拡充専門科目			2	持続可能な開発とSDGs研究	
研究指導科目	2			課題研究演習 I	
研究指導科目	2			課題研究演習 II	
	合計	27科目	44単位	内、6単位は修了要件外	

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル：公認心理師コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：公認心理師資格取得を目指す学生向けの履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目			(0単位でもよい)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	保健医療分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	福祉分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	教育分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	産業・労働分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	心理的アセスメントに関する理論と実践
		コア専門科目		2	心理支援に関する理論と実践A
		コア専門科目		2	心理支援に関する理論と実践B ※修了要件外
		コア専門科目		2	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
		コア専門科目		2	心の健康教育に関する理論と実践
		コア専門科目		2	投映法特論 ※修了要件外
		コア専門科目		2	箱庭療法特論 ※修了要件外
		2	コア専門科目		各1
	コア専門科目			各1	心理実践実習C～F
	拡充専門科目			2	持続可能な開発とSDGs研究
	拡充専門科目			2	家族心理論研究
	研究指導科目		2		課題研究演習Ⅰ
	研究指導科目		2		課題研究演習Ⅱ
		合計	26科目	44単位	内、6単位は修了要件外

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:メディア・情報社会コース(一般専門教育タイプ)

履修例: ネット、SNS、伝統メディアなどメディア環境、マンガやCMなどメディア文化を国際比較を通して学び、コンテンツ制作や調査能力を養う。メディアテクノロジーと人間による共創社会のデザインや相互作用を理解し、AIなど新技術で変わる社会で活躍する人材を養う履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	電子メディア論研究
		コア専門科目		2	情報デザイン研究
		コア専門科目		2	ポピュラー文化研究
コア専門科目			2	近代日本メディア史研究	
コア専門科目			2	コミュニケーションデータ分析研究	
コア専門科目			2	映像広告論研究	
拡充専門科目			2	経済地理学研究 II	
拡充専門科目			2	多文化関係学研究	
2	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	17科目		30単位	

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:メディア・情報社会コース(一般専門教育タイプ)

履修例:メディア・情報社会を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、メディアテクノロジーと人間による共創社会のデザインやメディア文化を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究方法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	電子メディア論研究
		コア専門科目		2	情報デザイン研究
		コア専門科目		2	ポピュラー文化研究
コア専門科目			2	近代日本メディア史研究	
コア専門科目			2	コミュニケーションデータ分析研究	
コア専門科目			2	映像広告論研究	
2	拡充専門科目		2	経済地理学研究Ⅱ	
	拡充専門科目		2	多文化関係学研究	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
合計	18科目		31単位	内、1単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:メディア・情報社会コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例:ネット、SNS、伝統メディアなどメディア環境、マンガやCMなどメディア文化を国際比較を通して学び、コンテンツ制作や調査能力を養う。メディアテクノロジーと人間による共創社会のデザインや相互作用を理解し、AIなど新技術で変わる社会で活躍する人材を養う履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	電子メディア論研究
		コア専門科目		2	情報デザイン研究
		コア専門科目		2	ポピュラー文化研究
		コア専門科目		2	近代日本メディア史研究
		コア専門科目		2	コミュニケーションデータ分析研究
		コア専門科目		2	コミュニケーション社会学研究
2	コア専門科目		2	マスコミ研究	
	コア専門科目		2	映像広告論研究	
	拡充専門科目		2	経済地理学研究Ⅱ	
	拡充専門科目		2	多文化関係学研究	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	16科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:メディア・情報社会コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例:メディア・情報社会を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、メディアテクノロジーと人間による共創社会のデザインやメディア文化を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践演習 I
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	電子メディア論研究
		コア専門科目		2	情報デザイン研究
		コア専門科目		2	ポピュラー文化研究
		コア専門科目		2	近代日本メディア史研究
2	専攻科目	コア専門科目		2	コミュニケーションデータ分析研究
		コア専門科目		2	映像広告論研究
		拡充専門科目		2	経済地理学研究 II
		拡充専門科目		2	多文化関係学研究
		研究指導科目	2		課題研究演習 I
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	17科目		30単位	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:メディア・情報社会コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:ネット、SNS、伝統メディアなどメディア環境、マンガやCMなどメディア文化を国際比較を通して学び、コンテンツ制作や調査能力を養う。メディアテクノロジーと人間による共創社会のデザインや相互作用を理解し、AIなど新技術で変わる社会で活躍する人材を養う履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	電子メディア論研究
		コア専門科目		2	情報デザイン研究
		コア専門科目		2	ポピュラー文化研究
コア専門科目			2	近代日本メディア史研究	
コア専門科目			2	コミュニケーションデータ分析研究	
コア専門科目			2	映像広告論研究	
2	拡充専門科目		2	経済地理学研究Ⅱ	
	拡充専門科目		2	多文化関係学研究	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	18科目		32単位	内、2単位は修了要件外

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:メディア・情報社会コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:メディア・情報社会を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、メディアテクノロジーと人間による共創社会のデザインやメディア文化を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目	
			必修	選択		
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ	
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ	
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会	
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論	
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線	
		研究科共通科目		1	専門基礎科目	
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ	
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外	
	2	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
			研究指導科目	2		専門基礎演習
コア専門科目				2	電子メディア論研究	
コア専門科目				2	情報デザイン研究	
コア専門科目				2	ポピュラー文化研究	
コア専門科目				2	近代日本メディア史研究	
コア専門科目				2	コミュニケーションデータ分析研究	
拡充専門科目				2	経済地理学研究Ⅱ	
拡充専門科目				2	多文化関係学研究	
研究指導科目			2		課題研究演習Ⅰ	
研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ			
合計	19科目		32単位	内、2単位は修了要件外		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：国際・地域共創コース（一般専門教育タイプ）

履修例：国際・地域共創を専門とする学生が、国際や地域に関わる諸問題を多角的に捉え考察できる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	多文化コミュニケーション論研究
		コア専門科目		2	持続可能な開発とSDGs研究
		コア専門科目		2	社会行動論研究ⅠもしくはⅡ
コア専門科目			2	国際政治学研究ⅠもしくはⅡ	
コア専門科目			2	社会地理学研究ⅠもしくはⅡ	
コア専門科目			2	社会事業史研究ⅠもしくはⅡ	
2	コア専門科目		2	環境社会学研究ⅠもしくはⅡ	
	拡充専門科目		2	シティズンシップ論教育ⅠもしくはⅡ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
合計	17科目		30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：国際・地域共創コース（一般専門教育タイプ）

履修例：国際・地域共創を専門とする学生が、「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、ダイバーシティとインクルージョンを実践できる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習 I もしくは実践演習 II
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究方法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	多文化コミュニケーション論研究
		コア専門科目		2	持続可能な開発とSDGs研究
		コア専門科目		2	社会行動論研究 I もしくは II
コア専門科目			2	国際政治学研究 I もしくは II	
コア専門科目			2	社会地理学研究 I もしくは II	
コア専門科目			2	社会事業史研究 I もしくは II	
2	コア専門科目		2	環境社会学研究 I もしくは II	
	拡充専門科目		2	シティズンシップ論教育 I もしくは II	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
合計	18科目		31単位	内、1単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：国際・地域共創コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：国際・地域共創を専門とする社会人学生が、スキルアップを目指し国際や地域に関わる諸問題を多角的に捉え考察することのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	経済地理学 I もしくは II
		コア専門科目		2	地誌学研究 I もしくは II
		コア専門科目		2	家族社会学研究 I もしくは II
		コア専門科目		2	多文化関係学研究
		コア専門科目		2	持続可能な開発とSDGs研究
		コア専門科目		2	社会行動論演習 I もしくは II
		コア専門科目		2	地方政治論研究 I もしくは II
		コア専門科目		2	環境政策・経済学研究 I もしくは II
		拡充専門科目		2	シティズンシップ論教育 I もしくは II
		拡充専門科目		2	性と人権論 I もしくは II
2	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	16科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：国際・地域共創コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：国際・地域共創を専門とする社会人学生が、「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、スキルアップを目指しダイバーシティとインクルージョンを実践できる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践演習 I もしくは実践演習 II
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	経済地理学研究 I もしくは II
		コア専門科目		2	地誌学研究 I もしくは II
		コア専門科目		2	家族社会学研究 I もしくは II
		コア専門科目		2	多文化関係学研究
		コア専門科目		2	持続可能な開発とSDGs研究
2	コア専門科目		2	社会行動論演習 I もしくは II	
	コア専門科目		2	地方政治論研究 I もしくは II	
	拡充専門科目		2	シティズンシップ論教育 I もしくは II	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
合計	17科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：国際・地域共創コース（留学生専門教育タイプ）

履修例：国際・地域共創を専門とする留学生が、自身の文化的背景を活かしつつ国際や地域に関わる諸問題を捉え考察できる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	多文化コミュニケーション論研究
		コア専門科目		2	社会行動論研究ⅠもしくはⅡ
		コア専門科目		2	国際政治学研究ⅠもしくはⅡ
		コア専門科目		2	家族社会学研究ⅠもしくはⅡ
		コア専門科目		2	環境政策・経済学研究ⅠもしくはⅡ
		コア専門科目		2	グローバル化と地域開発研究
2	拡充専門科目		2	シティズンシップ論教育ⅠもしくはⅡ	
	拡充専門科目		2	性と人権論ⅠもしくはⅡ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
合計	18科目		32単位	内、2単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：国際・地域共創コース（留学生専門教育タイプ）

履修例：国際・地域共創を専門とする留学生が、「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、自身の文化的背景を活かしダイバーシティとインクルージョンを実践できる能力をもつ能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰもしくは実践演習Ⅱ
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	多文化コミュニケーション論研究
		コア専門科目		2	社会行動論研究ⅠもしくはⅡ
		コア専門科目		2	国際政治学研究ⅠもしくはⅡ
		コア専門科目		2	家族社会学研究ⅠもしくはⅡ
コア専門科目			2	環境政策・経済学研究ⅠもしくはⅡ	
コア専門科目			2	グローバル化と地域開発研究	
拡充専門科目			2	シティズンシップ論教育ⅠもしくはⅡ	
研究指導科目		2		課題研究演習Ⅰ	
研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ		
合計	19科目	32単位		内、2単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 法学・行政学コース(一般専門教育タイプ)

履修例: 地方公共団体、企業、非政府・非営利団体(社会福祉法人等)の様々な現場で、法的な思考や知見を活かしながら課題解決を担える専門職業人を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	民法研究AⅠ
		コア専門科目		2	国際法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	労働法研究Ⅰ
コア専門科目			2	比較法研究Ⅰ	
コア専門科目			2	行政法研究Ⅱ	
コア専門科目			2	公共政策論研究Ⅰ	
拡充専門科目			2	グローバル化と地域開発研究	
拡充専門科目			2	地方自治論研究Ⅰ	
2	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	17科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：法学・行政学コース（一般専門教育タイプ）

履修例：法学・行政学を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、法学・行政学を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ
2	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究方法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	行政法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	社会保障法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	商法・経済法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	刑法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	行政法研究Ⅱ
		コア専門科目		2	社会保障法研究Ⅱ
		コア専門科目		2	国際法研究Ⅱ
		拡充専門科目		2	グローバル化と地域開発研究
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ
	合計	18科目		31単位	内、1単位は修了要件外

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：法学・行政学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：地方公共団体、企業、非政府・非営利団体(社会福祉法人等)の様々な現場で、法的な思考や知見を活かしながら課題解決を担える専門職業人を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	民法研究A I
		コア専門科目		2	国際法研究 I
		コア専門科目		2	公共政策論研究 I
		コア専門科目		2	比較法研究 I
		コア専門科目		2	労働法研究 I
		コア専門科目		2	民法研究B II
		コア専門科目		2	行政法研究 II
2	コア専門科目		2	公共政策論研究 II	
	拡充専門科目		2	グローバル化と地域開発研究	
	拡充専門科目		2	地方自治論研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	16科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：法学・行政学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：法学・行政学を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、法学・行政学を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習 I
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究方法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	公共政策論研究 I
		コア専門科目		2	行政法研究 I
		コア専門科目		2	社会保障法研究 I
		コア専門科目		2	商法・経済法研究 I
		2	コア専門科目		2
コア専門科目			2	行政法研究 II	
コア専門科目			2	社会保障法研究 II	
コア専門科目			2	国際法研究 II	
拡充専門科目			2	グローバル化と地域開発研究	
研究指導科目	2			課題研究演習 I	
研究指導科目	2			課題研究演習 II	
	合計	17科目		31単位	内、1単位は修了要件外

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：法学・行政学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例：地方公共団体、企業、非政府・非営利団体(社会福祉法人等)の様々な現場で、法的な思考や知見を活かしながら課題解決を担える専門職業人を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	民法研究AⅠ
		コア専門科目		2	国際法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	労働法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	比較法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	行政法研究Ⅱ
		コア専門科目		2	公共政策論研究Ⅰ
2	拡充専門科目		2	グローバル化と地域開発研究	
	拡充専門科目		2	地方自治論研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
合計	18科目		32単位	内、2単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：法学・行政学コース（留学生専門教育タイプ）

履修例：法学・行政学を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、法学・行政学を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
2	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	公共政策論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	行政法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	社会保障法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	商法・経済法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	刑法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	社会保障法研究Ⅱ
		コア専門科目		2	国際法研究Ⅱ
		拡充専門科目		2	グローバル化と地域開発研究
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ
		合計	19科目		33単位

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 経済学・経営学コース(一般専門教育タイプ)

履修例: 社会の変化を意識し、貧困・格差・ジェンダー等の問題意識を包含するSDGs等の現代的・先進的テーマを扱うことで、より広い視野のもとに市場・制度デザイン能力、ビジネスデザイン能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目	
			必修	選択		
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ	
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ	
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会	
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論	
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論	
	2	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
			研究指導科目	2		専門基礎演習
			コア専門科目		2	金融論研究Ⅰ
			コア専門科目		2	マーケティング論研究Ⅰ
			コア専門科目		2	アジア経済論研究Ⅰ
コア専門科目				2	経済政策研究Ⅰ	
コア専門科目				2	労働経済論研究Ⅰ	
コア専門科目				2	金融論研究Ⅱ	
拡充専門科目				2	民法研究BI	
拡充専門科目				2	商法・経済法研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ		
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ		
	合計	17科目		30単位		

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 経済学・経営学コース(一般専門教育タイプ)

履修例: 経済学・経営学を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、経済社会と企業経営を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ
2	専攻科目	研究指導科目	2		人文科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	労働経済論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	アジア経済論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	経済政策研究Ⅱ
		コア専門科目		2	金融論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	消費者行動論研究
		コア専門科目		2	マーケティング・サイエンス研究
		拡充専門科目		2	商法・経済法研究Ⅰ
		拡充専門科目		2	経済地理学研究Ⅰ
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ
	合計	18科目	31単位	内、1単位は修了要件外	

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:経済学・経営学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例:社会の変化を意識し、貧困・格差・ジェンダー等の問題意識を包含するSDGs等の現代的・先進的テーマを扱うことで、より広い視野のもとに市場・制度デザイン能力、ビジネスデザイン能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	金融論研究 I
		コア専門科目		2	マーケティング論研究 I
		コア専門科目		2	経済政策研究 I
		コア専門科目		2	管理会計論研究 I
		コア専門科目		2	アジア経済論研究 I
		コア専門科目		2	経済政策研究 II
		コア専門科目		2	労働経済論研究 I
コア専門科目			2	金融論研究 II	
2	拡充専門科目		2	民法研究BI	
	拡充専門科目		2	商法・経済法研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
合計	16科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 経済学・経営学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例: 経済学・経営学を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、経済社会と企業経営を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習 I
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	労働経済論研究 I
		コア専門科目		2	アジア経済論研究 I
		コア専門科目		2	経済政策研究 II
		コア専門科目		2	金融論研究 I
		2	コア専門科目		2
コア専門科目			2	消費者行動論研究	
コア専門科目			2	マーケティング・サイエンス研究	
拡充専門科目			2	商法・経済法研究 I	
拡充専門科目			2	経済地理学研究 I	
研究指導科目	2			課題研究演習 I	
研究指導科目	2			課題研究演習 II	
	合計	17科目	31単位	内、1単位は修了要件外	

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 経済学・経営学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例: 社会の変化を意識し、貧困・格差・ジェンダー等の問題意識を包含するSDGs等の現代的・先進的テーマを扱うことで、より広い視野のもとに市場・制度デザイン能力、ビジネスデザイン能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	金融論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	マーケティング論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	アジア経済論研究Ⅰ
コア専門科目			2	経済政策研究Ⅰ	
コア専門科目			2	労働経済論研究Ⅰ	
コア専門科目			2	金融論研究Ⅱ	
拡充専門科目			2	民法研究BI	
拡充専門科目			2	商法・経済法研究Ⅰ	
2	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	18科目	32単位	内、2単位は修了要件外	

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:経済学・経営学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:経済学・経営学を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、経済社会と企業経営を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習Ⅰ
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	労働経済論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	アジア経済論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	経済政策研究Ⅱ
		コア専門科目		2	金融論研究Ⅰ
		コア専門科目		2	消費者行動論研究
2	コア専門科目		2	マーケティング・サイエンス研究	
	拡充専門科目		2	商法・経済法研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	経済地理学研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	19科目	33単位	内、3単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：地域政策研究(社会人)コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：地域の課題の解決に資する実践的な政策形成に向けた調査・研究を行うことによって、地域の課題発見と地域資源を活用した課題解決に向けた政策形成能力を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	特定テーマ演習
		コア専門科目		2	地域資源活用研究法
		コア専門科目		4	地域連携創生研究演習
		コア専門科目		2	公共政策研究 I
		コア専門科目		2	地誌学研究 I
		コア専門科目		2	行政法研究 I
	2	拡充専門科目		2	経済統計研究 I
		拡充専門科目		2	地方政治論研究 I
拡充専門科目			2	多文化コミュニケーション論研究	
研究指導科目		2		政策特定課題研究演習	
研究指導科目		2		政策プレゼン研究演習	
合計	15科目		30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：地域政策研究(社会人)コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：地域政策研究(社会人)を専門とする学生が「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」も履修し、政策形成を多様性の観点から捉えることのできる能力をもつ専門人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創概論
		研究科共通科目		1	ダイバーシティ地域共創最前線
		キャリア支援科目		2	実践演習 I
	専攻科目	研究指導科目	2		社会科学研究方法
		研究指導科目	2		専門基礎演習
		コア専門科目		2	特定テーマ演習
		コア専門科目		2	地域資源活用研究法
		コア専門科目		4	地域連携創生研究演習
		コア専門科目		2	公共政策研究 I
		コア専門科目		2	行政法研究 I
	2	拡充専門科目		2	経済統計研究 I
拡充専門科目			2	地方政治論研究 I	
拡充専門科目			2	多文化コミュニケーション論研究	
研究指導科目		2		政策特定課題研究演習	
研究指導科目		2		政策プレゼン研究演習	
	合計	18科目		31単位	内、1単位は修了要件外

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

履修モデル

(24LM 以前入学者対象)

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:文芸・思想コース(一般専門教育タイプ)

履修例:日本語史の研究を専門とする学生が、日本文学や日本文化史についても学び、多角的な観点から日本語史を捉えることができる能力をもつ人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	持続可能なコミュニティ・デザイン論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	日本古典・近代語研究 I
		コア専門科目		2	日本古典・近代語演習 I
		コア専門科目		2	日本古典文学研究 I
		コア専門科目		2	日本近代文学研究 I
		コア専門科目		2	日本古典・近代語研究 II
		コア専門科目		2	日本古典・近代語演習 II
		拡充専門科目		2	日本文化史研究 I
2	拡充専門科目		2	日本近世史研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	17科目		30単位	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:文芸・思想コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例:日本語史の研究を専門とする学生が、日本文学や日本文化史についても学び、多角的な観点から日本語史を捉えることができる能力をもつ人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	日本古典・近代語研究 I
		コア専門科目		2	日本古典・近代語演習 I
		コア専門科目		2	日本古典文学研究 I
		コア専門科目		2	日本近代文学研究 I
		コア専門科目		2	日本思想史研究 I
		コア専門科目		2	中国思想史研究 I
		コア専門科目		2	日本古典・近代語研究 II
2	コア専門科目		2	日本古典・近代語演習 II	
	拡充専門科目		2	日本文化史研究 I	
	拡充専門科目		2	日本近世史研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	16科目		30単位	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:文芸・思想コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:日本語史の研究を専門とする学生が、日本文学や日本文化史についても学び、多角的な観点から日本語史を捉えることができる能力をもつ人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	日本古典・近代語研究 I
		コア専門科目		2	日本古典・近代語演習 I
		コア専門科目		2	日本古典文学研究 I
		コア専門科目		2	日本近代文学研究 I
		コア専門科目		2	日本古典・近代語研究 II
		コア専門科目		2	日本古典・近代語演習 II
拡充専門科目			2	日本文化史研究 I	
拡充専門科目			2	日本近世史研究 I	
2	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	18科目	32単位	内、2単位は修了要件外	

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル：歴史・考古学コース（一般専門教育タイプ）

履修例：史資料の読解、調査、取扱い技術の向上を意識し、高度な歴史的思考能力と専門的スキルを修得し、文化財分野等の専門職業人として活躍する人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会Ⅰ
		研究科共通科目		1	持続可能なコミュニティ・デザイン論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
2	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	考古学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本考古学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本古代中世史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本近世史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	日本近現代史研究Ⅰ
		コア専門科目		2	考古学研究Ⅱ
		拡充専門科目		2	文化人類学研究Ⅰ
		拡充専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ
	合計	17科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 歴史・考古学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例: 史資料の読解、調査、取扱い技術の向上を意識し、高度な歴史的思考能力と専門的スキルを修得し、文化財分野等の専門職業人として活躍する人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	考古学研究 I
		コア専門科目		2	日本考古学研究 I
		コア専門科目		2	日本古代中世史研究 I
		コア専門科目		2	日本近世史研究 I
		コア専門科目		2	日本近現代史研究 I
		コア専門科目		2	日本古代中世史研究 II
		コア専門科目		2	日本近現代史研究 II
		コア専門科目		2	考古学研究 II
2	拡充専門科目		2	文化人類学研究 I	
	拡充専門科目		2	比較文化論研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
合計	16科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 歴史・考古学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例: 史資料の読解、調査、取扱い技術の向上を意識し、高度な歴史的思考能力と専門的スキルを修得し、文化財分野等の専門職業人として活躍する人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
2	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	考古学研究 I
		コア専門科目		2	日本考古学研究 I
		コア専門科目		2	日本古代中世史研究 I
		コア専門科目		2	日本近世史研究 I
		コア専門科目		2	日本近現代史研究 I
		コア専門科目		2	考古学研究 II
		拡充専門科目		2	文化人類学研究 I
		拡充専門科目		2	比較文化論研究 I
		研究指導科目	2		課題研究演習 I
		研究指導科目	2		課題研究演習 II
	合計	18科目	32単位	内、2単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル：心理・人間科学コース（一般専門教育タイプ）

履修例：人間の心や社会・文化に関する資料読解、調査・研究技法を学び、専門的知識、調査・研究能力、さらに多角的思考を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目	
			必修	選択		
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ	
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ	
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会Ⅰ	
		研究科共通科目		1	持続可能なコミュニティ・デザイン論	
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論	
	2	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
			研究指導科目	2		人文科学研究法
			コア専門科目		2	行動機構論研究Ⅰ
			コア専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ
			コア専門科目		2	生涯発達論研究Ⅰ
コア専門科目				2	行動機構論研究Ⅱ	
コア専門科目				2	行動文化論研究Ⅰ	
コア専門科目				2	認知行動論研究Ⅰ	
拡充専門科目				2	行政学研究Ⅰ	
拡充専門科目				2	行政法研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ		
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ		
	合計	17科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル：心理・人間科学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：人間の心や社会・文化に関する資料読解、調査・研究技法を学び、専門的知識、調査・研究能力、さらに多角的思考を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	行動機構論研究 I
		コア専門科目		2	比較文化論研究 I
		コア専門科目		2	生涯発達論研究 I
		コア専門科目		2	行動文化論研究 I
		コア専門科目		2	認知行動論研究 I
		コア専門科目		2	行動機構論研究 II
		コア専門科目		2	生涯発達論研究 II
2	コア専門科目		2	認知行動論研究 II	
	拡充専門科目		2	行政学研究 I	
	拡充専門科目		2	行政法研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	16科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:心理・人間科学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:人間の心や社会・文化に関する資料読解、調査・研究技法を学び、専門的知識、調査・研究能力、さらに多角的思考を身に着けた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	行動機構論研究 I
		コア専門科目		2	比較文化論研究 I
		コア専門科目		2	生涯発達論研究 I
		コア専門科目		2	行動機構論研究 II
		コア専門科目		2	行動文化論研究 I
		コア専門科目		2	認知行動論研究 I
拡充専門科目			2	行政学研究 I	
拡充専門科目			2	行政法研究 I	
研究指導科目	2		課題研究演習 I		
研究指導科目	2		課題研究演習 II		
合計	18科目	32単位		内、2単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル:公認心理師コース(一般専門教育タイプ)

履修例:公認心理師資格取得を目指す学生向けの履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	持続可能なコミュニティ・デザイン論
		キャリア支援科目			(0単位でもよい)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	保健医療分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	福祉分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	教育分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	産業・労働分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	心理的アセスメントに関する理論と実践
		コア専門科目		2	心理支援に関する理論と実践A
		コア専門科目		2	心理支援に関する理論と実践B ※修了要件外
		コア専門科目		2	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
		コア専門科目		2	心の健康教育に関する理論と実践
		コア専門科目		2	投映法特論 ※修了要件外
		コア専門科目		2	箱庭療法特論 ※修了要件外
		2	コア専門科目		各1
コア専門科目			各1	心理実践実習C～F	
拡充専門科目			2	持続可能な開発とSDGs研究	
研究指導科目	2			課題研究演習 I	
研究指導科目	2			課題研究演習 II	
	合計	27科目	44単位	内、6単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・人文科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 公認心理師コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例: 公認心理師資格取得を目指す学生向けの履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目			(0単位でもよい)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		人文科学研究法
		コア専門科目		2	保健医療分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	福祉分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	教育分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	産業・労働分野に関する理論と支援の展開
		コア専門科目		2	心理的アセスメントに関する理論と実践
		コア専門科目		2	心理支援に関する理論と実践A
		コア専門科目		2	心理支援に関する理論と実践B ※修了要件外
		コア専門科目		2	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
		コア専門科目		2	心の健康教育に関する理論と実践
		コア専門科目		2	投映法特論 ※修了要件外
		コア専門科目		2	箱庭療法特論 ※修了要件外
		2	コア専門科目		各1
コア専門科目			各1	心理実践実習C～F	
拡充専門科目			2	多文化コミュニケーション論研究	
拡充専門科目			2	持続可能な開発とSDGs研究	
研究指導科目	2			課題研究演習 I	
研究指導科目	2			課題研究演習 II	
	合計	26科目	44単位	内、6単位は修了要件外	

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:メディア・情報社会コース(一般専門教育タイプ)

履修例:新聞・テレビ・インターネットなどのメディアやマンガなどメディア文化の歴史、現状、国際比較などの基礎知識を身につけるとともに、取材、記事執筆、コンテンツ制作、調査等の実践的な能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目	
			必修	選択		
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ	
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ	
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会Ⅰ	
		研究科共通科目		1	持続可能なコミュニティ・デザイン論	
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論	
	2	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
			研究指導科目	2		社会科学研究方法
			コア専門科目		2	メディア文化研究
			コア専門科目		2	電子メディア論研究
			コア専門科目		2	ポピュラー文化研究
コア専門科目				2	映像メディア研究	
コア専門科目				2	コミュニケーションデータ分析研究	
コア専門科目				2	近代日本メディア史研究	
拡充専門科目				2	比較文化論研究Ⅰ	
拡充専門科目				2	公共政策論研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ		
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ		
	合計	17科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:メディア・情報社会コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例:新聞・テレビ・インターネットなどのメディアやマンガなどメディア文化の歴史、現状、国際比較などの基礎知識を身につけるとともに、取材、記事執筆、コンテンツ制作、調査等の実践的な能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	メディア文化研究
		コア専門科目		2	電子メディア論研究
		コア専門科目		2	ポピュラー文化研究
		コア専門科目		2	映像メディア研究
		コア専門科目		2	コミュニケーション社会学研究
		コア専門科目		2	メディア教育論研究
		コア専門科目		2	コミュニケーションデータ分析研究
コア専門科目			2	近代日本メディア史研究	
2	拡充専門科目		2	比較文化論研究 I	
	拡充専門科目		2	公共政策論研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
合計	16科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:メディア・情報社会コース(留学生専門教育タイプ)

履修例:新聞・テレビ・インターネットなどのメディアやマンガなどメディア文化の歴史、現状、国際比較などの基礎知識を身につけるとともに、取材、記事執筆、コンテンツ制作、調査等の実践的な能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会Ⅰ
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
2	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	メディア文化研究
		コア専門科目		2	電子メディア論研究
		コア専門科目		2	ポピュラー文化研究
		コア専門科目		2	映像メディア研究
		コア専門科目		2	コミュニケーションデータ分析研究
		コア専門科目		2	近代日本メディア史研究
		拡充専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ
		拡充専門科目		2	公共政策論研究Ⅰ
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	18科目	32単位		内、2単位は修了要件外

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル:国際・地域共創コース(一般専門教育タイプ)

履修例:グローバルな視点で国内外の地域を比較しながら、地誌学を専門に、国際的な地域間ツーリズムによる地域課題解決と交流活性化を目指す学生向けの履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会Ⅰ
		研究科共通科目		1	持続可能なコミュニティ・デザイン論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	多文化コミュニケーション論研究
		コア専門科目		2	グローバル化と地域開発研究
		コア専門科目		2	社会事業史研究Ⅰ
コア専門科目			2	地誌学研究Ⅰ	
コア専門科目			2	地域社会論研究Ⅰ	
2	コア専門科目		2	国際政治学研究Ⅱ	
	拡充専門科目		2	公共政策論研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	17科目		30単位	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 国際・地域共創コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例: グローバルな視点で国内外の地域を比較しながら、地誌学を専門に、国際的な地域間リズムによる地域課題解決と交流活性化を目指す学生向けの履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	多文化コミュニケーション論研究
		コア専門科目		2	グローバル化と地域開発研究
		コア専門科目		2	社会事業史研究 I
		コア専門科目		2	地誌学研究 I
		コア専門科目		2	国際政治学研究 I
		コア専門科目		2	地誌学研究 II
		コア専門科目		2	地域社会論研究 I
		コア専門科目		2	国際政治学研究 II
2	拡充専門科目		2	公共政策論研究 I	
	拡充専門科目		2	比較文化論研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
合計	16科目		30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：国際・地域共創コース(留学生専門教育タイプ)

履修例：グローバルな視点で国内外の地域を比較しながら、地誌学を専門に、国際的な地域間ツーリズムによる地域課題解決と交流活性化を目指す学生向けの履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会Ⅰ
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	多文化コミュニケーション論研究
		コア専門科目		2	グローバル化と地域開発研究
		コア専門科目		2	社会事業史研究Ⅰ
コア専門科目			2	地誌学研究Ⅰ	
コア専門科目			2	地域社会論研究Ⅰ	
コア専門科目			2	国際政治学研究Ⅱ	
2	拡充専門科目		2	公共政策論研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	比較文化論研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	18科目		32単位	内、2単位は修了要件外

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：法学・行政学コース（一般専門教育タイプ）

履修例：地方公共団体、企業、非政府・非営利団体（社会福祉法人等）の様々な現場で、法的な思考や知見を活かしながら課題解決を担える専門職業人を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会Ⅰ
		研究科共通科目		1	持続可能なコミュニティ・デザイン論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	行政学研究Ⅰ
		コア専門科目		2	国際法研究Ⅰ
		コア専門科目		2	労働法研究Ⅰ
コア専門科目			2	比較法研究Ⅰ	
コア専門科目			2	行政法研究Ⅱ	
コア専門科目			2	公共政策論研究Ⅰ	
2	拡充専門科目		2	グローバル化と地域開発研究	
	拡充専門科目		2	地方自治論研究Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
	研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
合計	17科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。
また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：法学・行政学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：地方公共団体、企業、非政府・非営利団体(社会福祉法人等)の様々な現場で、法的な思考や知見を活かしながら課題解決を担える専門職業人を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究法
		コア専門科目		2	行政学研究 I
		コア専門科目		2	国際法研究 I
		コア専門科目		2	公共政策論研究 I
		コア専門科目		2	比較法研究 I
		コア専門科目		2	労働法研究 I
		コア専門科目		2	行政学研究 II
		コア専門科目		2	行政法研究 II
		コア専門科目		2	公共政策論研究 II
2	拡充専門科目		2	グローバル化と地域開発研究	
	拡充専門科目		2	地方自治論研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
合計	16科目	30単位			

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：法学・行政学コース(留学生専門教育タイプ)

履修例：地方公共団体、企業、非政府・非営利団体(社会福祉法人等)の様々な現場で、法的な思考や知見を活かしながら課題解決を担える専門職業人を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目	
			必修	選択		
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論Ⅰ	
		大学院共通科目		1	持続社会システム論Ⅰ	
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会Ⅰ	
		研究科共通科目		1	専門基礎科目	
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論	
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外	
	2	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
			研究指導科目	2		社会科学研究方法
			コア専門科目		2	行政学研究Ⅰ
			コア専門科目		2	国際法研究Ⅰ
			コア専門科目		2	労働法研究Ⅰ
			コア専門科目		2	比較法研究Ⅰ
コア専門科目				2	行政法研究Ⅱ	
コア専門科目				2	公共政策論研究Ⅰ	
拡充専門科目				2	グローバル化と地域開発研究	
拡充専門科目				2	地方自治論研究Ⅰ	
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅰ	
		研究指導科目	2		課題研究演習Ⅱ	
	合計	18科目	32単位		内、2単位は修了要件外	

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 経済学・経営学コース(一般専門教育タイプ)

履修例: 社会の変化を意識し、貧困・格差・ジェンダー等の問題意識を包含するSDGs等の現代的・先進的テーマを扱うことで、より広い視野のもとに市場・制度デザイン能力、ビジネスデザイン能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	持続可能なコミュニティ・デザイン論
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	金融論研究 I
		コア専門科目		2	マーケティング論研究 I
		コア専門科目		2	アジア経済論研究 I
コア専門科目			2	経済政策研究 I	
コア専門科目			2	労働経済論研究 I	
コア専門科目			2	金融論研究 II	
拡充専門科目			2	民法研究BI	
2	拡充専門科目		2	商法・経済法研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	17科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル: 経済学・経営学コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例: 社会の変化を意識し、貧困・格差・ジェンダー等の問題意識を包含するSDGs等の現代的・先進的テーマを扱うことで、より広い視野のもとに市場・制度デザイン能力、ビジネスデザイン能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	金融論研究 I
		コア専門科目		2	マーケティング論研究 I
		コア専門科目		2	経済政策研究 I
		コア専門科目		2	管理会計論研究 I
		コア専門科目		2	アジア経済論研究 I
		コア専門科目		2	経済政策研究 II
		コア専門科目		2	労働経済論研究 I
		コア専門科目		2	金融論研究 II
		拡充専門科目		2	民法研究BI
		拡充専門科目		2	商法・経済法研究 I
2	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	16科目	30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：経済学・経営学コース（留学生専門教育タイプ）

履修例：社会の変化を意識し、貧困・格差・ジェンダー等の問題意識を包含するSDGs等の現代的・先進的テーマを扱うことで、より広い視野のもとに市場・制度デザイン能力、ビジネスデザイン能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		1	人間システム基礎論 I
		大学院共通科目		1	持続社会システム論 I
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会 I
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		2	実践的キャリアデザイン論
		キャリア支援科目		2	日本語表現法 ※修了要件外
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究方法
		コア専門科目		2	金融論研究 I
		コア専門科目		2	マーケティング論研究 I
		コア専門科目		2	アジア経済論研究 I
		コア専門科目		2	経済政策研究 I
		コア専門科目		2	労働経済論研究 I
2	コア専門科目		2	金融論研究 II	
	拡充専門科目		2	民法研究BI	
	拡充専門科目		2	商法・経済法研究 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 I	
	研究指導科目	2		課題研究演習 II	
	合計	18科目		32単位	内、2単位は修了要件外

※ 科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、とくに学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

研究科・専攻名	人文社会科学研究科・社会科学専攻
---------	------------------

履修モデル：地域政策研究(社会人)コース(リカレント専門教育タイプ)

履修例：地域の課題の解決に資する実践的な政策形成に向けた調査・研究を行うことによって、地域の課題発見と地域資源を活用した課題解決に向けた政策形成能力を身につけた人材を育成するための履修モデル

年次	科目区分		単位数		授業科目
			必修	選択	
1	共通科目	大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		大学院共通科目		0	(専門科目で代替)
		研究科共通科目	1		テクノロジーと人間社会Ⅰ
		研究科共通科目		1	専門基礎科目
		キャリア支援科目		0	(専門科目で代替)
	専攻科目	研究指導科目	2		専門基礎演習
		研究指導科目	2		社会科学研究法
		コア専門科目		2	特定テーマ演習
		コア専門科目		2	地域資源活用研究法
		コア専門科目		4	地域連携創生研究演習
		コア専門科目(振替)		2	行政学研究Ⅰ
		コア専門科目(振替)		2	地誌学研究Ⅰ
		コア専門科目(振替)		2	行政法研究Ⅰ
		コア専門科目(振替)		2	地方政治論Ⅰ
2	拡充専門科目		2	経済統計研究Ⅰ	
	拡充専門科目		2	多文化コミュニケーション論研究	
	研究指導科目	2		政策特定課題研究演習	
	研究指導科目	2		政策プレゼン研究演習	
合計	15科目		30単位		

※科目リストはあくまでモデルです。年度によって開講科目が異なりますので、その年に開講されている科目を、シラバス内容を確認してから履修してください。また、特に学年指定のない科目は、1年次から履修することができます。

IV 教育プログラム

ダイバーシティ地域共創教育プログラムの履修について

1. 趣旨

現代社会において、多様性を尊重し、誰もが自らのもつ能力を存分に発揮できる社会を築くことは、極めて重要な課題です。本プログラムでは、各分野の地域リーダーに必要とされるダイバーシティ&インクルージョンの概念、政策、課題を、連携大学（宇都宮大学大学院地域創生科学研究科及び常磐大学大学院人間科学研究科）の教員と協力して総合的に学修する機会を提供します。また、企業、自治体、NPO法人での実践演習や UEA（University Education Administrator：教育専門職）による学修・キャリア支援を通じて、理論と実践を往還する機会を提供します。

2. 「ダイバーシティ地域共創教育プログラム」科目一覧

プログラム科目種別		研究科科目区分	科目名	修了要件		単位
コア科目		研究科共通科目	ダイバーシティ地域共創概論●	1単位		1
			ダイバーシティ地域共創最前線●	1単位		1
		キャリア支援科目	実践演習Ⅰ● 実践演習Ⅱ● 実践演習Ⅲ●	2単位以 上		2 2 2
プログラム指 定科目	ダイバー シティ& インクル ージョン 系	専門科目	日本思想史研究Ⅰ● 日本思想史演習Ⅰ● 日本古典文学研究Ⅰ・Ⅱ● 中国近現代文学演習Ⅰ・Ⅱ● アジア歴史文化研究Ⅰ● アジア歴史社会研究Ⅰ● ヨーロッパ社会史研究Ⅰ・Ⅱ● ヨーロッパ政治史研究Ⅰ・Ⅱ● ヨーロッパ歴史文化研究Ⅰ● ヨーロッパ近現代史研究Ⅱ● 行動機構論研究Ⅰ・Ⅱ● 行動文化論研究Ⅰ・Ⅱ● 比較文化論研究Ⅰ・Ⅱ● 比較文化論演習Ⅰ・Ⅱ● 福祉分野に関する理論と支援の展開● 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践● 多文化コミュニケーション論研究● 多文化関係学研究● 持続可能な開発とSDGs研究● 社会行動論研究Ⅰ・Ⅱ●	10 単 位	4単 位以 上	2 2 各2 各2 2 2 各2 各2 2 2 各2 各2 各2 各2 2 2 2 2 各2

		社会行動論演習 I・II ● 国際政治学研究 I・II ● 社会地理学研究 I・II ● 経済地理学研究 I・II ● 社会事業史研究 I・II ● 地誌学研究 I・II ● 家族社会学研究 I・II ● 刑法研究 I ● 社会保障法研究 I・II ● 行政法研究 I・II ● 国際法研究 I・II ● 労働経済論研究 I・II ● アジア経済論研究 I・II ● 人間の安全保障と国連 I・II ◎ 性と人権論 I・II ◎ シティズンシップ教育 I・II ◎ 現代社会学特講 I ○ 被害者学特論 ○			各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各1 各1 各1 2 2
	地域経済 と価値共 創系	グローバル化と地域開発研究 ● 地方政治論研究 I・II ● 地域社会論研究 I・II ● 環境社会学研究 I・II ● 環境政策・経済学研究 I・II ● 商法・経済法研究 I・II ● 経済政策研究 I・II ● 金融論研究 I・II ● マーケティング・サイエンス研究 ● 消費者行動論研究 ● ソーシャルビジネス論 ◎ 環境問題とガバナンス I・II ◎ 現代社会学特講 II ○ 産業・労働社会学特論 ○ 産業・労働社会学演習 ○	2～ 6単 位	2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 2 2 1 各1 2 2 2	
	メディア 戦略とコ ミュニケ ーション 系	メディア教育論研究 ● 電子メディア論研究 ● 学習デザイン論研究 ● 情報デザイン研究 ● コミュニケーションデータ分析研究 ● コミュニケーション社会学研究 ●		2 2 2 2 2 2	

			社会調査法研究●			2
			コミュニケーション論特論○			2
			コミュニケーション学特論Ⅰ・Ⅱ○			各2

●印を付した科目は、茨城大学人文社会科学研究所の科目。

◎印を付した科目は、宇都宮大学大学院地域創生科学研究科の科目。

○印を付した科目は、常磐大学大学院人間科学研究科の科目。

3. プログラムの修了要件

本研究科の修士課程修了の要件を満たし、かつ、以下のプログラム修了に掲げる全ての要件をすべて満たすこと。

(1) コア科目の「研究科共通科目」である「ダイバーシティ地域共創概論」(1単位)及び「ダイバーシティ地域共創最前線」(1単位)を修得すること。

(2) コア科目の「キャリア支援科目」である「実践演習Ⅰ」、「実践演習Ⅱ」、「実践演習Ⅲ」のうちから1科目(2単位)以上を修得すること。

(3) プログラム指定科目の「専門科目」のうち、「ダイバーシティ&インクルージョン系」から4単位以上を修得すること。

(4) プログラム指定科目の「専門科目」のうち、「地域経済と価値共創系」又は「メディア戦略とコミュニケーション系」から2単位以上を修得すること。

(5) 前2号の規定については、合わせて10単位以上を修得すること。

(6) 前各号に規定する単位を修得したうえで、計14単位以上を修得すること。

4. 履修上の注意

(1) 上記表の全科目は、本プログラムの科目かつカリキュラム修了の要件に該当する科目として申告できます。

(2) 「実践演習Ⅰ」、「実践演習Ⅱ」、又は「実践演習Ⅲ」を履修する場合は、「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に加入していることを確認し、担当教員の指示に従ってください。

(3) このプログラムの履修を希望する者は、指導教員と相談し了解を得たうえで、ダイバーシティ地域共創教育プログラムのホームページよりエントリー(登録)してください。

URL: <https://www.hum.ibaraki.ac.jp/diversity-grad/>

(4) 所定の修了要件を満たした学生には、茨城大学、宇都宮大学、及び常磐大学の連名で、ダイバーシティ地域共創教育プログラムの修了証が与えられます。

(5) ダイバーシティ地域共創教育プログラムのホームページでは、本プログラムの趣旨・概要、授業に関する最新情報等が入手できます。履修の際には、必ず目を通してください。

(6) ダイバーシティ地域共創教育プログラムに関する問合せ先

授業のことも含め、プログラムについての問い合わせは、茨城大学人文社会科学部（担当：学務グループ）までメールにてお送りください（メールアドレス：hum-gakumu@ml.ibaraki.ac.jp）。

サステナビリティ学教育プログラムの履修について

1. 趣旨

環境問題やエネルギー・資源の不足、水・食料の逼迫、人口問題などを解決して、社会の持続可能性（サステナビリティ）をいかに確保するかは、現代の大きな課題になっています。本プログラムは、基盤科目や海外及び国内での現場演習を通して、これらの問題を把握する俯瞰的視点と専門分野の知識をつなぐ分野横断的な勉学の機会を提供します。

2. 「サステナビリティ学教育プログラム」科目一覧

区分	科目名	備考	単位			
俯瞰型科目	基盤科目	サステナビリティ学最前線○ (Frontiers of sustainability science)	3 単位以上	2		
		地球環境システム論Ⅰ●		1		
		地球環境システム論Ⅱ●		1		
		持続社会システム論Ⅰ●		1		
		持続社会システム論Ⅱ●		1		
		人間システム基礎論Ⅰ●		1		
		人間システム基礎論Ⅱ●		1		
		Climate change and sustainability science◎		1		
	コア科目	国際実践教育演習○	3 単位以上	2		
		国内実践教育演習○		2		
		ファシリテーション能力開発演習Ⅰ○		1		
		ファシリテーション能力開発演習Ⅱ○		1		
		専門科目		人文社会科学研究科	「サステナビリティ学関連科目」(1 単位以上)	各 2
						2
2						
各 2						
各 2						
各 2						
各 2						
各 2						
2						
各 2						
各 2						
	Changing atmosphere and climate change◎	1				
	Mitigation strategy for climate change◎	1				
	Adaptation strategy to climate change◎	1				
	Climate policy, SDGs and social resilience◎	1				

●印を付した科目は大学院共通科目。

○印を付した科目は大学院共通教育プログラム科目。

◎印を付した科目は大学院共通重点科目。

3. プログラムの修了要件

基盤科目から 3 単位以上、コア科目から 3 単位以上及び専門科目から 1 単位以上を修得し、計 10 単位以上修得すること。

4. 履修上の注意

- (1) 俯瞰型科目は、スチューデントサクセスセンター及び地球・地域環境共創機構 (GLEC) の協力の下で開講する科目です。
- (2) 上記表のうち、「大学院共通科目」(●印)は、「大学院共通科目」かつ本プログラムの科目として申告できます。「大学院共通教育プログラム科目」(○印)は、本プログラムの科目として申告できます。
- (3) 「大学院共通重点科目」(◎印)は、地球環境などの持続可能社会の形成等に関わる分野横断的な科目の中でも、とりわけ茨城大学の特色ある研究「総合気候変動科学」を基盤にした科目群です。オンデマンド講義形式で開講します。「大学院共通科目」かつ本プログラムの科目として申告できます。
- (4) 科目名が英語記載されている科目は原則英語を用いますが、日本語での学習支援も行います。
- (5) 人文社会科学研究科専門科目については、所属専門分野の専攻科目とし、本プログラムの科目かつカリキュラム修了の要件に該当する科目として申告できます。
- (6) 「国際実践教育演習」及び「国内実践教育演習」を履修する場合は、「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に加入していることを確認し、担当教員の指示に従ってください。
- (7) このプログラムの履修を希望する者は、指導教員と相談し了解を得たうえで、サステイナビリティ学教育プログラム(GPSS)ホームページより履修届を提出してください。
URL: <https://www.glec.ibaraki.ac.jp/gpss/>
- (8) 所定の修了要件を満たした学生には、茨城大学長名で「茨城大学大学院サステイナビリティ学教育プログラム修了認定証」が与えられます。
- (9) 以下のSSC共同教育プログラムの修了要件を満たした場合、「サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)共同教育プログラム修了認定証」が併せて授与されます。
(SSC共同教育プログラム修了要件)
プログラムの修了要件は以下をすべて満たすものとする。
① 「サステイナビリティ学最前線」(2単位)を取得すること

- ② 2. 「サステナビリティ学教育プログラム」科目一覧で指定する「俯瞰型科目（「サステナビリティ学最前線」を除く）」を4単位以上取得すること
- ③ 2. 「サステナビリティ学教育プログラム」科目一覧で指定する専門科目と上記①、②をあわせ合計10単位取得すること

【参考】

(1) サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム:SSC (Sustainability Science Consortium)

SSCは、サステナビリティ・サイエンスの視点に立脚した教育による新しい人材の育成や、企業・行政・一般市民への普及啓発や実践活動の展開を推進支援することを目的として、幅広い活動に取り組む一般社団法人です。「サステナビリティ学最前線」は東京大学、大阪大学、茨城大学などのSSC参加大学で共同開講されています。

URL: <http://ssc-g.net/>

(2) 地球・地域環境共創機構:GLEC (Global and Local Environment Co-creation Institute)

GLECは環境問題の解決を目指し、持続的な環境の共創に関する教育研究や社会連携の機能の強化を図る、茨城大学の教育研究拠点です。GLECには茨城大学の全学部から教員が参加し、フィールド科学から予測・政策科学を含む総合的な研究を推進するとともに、サステナビリティ学教育プログラムの実施でも中心的な役割を担っています。

URL: <https://www.glec.ibaraki.ac.jp/>

(3) 茨城大学大学院サステナビリティ学教育プログラム(GPSS)ホームページ

本プログラムの趣旨・概要などの他、関係授業科目の開講スケジュール・日程、授業に関する最新情報が入手できます。履修の際には必ず目を通してください。

URL: <https://www.glec.ibaraki.ac.jp/gpss/>

(4) 茨城大学大学院サステナビリティ学教育プログラムに関する問い合わせ先

授業のことも含め、プログラムについての問い合わせは、GLEC支援室までメールにてお送りください (Email: glec-edu@ml.ibaraki.ac.jp)。

地域志向教育について

茨城大学は平成 27 年度から学士課程と大学院（博士前期課程）において、地域を多角的に捉えながら地域課題等と向き合う、地域志向教育を行っています。

大学院についてはプログラム化せずに、地域にかかわる科目（地域志向教育科目）を履修したい大学院生が任意に履修することになります。

これに該当する科目には、シラバスに「地域志向教育科目」という表記があります。またこれに関連する科目には「地域活性化志向」という記載があります。これらの授業科目は修了要件上必修とするものではありませんが、地域にかかわる内容の学修に興味のある方は履修してください。

V 教育訓練給付制度

(一般教育訓練)

教育訓練給付制度（一般教育訓練）について

本研究科では、令和7年度に入学される方から教育訓練給付制度（一般教育訓練）の利用が可能となりました。これにより、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）または被保険者であった方（離職者）が本研究科を修了した場合、授業料等の受講費用の一部が教育訓練給付金として支給されます。具体的には、本研究科の修了後に、教育訓練経費（入学金＋授業料）の20%に相当する額（上限10万円）がハローワークから支給されます。

制度に関するご質問、具体的な手続き方法については、ハローワークへお問い合わせください。また、詳細な制度説明とパンフレットにつきましては、下記のwebサイトよりご覧ください。

- ・厚生労働省「教育訓練給付制度」

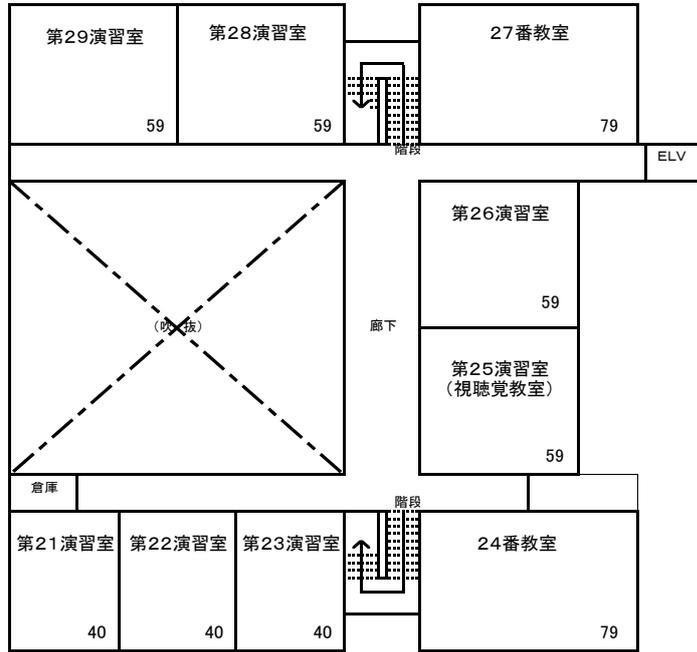
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

- ・ハローワーク「教育訓練給付制度」

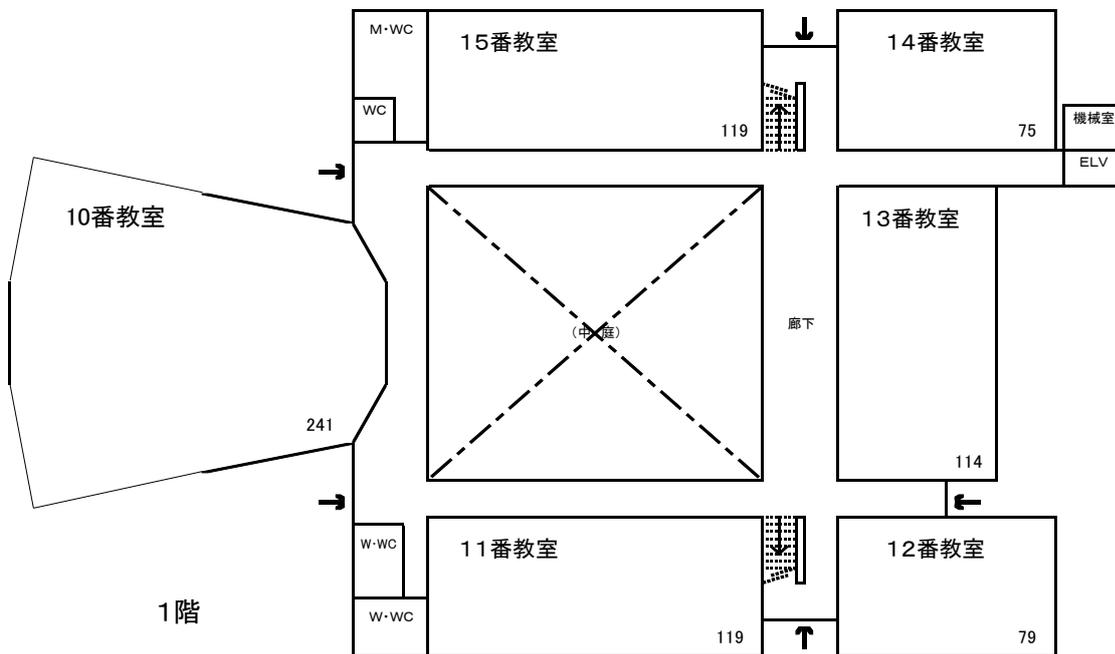
https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html

VII 教室・演習室等配置図

人文社会科学部講義棟



2階



1階

茨城大学人文社会科学部

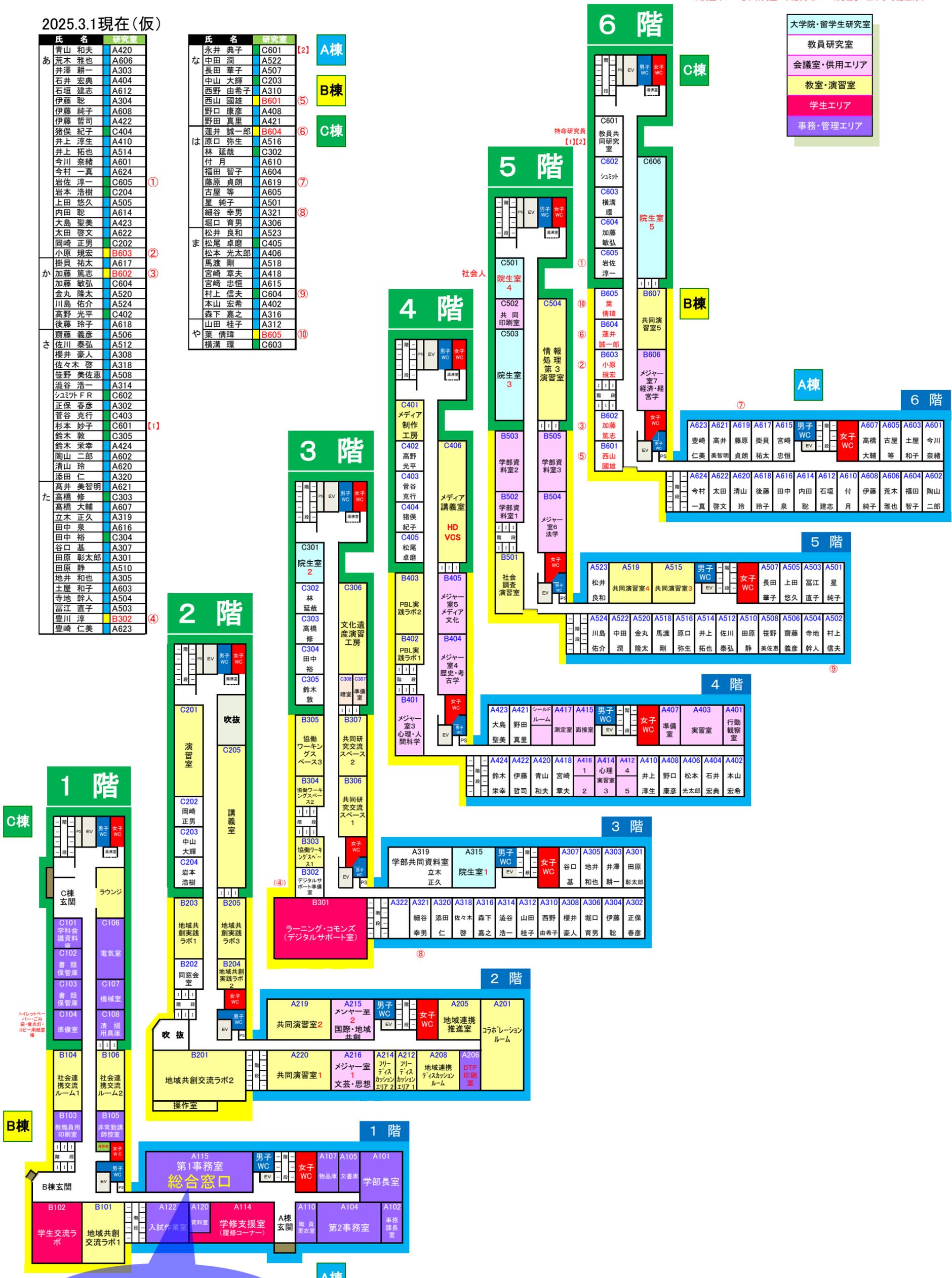
B棟改修後

※調整につき、研究室の交換などの一部変更が生じる可能性があります

2025.3.1現在(仮)

氏名	研究室
青山 和夫	A420
荒木 雅也	A606
井澤 耕一	A303
石井 宏典	A404
石垣 建志	A612
伊藤 聡	A304
伊藤 純子	A608
伊藤 哲司	A422
猪俣 紀子	C404
井上 淳生	A410
井上 拓也	A514
今川 奈緒	A601
今村 一真	A624
岩佐 淳一	C605
岩本 浩樹	C204
上田 悠久	A505
内田 聡	A614
大島 聖美	A423
太田 啓文	A622
岡崎 正男	C202
小原 規宏	B603
掛貝 祐太	A617
加藤 篤志	B602
加藤 敏弘	C604
金丸 隆太	A520
川島 佑介	A524
高野 光平	C402
後藤 玲子	A618
齋藤 義彦	A506
佐川 泰弘	A512
櫻井 豪人	A308
佐々木 啓	A318
笹野 美智恵	A508
澁谷 浩一	A314
シムット F R	C602
正保 春彦	A302
菅谷 克行	C403
杉本 妙子	C601
鈴木 敦	C305
鈴木 栄幸	A424
陶山 二郎	A602
清山 玲	A620
添田 仁	A320
高井 美智明	A621
高橋 修	C303
高橋 大輔	A607
立木 正久	A319
田中 泉	A616
田中 裕	C304
谷口 基	A307
田原 彰太郎	A301
田原 静	A510
地井 和也	A305
土屋 和子	A603
寺地 幹人	A504
富江 直子	A503
豊川 淳	B302
豊崎 仁美	A623

氏名	研究室
永井 典子	C601
中田 潤	A522
長田 華子	A507
中山 大輝	C203
西野 由希子	A310
西山 國雄	B601
野口 康彦	A408
野田 真里	A421
連井 誠一郎	B604
原口 弥生	A516
林 延哉	C302
付月	A610
福田 智子	A604
藤原 真朗	A619
古屋 等	A605
星 純子	A501
細谷 幸男	A321
堀口 育男	A306
松井 良和	A523
松尾 卓磨	C405
松本 光太郎	A406
馬渡 剛	A518
宮崎 章夫	A418
宮崎 忠恒	A615
村上 信夫	C604
本山 宏希	A402
森下 嘉之	A316
山田 桂子	A312
葉 慎瑋	B605
横溝 環	C603



ご不明な場合は、総合窓口
でお尋ねください。

※人文社会科学部では、防犯カメラによる画像収録を行っています。

VIII 单位互换制度

大学院人文社会科学研究科の単位互換制度に関する取扱要項

平成 30 年 2 月 28 日制定
令和 3 年 12 月 2 日改正

(趣旨)

第 1 条 茨城大学大学院人文社会科学研究科（以下「研究科」という。）と単位互換制度に関する協定（以下「協定」という。）に基づき、研究科の学生で、大学院コミュニケーション学分野、または、社会学分野で協定に加盟している他大学大学院の授業科目を履修しようとする者（以下「派遣学生」という。）及び協定先大学大学院の学生で本研究科の授業科目を履修しようとするもの（以下「特別聴講学生」という。）の取扱いについては、この要項の定めるところによる。

(派遣の願い出)

第 2 条 派遣学生として、協定に加盟している他大学大学院の授業科目を履修しようとするときは、所定の期間に、研究科の正研究指導教員の承認を得て、「大学院相互単位互換協定に基づく特別聴講願（所属大学院提出用（別紙様式第 1 号）及び受入大学院提出用（別紙様式第 2 号）（以下「特別聴講願」という。））」により、茨城大学大学院人文社会科学研究科長（以下「研究科長」という。）に願い出なければならない。

2 派遣学生は、前項の願い出をする場合はあらかじめ他大学大学院の聴講しようとする授業科目の担当教員の内諾を得ておかななければならない。

(派遣の許可)

第 3 条 派遣学生から、前条の願い出があったときは、研究科長は協定に基づき、これを許可する。

(特別聴講学生の受入れ及び授業科目)

第 4 条 研究科長は、特別聴講願により、協定に加盟している他大学大学院から特別聴講学生の受入れ依頼があったときは、正規の授業に差し支えない限り、協定に基づき、研究科委員会に諮り、特別聴講学生として受入れを許可する。

2 研究科において特別聴講学生に開講する授業科目は、別表第 1（コミュニケーション学分野）及び別表第 2（社会学分野）で指定した科目とする。

(単位互換)

第 5 条 派遣学生が、協定に加盟している他大学大学院において単位を修得したときは、研究科委員会の議を経て、4 単位を越えない範囲で研究科の課程の修了に必要な単位として認める。

(成績通知書の通知)

第 6 条 研究科長は、特別聴講学生が所定の授業科目の履修を終了したときは、学年末までに特別聴講学生の所属大学大学院研究科長に、「大学院単位互換協定に基づく特別聴講学生成績通知書」（別紙様式第 3 号）により通知するものとする。

(検定料、入学料及び授業料)

第 7 条 特別聴講学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

2 特別聴講学生の授業料は、協定に基づき、徴収しない。

(諸規則の準用)

第 8 条 この取扱要項の定めるもののほか、茨城大学学生交流要項、茨城大学の学生に関する規定等を準用する。

附 則

この要項は、平成 30 年 2 月 28 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1 (コミュニケーション学分野)

授業科目名	単位
多文化コミュニケーション論研究	2
多文化関係学研究	2
グローバル化と地域開発研究	2
持続可能な開発と SDGs 研究	2
学習デザイン論研究	2
メディア教育論研究	2
マスコミ研究	2
メディア文化研究	2
コミュニケーション社会学研究	2
映像広告論研究	2
電子メディア論研究	2
ポピュラー文化研究	2
現代ジャーナリズム研究	2
情報デザイン研究	2
映像メディア研究	2
コミュニケーションデータ分析研究	2
近代日本メディア史研究	2

別表第2 (社会学分野)

授業科目名	単位
ヨーロッパ社会史研究 I	2
ヨーロッパ社会史研究 II	2
経済地理学研究 I	2
経済地理学研究 II	2
地域社会論研究 I	2
地域社会論研究 II	2
環境社会学研究 I	2
環境社会学研究 II	2
社会事業史研究 I	2
社会事業史研究 II	2
家族社会学研究 I	2
家族社会学研究 II	2

※開講は、各年度の人文社会科学研究科大学院学生便覧で公表する。

単位互換協定校一覧
(コミュニケーション学分野)
東京経済大学大学院
(社会学分野)
埼玉大学大学院
千葉大学大学院
大妻女子大学大学院
駒澤大学大学院人文科学研究科
駒澤大学大学院グローバル・メディア研究科
成蹊大学大学院
専修大学大学院
東洋大学大学院
常磐大学大学院
日本女子大学大学院
法政大学大学院
武蔵大学大学院
立教大学大学院
流通経済大学大学院
都留文科大学大学院
創価大学大学院
立正大学大学院
明治学院大学大学院
明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻
明治大学大学院文学研究科臨床人間学専攻
大正大学大学院
日本大学大学院

大学院相互単位互換協定に基づく特別聴講願

《国立⇔国立、国立⇔公立・市立》

年 月 日提出

所 属 大 学 院	※		大学大学院		研究科		学生番号	※		
			専攻		課程			年次		
	ふりがな 氏 名	※			性別	※	※	年 月 日生 (歳)		
	現住所	※〒 連絡の可能な電話番号: メールアドレス(任意):								
	指導教員名	Ⓜ								
	履修期間	※ 年 月 日から 年 月 日まで								
備考										
受 入 大 学 院	※		大学大学院		研究科					
			専攻		課程					
	※	授 業 科 目 名		学 期	単 位	担 当 教 員 名				
	聴講希望 授業科目名					Ⓜ				
						Ⓜ				
				Ⓜ						
備考										

付記: ※印欄は学生が記入すること。

日付は西暦表記とし、年齢は提出日の年齢とする。

大学院相互単位互換協定に基づく特別聴講願

《国立⇔国立、国立⇔公立・市立》

年 月 日提出

所 属 大 学 院	※		大学大学院		研究科		学生番号		※		
			専攻		課程		年次				
	ふりがな 氏 名		※			性別	※	※	年 月 日生 (歳)		
	現住所		※〒 連絡の可能な電話番号: メールアドレス(任意):						写真貼付 タテ3cm ヨコ3cm 出願前3か月以内		
	指導教員名		⑩								
	履修期間		※ 年 月 日から 年 月 日まで								
備考											
受 入 大 学 院	※		大学大学院		研究科						
			専攻		課程						
	※		授 業 科 目 名		学 期	単 位	担 当 教 員 名				
	聴講希望 授業科目名						⑩				
							⑩				
備考											

付記: ※印欄は学生が記入すること。

日付は西暦表記とし、年齢は提出日の年齢とする。

大学院相互単位互換協定に基づく特別聴講学生成績通知書

学 生 氏 名	科 目 名	担当教員名	単 位	成 績

(元号) 年 月 日

茨城大学大学院人文社会科学研究科長

研究科長氏名

印

IX 諸規則等

※諸規則は、予告なく改正される場合があります。

茨城大学のホームページ (<http://www.ibaraki.ac.jp>) に掲載していますので、参照してください。

○茨城大学大学院人文社会科学研究科規程

(平成 27 年 3 月 31 日規程第 113 号)

(趣旨)

第 1 条 この規程は、国立大学法人茨城大学組織規則(平成 16 年規則第 1 号)第 20 条第 6 項並びに茨城大学大学院学則(昭和 43 年 5 月 1 日制定。以下「大学院学則」という。)第 4 条第 2 項及び第 14 条第 3 項の規定に基づき、茨城大学大学院人文社会科学研究科(以下「研究科」という。)に関し必要な事項を定める。

(目的)

第 2 条 研究科は、変化の激しい社会の中で、永く高度専門職業人であり続けられるように、広い視野を持ちながら自ら専門性を深化・拡張し学び続けられる人材を養成するために、多様なニーズに対応した深い専門性と質の高い教育を提供するとともに、人文科学又は社会科学に関する探求を通じて、高い専門知識と能力を持ちつつ、複眼的な視野で物事を判断し、多様な人びとと協働しながら社会の持続的な発展のために地域の課題を解決して地域を活性化させることができる人材の育成を図ることを目的とする。

(構成)

第 3 条 研究科の専攻に次のコースを置く。

人文科学専攻

文芸・思想コース

歴史・考古学コース

心理・人間科学コース

公認心理師コース

社会科学専攻

メディア・情報社会コース

国際・地域共創コース

法学・行政学コース

経済学・経営学コース

地域政策研究(社会人)コース

(臨床心理相談室)

第 3 条の 2 研究科に臨床心理相談室を置く。

2 臨床心理相談室に関し必要な事項は、別に定める。

(研究指導教員)

第 4 条 学生の教育・研究及び学位論文の作成等に対する指導を行うため、正研究指導教員及び副研究指導教員を置く。

2 正研究指導教員及び副研究指導教員は、当該専攻における研究科担当の教授、准教授、講師又は助教をもって充てる。ただし、必要があるときは、他の専攻の教授、准教授、講師又は助教をもって充てることができる。

(教育方法の特例)

第5条 教育上特別の必要があると認めるときは、夜間その他特定の時間又は時期に授業又は研究指導を行うことができる。

(履修タイプ)

第5条の2 研究科に、学生の学びの特性に応じ、次に掲げる履修タイプを置く。

- (1) 一般専門教育タイプ
- (2) リカレント専門教育タイプ
- (3) 留学生専門教育タイプ

(単位の計算方法)

第5条の3 大学院学則第15条の2の規定に基づき、研究科が開設する授業科目の1単位当たりの授業時間は、次の各号に掲げる授業方法に応じて、当該各号の時間によるものとする。

- (1) 講義及び演習 15時間
- (2) 実験、実習及び実技 30時間

2 前項の規定にかかわらず、必要があると認める場合には、研究科が開設する個別の授業科目について、大学院学則第15条の2の規定により準用する茨城大学学則第32条第1項に規定する時間の範囲内で、1単位当たりの授業時間を別に定めることができる。

(授業科目及び履修方法)

第6条 研究科共通科目及び専攻科目の授業科目並びに単位数は、別表第1に定めるところによる。

2 研究科の履修方法は、別表第1備考に定めるところによるものとする。

3 学生は、履修しようとする授業科目を学年又は学期の始めにその科目を担当する教員の承諾を得て、研究科長に届け出なければならない。

(単位の認定)

第7条 授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が行うものとする。

(期末試験)

第8条 期末試験は、大学院学則第16条の3の規定により準用する茨城大学学則第36条第1項及び第3項の規定に基づき行う。

2 所定の試験に欠席した者の追試験は行わない。ただし、研究科委員会において特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

(成績の評価)

第9条 授業科目の試験又は研究報告書等の成績評価は、100点をもって満点とし、A+(90点以上)、A(80点以上90点未満)、B(70点以上80点未満)、C(60点以上70点未満)及びD(60点未満)の評語で表し、A+、A、B及びCを合格とする。

(学位論文の提出)

第10条 学位論文(大学院学則第21条第1項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。次条において同じ。)は、指定された期日までに正研究指導教員の承認を得て、研究科長に提出しなければならない。

(学位論文の審査及び最終試験)

第11条 学位論文の審査及び最終試験は、茨城大学学位規則の定めるところによる。

(課程修了の要件)

第12条 課程修了の要件は、研究科に2年以上在学し、研究科所定の科目を30単位以上(人文科学専攻公認心理師コースにあつては、38単位以上)修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、研究科に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 履修タイプごとの修了要件は、別表第2に定めるところによる。

3 第1項の場合において、各専攻の教育研究目的に応じ相当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって学位論文の審査に代えることができる。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、必要な事項については、研究科委員会が定める。

以下省略。

※2025年度より、ダイバーシティ地域共創教育プログラムが開始することに伴い、拡充カリキュラム内の修得単位の変更等に関する規定が盛り込まれる予定です。

詳しい研究科規程を確認する場合は、茨城大学のホームページ上でご確認ください。

茨城大学科目ナンバリング運用要項

(目的)

第1 この要項は、教育課程の体系や履修の順序等を学生に示すとともに、教育課程を適切に構築するため科目ナンバリングの運用に関して必要な事項を定める。

(科目ナンバリングの構成)

第2 科目ナンバリングは、次の各号に掲げるコードによって構成する。授業科目（基盤教育科目においては授業題目と読み替える。以下同じ。）には、第1号から第3号に掲げるすべてのコードを付すこととする。第4号に掲げるコードについては、当該授業科目が教育プログラムを構成する場合に付すこととする。

(1) 部局コード

部局コードは、授業科目を実施する部局（以下「各学部等」という。）を示すものとし、そのコードは次のとおりとする。

- ・ 全学教育機構（基盤教育科目） KB
- ・ 全学教育機構（全学共通科目） KZ
- ・ 全学教育機構（大学院共通科目） KM
- ・ 人文社会科学部・人文社会科学研究科（人文学部・人文科学研究科） . . . L
- ・ 教育学部・教育学研究科 P
- ・ 理学部 S
- ・ 工学部 T
- ・ 農学部・農学研究科 A
- ・ 理工学研究科 N
- ・ 地域未来共創学環 R

(2) 学問分野コード

学問分野コードは、当該授業科目の学問分野を示すものとし、そのコードは別表1のとおりとする。当該授業科目が複数の学問分野にまたがるときは、主たる学問分野を示すコードを付すこととする。

(3) 難易度コード

難易度コードは、各学問分野における当該授業科目の難易度を示すものとし、次のとおり対象年次や科目区分に従ってコードを付すこととする。

コード	難易度の基準	備考	
学部	1	1年次から履修可能な科目	基盤教育科目は「1」が原則
	2	2年次から履修可能な科目	
	3	3年次から履修可能な科目	
	4	4年次から履修可能な科目	「5」に該当するものを除く（卒業論文等）
	5	卒業論文、卒業研究、卒業制作等	

大 学 院	6	修士課程及び博士前期課程：大学院共通科目及び研究科共通科目 専門職学位課程：共通科目	
	7	修士課程及び博士前期課程：専攻科目 専門職学位課程：専門科目及び実習科目	
	8	博士後期課程科目	
共 通	9	レベル分けが困難な科目	海外留学、インターンシップ等

(4) 教育プログラムコード

教育プログラムコードは、当該授業科目を構成科目とする全学を対象とした教育プログラムを示すものとし、そのコードは別表2のとおりとする。一つの授業科目が複数の教育プログラムの構成科目となる場合は、複数の教育プログラムコードを併記することとする。

(科目ナンバリングの指定)

第3 各学部等は、教育課程の体系や履修の順序等を検討し、各授業科目の各コードを指定する。

(学生への提示方法)

第4 科目ナンバリングは、各学部等の履修案内及びシラバス等に表示することによって学生に提示する。

(シラバスコードとの関係)

第5 シラバスコードは、科目ナンバリングの導入後も授業を管理するための整理番号として維持することとする。

(教務情報ポータルシステム上の扱い)

第6 科目ナンバリングは、教務情報ポータルシステムにおいて、授業科目の検索に利用できることとする。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から適用する。なお、教育プログラムコードの先進創生情報学教育研究プログラムについては、平成27年4月1日に遡って適用する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から適用する。なお、教育プログラムコードの量子線科学プログラムについては、平成28年4月1日に遡って適用する。

附 則

この要項は、令和3年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、令和6年4月1日から適用する。

別表1 (第2 (2) 関係)

学問分野	英訳名	コード
情報学	Informatics	INF
情報学基礎/計算基盤	Principles of Informatics	POI
数理情報学	Mathematical informatics	MAI
統計科学	Statistical science	STS
計算機システム	Computer system	CPS
ソフトウェア学	Software Science and Technology	SST
マルチメディア・データベース	Multimedia database	MUD
情報セキュリティ	Information security	IFS
人間情報学	Human informatics	HUI
認知科学	Cognitive science	COS
知覚情報処理	Perceptual information processing	PIP
ヒューマンインタフェース・インタラクション	Human interface and interaction	HII
知能情報学	Intelligence Informatics	INI
ソフトコンピューティング	Soft computing	SFC
情報学フロンティア	Frontiers of informatics	FOI
情報とコンピュータ	Information and Computer Technology	ICT
経営情報技術	Management of Information Technology	MIT
組込みシステム技術	Embedded System Technology	EST
環境解析学	Environmental analyses and evaluation	EAE
環境保全学	Environmental conservation	ENC
リスク科学	Risk Science	RIS
環境創成学	Sustainable and environmental system development	SED
デザイン学	Design science	DES
生活科学	Human life science	HLS
教育工学	Educational technology	EDT
科学社会学・科学技術史	Sociology/History of science and technology	SHS
文化財科学・博物館学	Cultural assets study and museology	CAM
地理学	Geography	GEO
社会・安全システム科学	Social/Safety system science	SSS
人間医工学	Biomedical engineering	BIE
健康・スポーツ科学	Health/Sports science	HSS
子ども学	Childhood science	CHS
生体分子科学	Biomolecular science	BMS
脳科学	Brain sciences	BRS
地域研究	Area studies	ARS
ジェンダー	Gender	GEN

観光学	Tourism Studies	TOS
哲学	Philosophy	PHI
倫理学	Ethics	ETH
芸術学	Art studies	ART
文学	Literature	LIT
漢文学	Chinese Classic	CHC
言語学	Linguistics	LIN
英語	English	ENG
技術英語	Technical English	TEE
ドイツ語	German	GER
フランス語	French	FRE
中国語	Chinese	CHI
朝鮮語	Korean	KOR
スペイン語	Spanish	SPA
ギリシア語	Greek	GRE
日本語	Japanese	JPN
その他の語学	Language	LAN
歴史学	History	HIS
考古学	Archaeology	ARC
人文地理学	Human geography	HUG
文化人類学	Cultural anthropology	CUA
文化研究	Cultural studies	CUS
教育科学	Educational science	EDS
法学	law	LAW
政治学	Politics	POL
経済学	Economics	ECO
経営学	Management	MAN
社会学	Sociology	SOC
心理学	Psychology	PSY
教育学	Education	EDU
コミュニケーション学	Communication	COM
ナノ・マイクロ科学	Nano/Micro science	NMS
応用物理学	Applied physics	APP
光工学	Optical engineering	OPE
量子ビーム科学	Quantum beam science	QBS
量子基礎科学	Fundamental Quantum Science	FQS
計算科学	Computational science	CSC
数学	Mathematics	MAT
代数幾何学	Algebra and geometry	AAG
代数学	Algebra	ALG
幾何学	Geometry	GEM

解析学基礎	Basic analysis	BAA
解析学	Analysis	ANA
応用数学	Applied Mathematics	APM
天文学	Astronomy	AST
物理学	Physics	PHY
数理物理・物性基礎	Mathematical physics/Fundamental condensed matter physics	MFP
地球惑星科学	Earth and planetary science	EPS
地質学	Geology	GEL
プラズマ科学	Plasma science	PLS
地学	Earth science	EAS
基礎化学	Basic chemistry	BAC
複合化学	Applied chemistry	APC
材料化学	Materials chemistry	MAC
化学	Chemistry	CHE
材料力学	Mechanics of Materials	MOM
生産工学	Industrial engineering	INE
生産技術工学	Manufacturing Systems	MAS
設計工学	Design engineering	DEE
機械機能要素	Machine functional elements	MFE
流体工学	Fluid engineering	FLE
熱工学	Thermal engineering	THE
機械力学	Mechanical dynamics	MED
知能機械学	Intelligent mechanics	INM
制御工学/制御・システム工学	Control engineering	COE
電子・電気材料工学	Electric materials	ELM
電子デバイス・電子機器	Electron device	ELD
通信・ネットワーク工学	Communication/Network engineering	CNE
計測工学	Measurement engineering	MEE
土木工学	Civil engineering	CIE
土木材料・施工・建設マネジメント	Civil engineering materials / Construction /Construction management	CCC
構造工学・地震工学・維持管理工学	Structural engineering / Earthquake engineering / Maintenance management engineering	SEM
地盤工学	Geotechnical engineering	GEE
水工学	Hydraulic engineering	HYE
土木計画学・交通工学	Civil engineering project / Traffic engineering	CTE
土木環境システム	Civil and environmental engineering	CEE
建築学	Architecture and building engineering	ABE

建築構造・材料	Building structures / Materials	BSM
建築環境・設備	Architectural environment / Equipment	AEE
都市計画・建築計画	Town planning / Architectural planning	TAP
建築史・意匠	Architectural history / Design	AHD
材料工学	Material engineering	MAE
中性子材料科学	Neutron Materials Science	NEM
プロセス・化学工学	Process/Chemical engineering	PCE
金属加工学	Metal Working	MEW
原子力工学	Nuclear engineering	NUE
エネルギー工学	Energy engineering	ENE
電子回路	Electronic Circuit	ELC
電気回路	Electric Circuit	ECC
電磁気学	Electromagnetic	EMA
コンピュータ応用	Computer Application	COA
電気エネルギー	Electric Energy	ELE
パワーエレクトロニクス	Power Electronics	POE
光・電子デバイス	Optical and Electric device	OED
材料組織・プロセス学	Materials Microstructure & Processing Engineering	MMP
材料強度物性学	Strength of Materials	SOM
電子機能材料学	Materials Science for Electronic and Information Devices	MEI
計算材料学	Computational Materials Science	CMS
情報科学基礎	Principles of Computer and Information Sciences	PCI
コンピュータシステムとネットワーク	Computer Systems and Networks	CSN
情報数学	Mathematics for Computer and Information Sciences	MCI
神経科学	Neuroscience	NEU
実験動物学	Laboratory animal science	LAS
腫瘍学	Oncology	ONC
ゲノム科学	Genome science	GNS
生物資源保全学	Conservation of biological resources	CBR
生物科学	Biological Science	BIS
構造生物学	Structural Biology	STB
基礎生物学	Basic biology	BAB
人類学	Anthropology	ANT
生物学	Biology	BIO
農学基礎科目	Agricultural Basic Subjects	ABS
生産環境農学	Plant production and environmental agriculture	PEA

農芸化学	Agricultural chemistry	AGC
森林圏科学	Forest and forest products science	FFP
水圏応用化学	Applied aquatic science	AAS
社会経済農学	Agricultural science in society and economy	ASE
農業工学	Agro-engineering	AGE
動物生命科学	Animal life science	ALS
境界農学	Boundary agriculture	BOA
木材加工学	Wood Working	WOW
栽培学	Cultivation	CUL
畜産学	Animal Production Science	APS
基礎医学	Basic medicine	BAM
臨床医学	Clinical medicine	CLM
看護学	Basic nursing	BAN
学校保健学	School health	SCH
保健学演習	Public health	PUH
養護実践学	School nurse teacher practice	SNT
調理学実習	Cooking Practicum	COP
食物学	Food Science	FOS
生活経営学	Family Resource Management	FRM
保育学	Child Development	CHD
被服学	Clothing and Textile Science	CTS
住居学	Housing Science	HOS
家庭科教育学	Home Economics Education	HEE
総合・複合分野	Multi	MUL
卒業論文・卒業研究	Graduation thesis	GRT
研究（特別研究等）	Research	RES
実験（特別実験等）	Experiment	EXP
実習（特別実習等）	Practice	PRA
演習・ゼミナール（特別演習、卒業論文関連ゼミナール、卒業研究ゼミナール、基礎演習、主題別ゼミナール等）	Seminars	SMI
インターンシップ	Internship	INT
プレゼンテーション	Presentation	PRE
身体活動	Physical Activities	PHA
健康の科学	Science for Health	SFH
情報処理概論	Introduction to Information Processing	IIP
社会科学入門	Introduction to Social Science	ISS
学際科目・総合科目	Interdisciplinary Studies	INS
茨城学	Ibaraki Studies	IBS

情報リテラシー	Information Literacy	INL
ヒューマニティーズ	Humanities	HUM
パフォーマンス&アート	Performance and Art	PAA
異文化コミュニケーション	Cross-cultural communication	CRC
自然・環境と人間	Nature, the Environment and the human Race	NEH
グローバル化と人間社会	Globalization and Human society	GHS
ライフデザイン	Life Design	LID

別表2（第2（4）関係）

区分	教育プログラム名	コード
プラスIプログラム	グローバルコミュニケーションプログラム	GCP
	地域志向教育プログラム	COE
	サステナビリティ学教育プログラム	SUS
	アントレプレナーシップ教育プログラム	ENT
	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム	MDA
	日本語教師養成プログラム	JTP
大学院共通教育プログラム	サステナビリティ学教育プログラム	SEP

